

# 消 防 年 報

平成 2 6 年版

( 2 0 1 4 年 )



西 宮 市 消 防 局

平成 2 7 年 ( 2 0 1 5 年 ) 刊行第63号

## 西宮市民憲章

美しい風光と豊かな伝統のまち、西宮の市民としてこの憲章を定めます。

これは未来へはばたくわたくしたちの合い言葉です。

- その1 西宮を みどりと青空の明るいまちにしましょう
- その2 西宮を 教育と文化のかおり高いまちにしましょう
- その3 西宮を 心のかよった福祉のまちにしましょう
- その4 西宮を 希望にみちた産業のまちにしましょう
- その5 西宮を 心身ともに健やかなしあわせのまちにしましょう

## 市旗

明るい太陽としあわせを表す赤と、東六甲の美しい自然に囲まれた町を象徴する緑で、西宮の「に」の字を図案化。「緑としあわせの町」を表現する。昭和45年11月制定。



市の木 ~ くすのき



市花 ~ さくら

震災復興コンセプト

「安全」「安心」そして「希望」に満ちた文教住宅都市をめざして

# ま え が き

この年報は、平成26年中における西宮市消防局の現況と消防業務の統計を集録し、今後の消防行政の参考に資するとともに、広く一般に公開することを目的として編集したものです。

なお、火災、緊急対応事故、水防、救急、救助、通信は暦年、他は年度とし、その他必要なものには頭注に年月日を記載しました。

また、平成26年4月の署管轄区域の見直しに伴い、西宮浜出張所を分署に昇格し、浜分署と改称しました。

そのため、統計上の数値は浜分署に西宮浜出張所を併せて計上しています。

平成27年(2015年)8月

西宮市消防局

## 概 要

西宮市は兵庫県の南東部にあり、大阪湾から六甲山地にいたる南北に長い市域を持っています。大阪市と神戸市のほぼ中間という好立地にあり、関西有数の住宅都市・文教都市として発展してきました。鉄道網や道路網も発達しており、JR及び阪神、阪急の各私鉄、国道2号・43号・171号・176号、阪神高速神戸線・湾岸線・北神戸線、名神高速道路、中国自動車道、西宮北有料道路などが近隣都市と市内各地を縦横に結んでいます。豊かな自然に恵まれていることも大きな魅力で、北部は緑の多いレクリエーションゾーン、南部は潮風のさわやかなマリナーゾーンとして親しまれています。また、大学・地域社会・行政それぞれが相互に連携することにより、よりよい「文教住宅都市」を築いてきました。この本市まちづくりの基本理念である「文教住宅都市」をさらに発展させ、西宮市のもつ教育・住環境の優れた特性を充実させ、豊かで恵まれた自然環境を未来に引き継ぐ「環境学習都市宣言」を行い、よりグレードの高いまちづくりの実現を目指しています。



## 目

平成26年度に実施した主な事業	
消防車両整備事業	9
消防団車両整備事業	10
消防団車庫整備事業	10
概 況	
西宮市の消防	13
各種出動状況	14
火災、緊急対応事故、救助、救急 件数の推移	15
西宮市消防の沿革	16
管内情勢	30
平成26年度重点目標	31
消防局の組織及び事務分掌	32
消防署の組織及び事務分掌	33
職員配置状況	34
年度別職員数状況	34
職員年齢状況	34
職員勤続年数状況	34
消防自動車等保有状況	35
消防情勢の推移	36
自主防災組織・家庭防火クラブ等 結成状況	37
消防協力隊結成状況	37
消防相互応援協定締結状況（その1）	38
消防相互応援協定締結状況（その2）	39
消防水利の状況	40
開発行為に伴う消防水利事務処理状況	40
消防庁舎の概要	41
庁舎配置及び管轄区域	42

## 次

総 務	
総務の概要	45
消防予算	46
一般会計予算と消防予算	47
消防予算市民負担	47
職員研修状況	
派遣研修（その1）	48
派遣研修（その2）	50
職場研修	51
消防吏員階級別資格取得状況	52
公務災害等発生状況	53
消防表彰等の状況	54
消防音楽隊の状況	55
広 報 及 び 広 聴	
広報及び広聴の概要	59
広報活動状況	59
資料配布及び刊行物発行	60
広聴事務処理状況	60
市民の声（メールによる問合せ）	60
消防情報の提供（報道関係等）	60

予 防 行 政

予防行政の概要・・・・・・・・・・・・・・・・ 63	5 ヵ年比較火災発生状況・・・・・・・・ 83
防火対象物現況表・・・・・・・・・・・・・・・・ 64	署別火災発生状況・・・・・・・・・・・・・・・・ 84
防火管理者選任及び消防計画届出現況表・・ 65	建物火災用途別火災発生状況・・・・・・・・ 85
防火対象物査察・検査実施状況・・・・・・・・ 66	建物火災焼損面積の推移・・・・・・・・ 86
用途別中高層(5階以上)防火対象物状況・・ 67	覚知別出火件数・・・・・・・・・・・・・・・・ 86
防火管理に関する講習の実施状況・・・・・・・・ 68	10年間の放火の推移・・・・・・・・・・・・・・・・ 87
建築物確認申請等処理状況・・・・・・・・・・・・ 68	放火の曜日別出火件数・・・・・・・・・・・・ 87
12条報告・仮使用承認等処理状況・・・・・・・・ 68	放火の時間別出火状況・・・・・・・・・・・・ 87
危険物製造所等許可施設状況・・・・・・・・・・・・ 69	放火による着火物・・・・・・・・・・・・・・ 87
危険物製造所等類別許可施設状況・・・・・・・・ 69	隣接都市火災等応援(被応援)出動状況・・ 88
所管別危険物施設等現況及び査察状況・・・・ 70	高速道路における隣接都市 火災等応援(被応援)出動状況・・・・ 88
液体危険物タンクの完成検査前 検査実施状況・・・・・・・・・・・・ 71	平成26年中主な火災発生状況・・・・・・・・ 89
危険物仮貯蔵・仮取扱承認状況・・・・・・・・ 71	
少量危険物・指定可燃物 液化石油ガス等届出施設状況・・・・ 71	
住宅防災診断実施状況・・・・・・・・・・・・・・ 72	
住宅防災診断指導件数・・・・・・・・・・・・・・ 72	

火 災 統 計

火災の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 75
火災の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 77
曜日別火災発生状況・・・・・・・・・・・・・・ 78
10年間の主要出火原因・・・・・・・・・・・・ 78
時間別火災発生状況・・・・・・・・・・・・・・ 79
火災種別出火件数・・・・・・・・・・・・・・ 80
火災件数の動向(10年間)・・・・・・・・・・・・ 80
火災損害額状況・・・・・・・・・・・・・・ 81
原因別出火件数・・・・・・・・・・・・・・ 81
月別火災発生状況・・・・・・・・・・・・・・ 82

緊 急 対 応 事 故

緊急対応事故の概要・・・・・・・・・・・・・・・・ 93
緊急対応事故発生状況・・・・・・・・・・・・・・ 94

水 防 統 計

水防活動の概要・・・・・・・・・・・・・・・・ 97
----------------------------

救 急 統 計

救急の概要	101
救急活動概要	102
10ヵ年の救急の動向（出動件数）	102
救急出動事故種別	103
過去5年間の事故種別増減表	103
搬送者傷病程度別	104
過去5年間の傷病程度別増減表	104
年齢別事故種別搬送状況	105
過去5年間の年齢別搬送構成比	105
時間別出動状況	106
医療機関別搬送状況	107
隣接市との応援・被応援状況	107
救急車の走行	108
発生場所別搬送人員	108
観察・処置実施状況	109
救急隊員有資格者状況	110
各種研修実施状況	110
市民に対する救急講習実施状況	111
医師同乗制度（ドクターカーシステム）	112
搬送された全ての心肺停止者の救命効果	112
救急出動状況	113
救急隊別出動状況	114
月別・休日・曜日別救急出動状況	115

救 助 統 計

救助の概要	119
救助出動状況	120
発生場所別出動状況	121
月別救助出動状況	122
3ヵ年比較救助出動状況	123
隣接都市救助応援（被応援）出動状況	124
緊急消防援助隊等出動状況	124
所属別消防用空気・酸素等容器保有状況	124
主な救助器具配置状況	125

消 防 通 信

指令業務の概要	129
消防通報用電話（119番）受信状況	130
消防通信施設の状況	131
署活動用無線機交信状況	132
気象情報等月別発令状況	133
発令された防災指令	133
テレホンサービス利用状況	134

## 車 両 整 備

車両整備の概要	137
車両の購入	137
点検整備等	138

## 消 防 団

西宮市消防団の沿革	141
消防団の組織	143
消防団自動車現況	144
消防団員在職年数状況	145
消防団員年齢状況	145
消防団費と市民負担	146
消防団出動状況	146
消防団訓練実施内容	146
派遣研修及び教育訓練実施状況	146
団員の職業別	147
表 彰	147



平成26年度に  
実施した主な事業



消防出初式



# 消防車両整備事業



水槽付消防ポンプ自動車  
(瓦木消防署)



救急車  
(鳴尾消防署、山口分署)



活動支援車  
(消防局総務課)



活動支援車  
(西宮消防署)



活動支援車  
(甲東分署)



活動支援車(無線支援車)  
(消防局指令課)



指揮広報車  
(西宮消防署、瓦木消防署)

## 消防団車両整備事業



消防ポンプ自動車  
(上大市分団、甲子園口分団、鳴尾西分団)

## 消防団車庫整備事業



鳴尾北分団車庫

# 概 況



職員消防操法大会



# 西宮市の消防

(平成27年4月1日現在)

## 〈消防施設と人員〉

消防局	1 (整備センターを含む)
消防署	4
消防分署	4
消防自動車等	75 (非常用車両を含む)

## 〈消防団〉

消防団本部	1 (消防局庁舎内)
分団数	33分団(7地区)
分団車庫	38箇所
消防自動車等	39台

	定数	実員		定員	実員
消防職員	426人	419人	消防団員	755人	729人
実員の内訳			実員の内訳		
	〔 消防吏員 419人 (派遣職員24人を除く) 〕			〔 団 長 1人 副 団 長 7人 分 団 長 33人 副 分 団 長 36人 部 長 38人 班 長 111人 団 員 475人 機能別団員 28人 〕	

## 〈平成27年度消防予算〉

50億7,902万3千円

## ～ ～ ～ 平成26年中の各種出動件数 ～ ～ ～

### 〈火 災〉

火災件数 117件  
(平成25年中 112件)  
西宮市で3.1日に1件の割合で火災が発生した  
こととなります。  
損害額 1億7,880万9千円  
(平成25年中 9,110万6千円)  
火災1件あたりの損害額は152万8千円となり、  
市民1人あたりでは367円となります。

死 傷 者 〔 死 者 2人  
負傷者 25人 〕

平成25年中 〔 死 者 3人  
負傷者 8人 〕

### 〈緊急対応事故〉

緊急対応事故出動件数 853件  
(平成25年中 798件 )

### 〈救 急〉

救急出動件数 22,416件  
(平成25年中 22,131件)  
西宮市で1日平均61.4件出動したこと  
となります。  
(平成26年中) (平成25年中)

1 急 病	13,755件	13,628件
2 一般負傷	3,706件	3,506件
3 交通事故	1,914件	1,964件
4 上記以外	3,041件	3,033件

となっています。

### 〈救 助〉

救助出動件数 326件  
(平成25年中 348件)

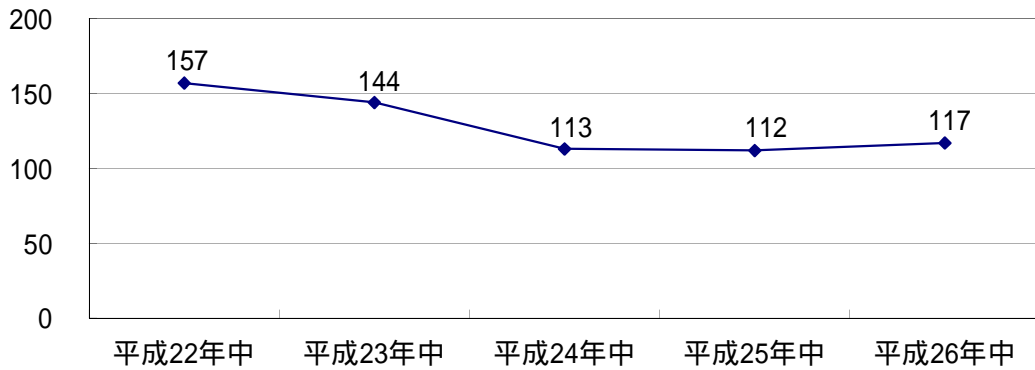
## 各種出動状況

(平成26年中)

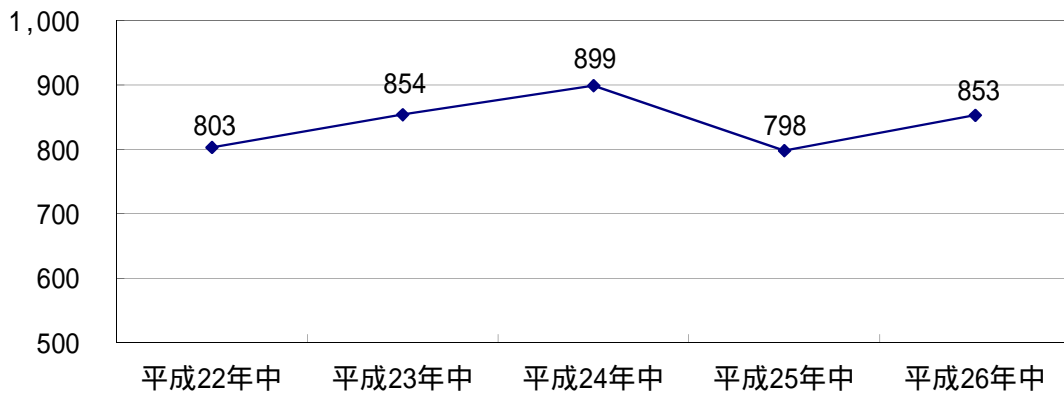
種 別		出動件数	出動台数	出動人員
緊 急 出 動 業 務	火 災 出 動	火災件数	117	571  2,109
		死 者	2	
		負 傷 者	25	
		1日当りの火災件数	0.3	
	緊 急 対 応 事 故 出 動	緊急対応事故出動件数	853	1,222  4,814
		緊急措置	198	
		緊急確認	231	
		社会危険排除	20	
		支援活動	234	
		誤 報	0	
		虚 報	0	
		その他上記に該当しないもの	170	
	救 助 出 動	救助出動件数	326	886  3,277
		救助人員	164	
		1日当りの救助出動件数	0.9	
	救 急 出 動	救急出動件数	22,416	22,416  68,631
傷病者搬送件数		19,930		
ドクターカー出動件数		144		
1日当りの救急出動件数		61.4		
合 計		23,712	25,095	78,831



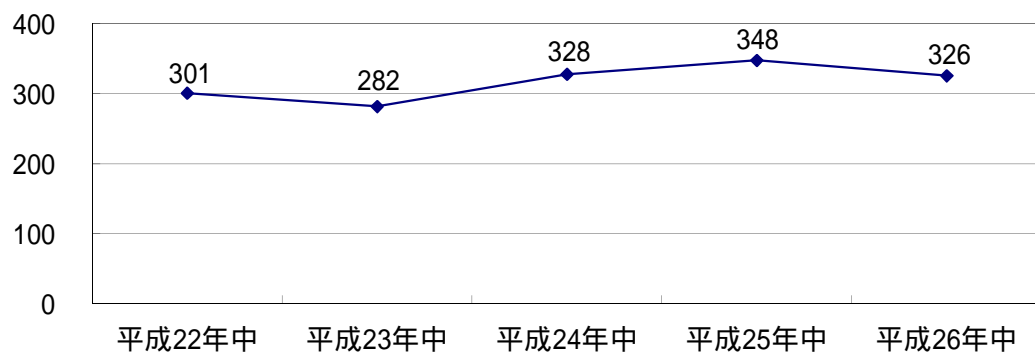
### 火災件数の推移



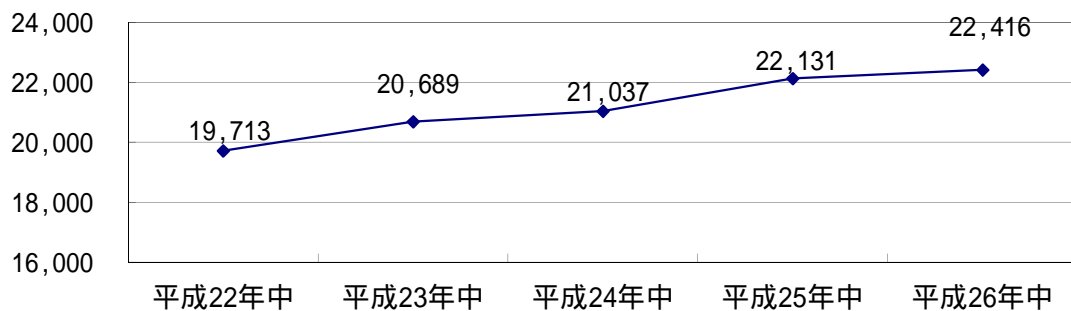
### 緊急対応事故出動件数の推移



### 救助出動件数の推移



### 救急出動件数の推移



## 西宮市消防の沿革

昭和16年	消防署の設置	9月	兵庫県告示第1103号をもって西宮市に特設消防を設置、消防職員38名、消防自動車2台をもって西宮市六湛寺町、西宮警防団常備部屯所を仮庁舎として開庁
昭和18年	鳴尾出張所の開設	8月	武庫郡鳴尾村が当署管轄区域に編入、同時に鳴尾村常備消防屯所が鳴尾出張所として開設
	消防署本庁舎竣工	10月	西宮市今津永井町11の5に西宮消防署本庁舎竣工、仮本庁舎より移転業務開始
	六湛寺町出張所の増設	10月	仮本庁舎であった六湛寺の庁舎は六湛寺出張所として開設
昭和19年	出張所の増設	2月	海岸出張所の開設
	出張所の増設	2月	武庫郡鳴尾村に東鳴尾出張所開設
	出張所の増設	3月	武庫郡鳴尾村に昭和電極出張所開設
昭和20年	芦屋中隊の増設	2月	防発第191号の通牒をもって同年4月より芦屋市、武庫郡本山村、本庄村に消防中隊が分駐し、仮出張所を開設
	西宮消防大隊の編成	4月	防秘訓第10号の通達により、西宮消防大隊部隊編成、4ヶ中隊編成される
	管轄区域の改正	5月	芦屋市、武庫郡本庄村、本山村、良元村及び川辺郡小浜村、長尾村が当署管轄区域に編入
	鳴尾出張所新庁舎竣工	5月	武庫郡鳴尾村字西の口に鳴尾出張所新庁舎竣工、業務開始
	出張所の廃止	8月	東鳴尾出張所、昭和電極出張所を廃止
	昭和21年	管轄区域の改正	2月
昭和22年	出張所の廃止	3月	訓令甲第13号をもって六湛寺出張所を廃止
	管轄区域の改正	4月	兵庫県告示第252号をもって特設消防署管轄区域を改正、芦屋消防署新設により当署管轄区域より、芦屋市、武庫郡本庄村及び本山村を削除
	消防組織法公布	12月23日	消防組織法(法律第226号)が公布され消防は警察機構から分離して、市町村に移管され、市町村の責任管理となる
昭和23年	管轄区域の改正	3月	兵庫県訓令甲第3号をもって鳴尾村消防本部新設につき当署管轄区域より鳴尾村を削除、同日鳴尾出張所を廃止

	自治体消防の発足	3月	従来の官設消防署は自治体に移設、西宮市消防本部及び西宮消防署と改称、現有人員、装備等をもって、これを引継ぎ、ここに市民の要望に応え民主的な自治体消防として発足した 発足当時の組織及び機構 消防本部の機構 消防本部長のもとに次長制 5課1署5係 消防職員76人 消防主力機械4 その他2
	消防法の公布施行	7月	消防法（法律第186号）が公布施行された
昭和26年	鳴尾村消防本部統合	4月	武庫郡鳴尾村、有馬郡山口村、塩瀬村の合併が成立、鳴尾村消防本部は西宮市消防本部に統合、同時に西宮市鳴尾消防署と改称 1本部 2消防署 消防職員106人 消防主力機械7 その他2
	消防自動車増強	6月	普通ポンプ自動車、水槽付消防ポンプ自動車の2台が完成 西宮消防署に配置
昭和29年	消防自動車増強	8月	水槽付消防ポンプ自動車完成、鳴尾消防署に配置
昭和30年	消防無線電話の設置	12月	中短波消防専用無線電話2基（基地局1 移動局1）を設置、開局
昭和31年	鳴尾消防署新庁舎竣工	9月	西宮市古川町1番地に鳴尾消防署新庁舎竣工、移転し消防職員31人、消防車4台をもって業務開始
昭和32年	消防出張所の増設	5月	西宮消防署甲東出張所の新庁舎竣工、消防職員12人、消防自動車2台を配置し業務開始
昭和34年	消防出張所の増設	8月	西宮消防署夙川出張所の新庁舎竣工、消防職員12人、消防自動車2台を配置し業務開始
昭和35年	救急車の運用開始	2月	西宮消防署に救急車1台を配置、救急業務を開始
昭和36年	17mはしご車配置	5月	17mはしご付消防ポンプ自動車完成、西宮消防署に配置
昭和37年	化学消防自動車配置	3月	化学消防自動車完成、西宮消防署に配置
昭和38年	救急の法制化	4月	消防法の一部改正により救急業務が法制化された。
昭和40年	超短波無線電話の設置	3月	従来の消防専用中短波無線電話を廃止、消防用超短波無線電話を設置、7局（基地局1 移動局6）で運用開始
	機構改革	9月	消防署の組織を署長・次席制4係とする
	LPガスタンクローリー車火災	10月	川西町においてLPガスタンクローリー車が転覆炎上し58棟全半焼、死者5名、負傷者26名、車両35台焼損
昭和41年	シュノーケル車	1月	シュノーケル車が完成、西宮消防署に配置

	消防本部及び西宮消防署新庁舎竣工	1月	西宮市津門大塚町1番38号に消防本部及び西宮消防署の新庁舎竣工、移転し業務開始
	一斉指令装置完成	2月	消防本部新庁舎竣工と同時に一斉指令装置(1本部2消防署2出張所)が完成、運用開始
	機構改革	10月	従来の5課制から総務課、消防課、予防課の3課制に統合9係とする。 消防本部の機構 消防本部長 - 次長 - 3課 - 9係 消防署 2署 2出張所 消防職員168人 消防主力機械20
昭和42年	消防出張所の増設	4月	西宮市大屋町12番14号、名神高速道路高架下に西宮消防署瓦木出張所の新庁舎竣工、消防職員12人、消防自動車3台にて業務開始
	救助隊の発足	6月	特別救助隊発足
昭和43年	消防職員待機宿舎完成	5月	西宮市津門大塚町1番38号に消防職員待機宿舎竣工、使用開始
昭和44年	消防署の増設	4月	西宮市上甲東園2丁目11番66号に甲東消防署新庁舎竣工、消防職員35人、消防車2台、救急車1台、指揮車1台、計4台をもって業務開始。同年5月西宮消防署甲東出張所を廃止。1本部3消防署2出張所となる
	管轄区域の変更	4月	甲東消防署増設に伴い、西宮消防署夙川出張所を甲東消防署夙川出張所とし管轄区域を変更する
	副士長制度の発足	7月	職場における能率の向上と勤務意欲を高めるため副士長制度を設けた
昭和45年	大型化学車配置	1月	大型化学車が完成、西宮消防署に配置
昭和46年	消防分署の増設	4月	西宮市塩瀬町名塩5318番の1に甲東消防署北分署の新庁舎竣工、消防車2台、救急車1台、指揮車1台、計4台消防職員18人をもって業務開始
	無線前進基地局の開設	4月	北部地域における円滑な通信業務を図るため、新庁舎甲東消防署北分署に無線前進基地局を開設
	監視用テレビジョンの設置	7月	望楼を廃止し、指令室に監視用テレビジョンを設置して火災監視センターとして運用開始
昭和47年	32mはしご車配置	1月	32mはしご付消防ポンプ自動車が完成、西宮消防署に配置
昭和48年	救助工作車配置	2月	救助工作車が完成、西宮消防署瓦木出張所に配置
	救急指令装置の設置	3月	ワンタッチシステムの救急指令装置が完成、運用を開始 救急隊 4隊

昭和49年	西宮消防署瓦木出張所を分署に昇格	4月	西宮消防署瓦木出張所を分署に昇格、人員、車両を増強し救急救助体制を強化
	気象観測装置の設置	12月	消防本部に気象観測装置を設置
	機 構 改 革	1月	従来の消防課にあった指令室を管制第1係、管制第2係とし、予防課に環境指導係を設ける 消防本部長 - 次長 - 3課 - 11係となる
	高 発 泡 車 配 置	2月	高発泡車が完成、西宮消防署に配置
	救急波無線局の設置	3月	消防本部と甲東消防署北分署に救急波無線局を設置
昭和50年	機 構 改 革	11月	従来の総務課、消防課、予防課のほかに主幹制度を設け4課とし、主査を置き12係とする 消防本部長 - 次長 - 4課 - 12係となる  従来の消防署次席を副署長とし分署に分署長、出張所に出張所長を置く
	移動消防分遣所制度	11月	3消防署、2分署、1出張所からそれぞれ分隊編成で予防査察、地水利調査、消防警備等を合理的に実施し防災面の条件整備を図る
	42mはしご車配置	3月	42mはしご付消防自動車完成、西宮消防署に配置
昭和51年	機 構 改 革	10月	(1) 消防本部の名称を西宮市消防局とする (2) 消防局に管理部と消防部の2部を設ける (3) 管理部に施設課を設け、従来の総務課を管理課と改称し、2課1主幹とする (4) 消防部に管制室及び救急救助課を設け、3課1室とする (5) 西宮消防署瓦木分署を消防局瓦木分室とし、消防部救急救助課を置く 西宮市消防局は、2部5課1室1主幹15係3主査及び3署1分署1出張所となる
	空気圧縮設備完成	1月	空気圧縮設備が完成し、消防活動の迅速化と円滑化を図った
昭和52年	消防出張所の増改築	12月	甲東消防署夙川出張所の増改築に伴い人員の増強と従来消防局瓦木分室(救急救助課)が運用していた救急車を配置替えし、救急業務の適正化を図った
昭和53年	機 構 改 革	6月	(1) 管理部施設課を廃止し、事務を同部管理課と消防部消防課に分ける (2) 消防課に技術係を新設する (3) 消防部救急救助課を瓦木分室から消防局(本局)に移す

			(4) 瓦木分室を西宮消防署瓦木分署とする
			(5) 消防部予防課の査察安全係を予防係に、環境整備係を指導係に改称する
			(6) 夙川方面の消防行政需要の増大に伴い甲東消防署夙川出張所に消防第1係長、消防第2係長及び予防係長を配置した
			(7) 消防局の毎日勤務者を削減し、消防署の人員を強化した西宮市消防局は、2部4課1室1主幹13係1主査及び3消防署2分署1出張所となる
昭和54年	鳴尾消防署仮設庁舎	9月	鳴尾消防署庁舎建替えのため鳴尾町2丁目所属照寂公園に仮設庁舎建築
	ドクターカー制度の発足	12月	救命率の向上を図るため、消防局の機動力と病院の医療技術を組み合わせたドクターカーシステムの運用開始
昭和55年	4.2mはしご車配置	2月	4.2mはしご付消防自動車完成、鳴尾消防署に配置
	鳴尾消防署新庁舎竣工	3月	鳴尾消防署新庁舎竣工(旧庁舎敷地跡)
	定数改正	3月	消防職員の定数を「315人」に改めた
	機構改革	4月	消防局救急救助課の特別救助隊を消防署に配置、強化を図る
	救助工作車配置	4月	機構改革により鳴尾消防署に救助工作車を配置
	消防主任制度の発足	10月	消防主任(消防司令補)を隔日勤務体制の部署に配置
昭和56年	消防局管制室改修及び無線局の増設	3月	消防局の管制室を拡張、県内共通波無線局、全国波無線局を設置
	医療情報システム	4月	兵庫県医療情報システム運用開始
昭和57年	阪神間救急医療研究会	3月	救急隊員の医学知識向上を目的として発足
	消防分署の増改築	12月	瓦木分署の職場環境の整備拡張を図るため事務所、仮眠室等の増改築を実施(増築30.75㎡)
昭和58年	消防局、西宮消防署の改修	3月	消防局、西宮消防署の事務能率の向上を図るため事務室全体の改修を実施
	自主防災組織	11月	地震その他の災害に対し、自主的な防災活動を行い、地域の被害の防止と軽減を図ることを目的とした、山口町連合防災会が発足
昭和59年	消防局、西宮・甲東消防署の改修	3月	消防局西宮消防署の庁舎補修のため外壁、屋外階段、屋上防水及び甲東消防署の庁舎外壁、屋上防水改修
	救助訓練施設の設置	3月	救助訓練施設(訓練塔、登はん梯子)を消防局に設置
	甲東消防署夙川出張所を北夙川分署に昇格	4月	甲東消防署夙川出張所を市内松風町4番4号に移転竣工、北夙川分署に昇格改称し、業務を開始

	消防分署を署に昇格	10月	甲東消防署北分署を北消防署に昇格改称した
	西宮消防署と甲東消防署の管轄区域の改正	10月	西宮消防署と甲東消防署の管轄区域を改正し、北夙川分署の名称を西宮消防署北夙川分署とした
昭和60年	消防出張所新庁舎竣工	4月	北消防署山口出張所を西宮市山口町上山口1056番地の1に竣工、業務開始
昭和61年	消防局管制室に救急業務用地図等検索装置を新設	3月	消防局の管制室にパソコンと光ディスクを連動させた救急業務用地図等検索装置を新設
	地震計の設置	3月	消防局庁舎に地震計を設置
	国際消防救助隊への参加登録	4月	外国の大災害に対し、機敏な救助活動を行うことを目的とする国際消防救助隊に参加登録
昭和62年	西宮市消防局整備センター竣工	4月	消防車両等の継続検査と効率的な整備や消防用機器の開発を行うため、整備センターを西宮市西宮浜3丁目5番地に竣工、業務開始
	救助工作車配置	10月	西宮消防署へ救助工作車を配置
	消防テレホンサービス	12月	消防テレホンサービスの運用開始
昭和63年	無線設備の拡充	3月	災害現場における重要通信の混信を避けるため消防第二市波無線局を開設。また、広域災害に対応するため移動局に防災波を増設
	消防音楽隊の発足	4月	消防音楽隊の発足
	携帯基地局、携帯局の開設	6月	市域外にまたがる広域災害発生時における陸上、海上、上空の二以上にわたり運用可能な携帯基地局を開設
	瓦木消防署新庁舎竣工	10月	西宮市高木東町15番11号に瓦木消防署の新庁舎竣工、業務開始
	管轄区域の変更	10月	瓦木消防署の新庁舎竣工に伴い、甲東消防署を瓦木消防署甲東分署とし、西宮消防署瓦木分署を廃止。これに伴い、瓦木消防署及び西宮消防署の管轄区域を変更
	救助訓練施設の設置	10月	瓦木消防署に救助訓練施設を設置
	西宮市救急医療情報システム	11月	救急医療体制の円滑な運用を図るため、西宮市救急医療情報システムの運用開始
	防振ストレッチャー開発	11月	救急車内の振動を軽減した西消式防振ストレッチャーを開発装備
	救助工作車配置	12月	瓦木消防署に大型救助工作車を配置
平成元年	定数改正	3月	消防職員の定数を「329人」に改めた

平成2年	機 構 改 革	4月	主幹を廃止し、整備センターを管理部へ編入
	課長補佐制度の導入	4月	課長補佐制度を導入
	資 器 材 搬 送 車 配 置	6月	消防課に資器材搬送車を配置
	支 援 車 配 置	10月	西宮消防署に支援車を配置
平成3年	消防出張所の増改築	2月	北消防署山口消防出張所の車庫増改築を行い、救急車1台を配置し、救急体制の拡充を行った
	無線前進基地局の開設	3月	山口地域における円滑な通信業務を図るため、北消防署山口消防出張所に無線前進基地局を開設
	救助訓練施設及び救急消毒室の設置	3月	鳴尾消防署に救助訓練施設（訓練塔、登はん梯子）及び救急消毒室を設置
	消防出張所を消防分署に昇格	4月	北消防署山口消防出張所を消防分署に昇格改称
	北消防署新庁舎竣工	4月	西宮名塩新町7番地1に北消防署の移転新築に伴う新庁舎竣工、業務開始
	気象観測装置の増設	4月	北消防署に気象観測装置を設置し、消防局と合せて観測点を2カ所とした
	ドクターカーシステム制度の拡充	4月	救急医療体制の充実を図るため、ドクターカーシステムの夜間の体制を整備し、24時間体制で運用開始
	救 急 消 毒 室 設 置	10月	西宮消防署北夙川分署及び瓦木消防署甲東分署に救急消毒室を設置
	50mはしご車配置	10月	50mはしご付消防自動車が完成、鳴尾消防署に配置
	救 急 課 程 制 度	12月	兵庫県消防学校救急 課程開校に伴い研修派遣
平成4年	衛星通信ネットワークの運用	1月	衛星通信を活用した「兵庫衛星通信ネットワーク」の運用開始
	防 災 指 導 車 配 置	2月	予防課に防災指導車を配置
	救 急 消 毒 室 設 置	3月	西宮消防署に救急消毒室を設置
	加入電話番号の統一	4月	消防局及び各署所の加入電話番号を「0119」に統一
	加入電話番号の増設	6月	消防局にダイヤルイン方式を導入し、直通電話を増設
	救 急 課 程 制 度	5月	阪神地区救急 課程開校に伴い研修派遣
	人 員 搬 送 車 配 置	8月	消防課に人員搬送車を配置
	非常開放面格子制度	9月	非常開放面格子の製品登録制度発足



平成5年	高規格救急車の配置	3月	救急救助課・西宮消防署に高規格救急車配置
	救急救命士制度	4月	医師に準ずる医療行為が行える救急救命士2名誕生・西宮消防署へ配置
	心電図受信装置の設置	6月	応急処置等の助言を得るため、2医療機関に心電図受信装置を設置
	高規格救急車の配置	12月	鳴尾消防署・瓦木消防署に高規格救急車配置
	定数改正	12月	消防職員の定数を「355人」に改めた
平成6年	機構改革	4月	(1) 管理部に企画課を新設 (2) 消防部消防課の消防第1係及び消防第2係を消防係に改称 開発担当を廃止し、警防係を新設するとともに救急救助課より救助係を移した (3) 消防部救急救助課を救急課に改称し、救急指導係を新設した (4) 消防部管制室の管理担当を廃止した (5) 西宮消防署及び瓦木消防署の課長補佐の下に消防係長を新設し、消防指揮体制の強化を図る 西宮市消防局の組織は、2部5課1室1センター16係及び4署3分署となる
	救急救命士	4月	救急救命士試験に2名合格・鳴尾消防署へ配置
	救急救命士	10月	救急救命士試験に2名合格・瓦木消防署へ配置
	高規格救急車の配置	12月	西宮消防署北夙川分署・北消防署に高規格救急車配置
平成7年	兵庫県南部地震発生	1月	1月17日5時46分震度7の兵庫県南部地震が発生し、西宮市全域にわたり甚大な被害を受けた
	50mはしご車配置	3月	50mはしご付消防自動車完成、西宮消防署に配置
	望火台撤去	3月	兵庫県南部地震により亀裂を生じた西宮消防署の望火台を撤去
	救急救命士	4月	救急救命士試験に2名合格・北消防署へ配置
	機構改革	4月	消防署の管理係を廃止、救急担当の係長を新設し、西宮消防署に配置
	救急救命士	10月	救急救命士試験に2名合格・西宮消防署北夙川分署へ配置
	救援車等配置	12月	救援車(4台)、小型動力ポンプ積載車(10台)を各消防署及び消防分署等に配置
	高規格救急車の配置	12月	瓦木消防署甲東分署に高規格救急車配置
平成8年	消防水利の整備	2月	私設防火水槽の維持管理を図るため、指定水利制度の開始

	消 防 水 利 の 整 備	3月	河川利用消防用取水施設の設置
	災害対応特殊救急車等の配置	3月	救急課に災害対応特殊救急車、北消防署山口分署に高規格救急車を配置
	消 防 水 利 の 整 備	3月	飲料水兼用型耐震性100m <sup>3</sup> 貯水槽を今津中学校グラウンドに設置
	消防団事務の一元化	4月	市民局から消防局へ消防団事務の移管
	機 構 改 革	4月	(1) 管理部管理課に消防団係を新設 (2) 消防部消防課警防係を廃止し、自主防災・調査担当を新設 (3) 消防部管制室に消防情報システム係を新設 (4) 救急担当の係長を鳴尾消防署に配置
	消防局新庁舎竣工	4月	西宮市池田町13番3号に消防局の新庁舎竣工、業務開始
	救 急 救 命 士	4月	救急救命士試験に2名合格・瓦木消防署甲東分署に配置
	計測震度計の設置	8月	消防局の地震計を北消防署へ計測震度計として移設
	災害対応ネットワークの運用	9月	「兵庫県災害対応総合情報ネットワーク」(フェニックス防災システム)を運用開始
	西宮市消防協力隊の結成	10月	消防活動に精通した自衛消防隊の活動範囲を周辺にまで広げ、防災機関を補完するため組織化された
	救 急 救 命 士	10月	救急救命士試験に2名合格・北消防署山口分署に配置
平成9年	全国共通波の整備	3月	広域応援体制確立のため、全移動局に全国共通波2及び全国共通波3を増設
	消防緊急情報システム運用開始	4月	消防緊急情報システムを導入し、受付指令業務等をコンピュータ化した (1) 発信地表示装置、地図等検索装置による通報場所自動表示 (2) 自動出動指定装置等による災害現場直近隊の自動編成 (3) 予告指令、自動指令、地図付指令書による確実な出動指令 (4) 消防団緊急伝達装置による迅速な出動要請 (5) 消防OAシステム等による支援情報報告統計オンライン化 (6) 気象情報、地震情報をオンライン化し遠隔監視
	無線設備の拡充	4月	消防緊急情報システム導入に合わせて無線設備を拡充した (1) 消防局に防災無線局を開設し、各署所に無線固定局を開設 (2) 北消防署、北消防署山口分署に消防第二市波無線局を開設 (3) 無線交信輻輳低減のためAVM装置、署活系無線機を導入 (4) 消防団車両に車載無線機(消防第二市波)を装備
	機 構 改 革	4月	救急担当の係長を瓦木消防署に配置
平成10年	全国共通波の整備	2月	北消防署、北消防署山口分署に全国共通波1無線局を開設

	消防水利の整備	3月	飲料水兼用型耐震性100m <sup>3</sup> 貯水槽を山口支所前に設置
	定数改正	3月	消防職員の定数を「365人」に改めた
	機構改革	4月	救急担当の係長を北消防署に配置
	高所監視テレビ装置	4月	高所監視テレビ装置をセントラルガーデンタワー屋上移置
	携帯電話からの119番通報	4月	代表消防本部を經由して携帯電話からの119番通報を受信開始
	電子メール新設	8月	消防局にEメールアドレスを取得した
平成11年	定数改正	3月	「初任科教育又は救急救命士養成研修中の者」を定数外の職員に追加した
	震度情報伝達装置	7月	北消防署の震度情報を兵庫県を通じて気象庁に伝送開始
	住宅防災対策	11月	住宅防災診断マニュアルを作成し、防災診断を開始
	消防出張所新庁舎竣工	12月	西宮浜3丁目5番地に西宮消防署西宮浜消防出張所新庁舎竣工 消防車1台、救急車1台、査察広報車1台、小型動力ポンプ積載車1台、計4台、消防職員12人をもって業務開始
平成12年	機構改革	4月	署に救急第1係、救急第2係を新設
平成13年	機構改革	4月	(1) 管理部を総務部に、管理課を総務課、管理係を庶務係、人事教養係を人事係に改称し、整備センター(課)を廃止し総務課に整備センターを置いた 経理係を企画課に移した 総務部は、2課6係となる (2) 消防部管制室を指令課に、管制第1係、管制第2係をそれぞれ指令第1係、指令第2係に改称 消防課に調査係を新設し、救急課救急指導係を廃止した (3) 西宮消防署に専任救助隊を設置し、消防第1係、消防第2係をそれぞれ消防救助第1係、消防救助第2係に改称
	ホームページ開設	12月	消防局ホームページを開設した
平成14年	定数改正	4月	消防職員の定数を「359人」に改めた
	女性消防吏員採用	4月	女性消防吏員を初めて採用した
	服制改正	4月	消防職員の服制を改めた
	電子メール増設	12月	消防署所にEメールアドレスを取得した 平成16年度全所属に職員用パソコンの配置により廃止
平成15年	M C 体制確立	3月	メディカルコントロール体制を確立した

平成16年	ネミス(NEMIS) ネット運用開始	4月	救急医療情報システムをウェブ化し、ネミス(NEMIS) ネットとして運用開始した
	全所属に職員用パソコンを配置	6月	西宮市情報化推進計画により全所属に職員用パソコンを配置した
	家庭防火クラブに改称	8月	婦人防火クラブを家庭防火クラブに改称した
	新発信地表示システム運用開始	10月	新発信地表示システムを運用開始した
平成17年	殉職職員の西宮市消防葬	2月	平成15年12月、山口町の火災での殉職に伴う西宮市消防葬を挙行した
	統合文書管理システム運用開始	4月	西宮市情報化推進計画により統合文書管理システムを運用開始した
	指揮支援体制の運用	7月	現場活動における、安全管理の徹底を図るため、指揮支援体制の運用を開始した
平成18年	緊急消防援助隊出動	7月	福井豪雨災害(福井県美山町)へ緊急消防援助隊として出動した
	救急隊の増隊	4月	救急需要に対応するため、西宮消防署に救急隊1隊を増隊し、常時2隊の運用を開始した
	JR福知山線列車事故に応援出動	4月	JR福知山線列車事故へ兵庫県広域消防相互応援協定により出動した
平成19年	携帯電話からの119番直接受信開始	11月	代表消防本部経由から直接受信に移行した
	全国共通波の整備	3月	消防局に全国共通波2・3及び北消防署、北消防署山口分署に全国共通波2を開設した
	西宮市消防特命査察隊の運用開始	4月	防火対象物の安全確保と違反事案の是正、発生防止を図るため、西宮市消防特命査察隊の運用を開始した
平成20年	AED貸出事業開始	6月	応急手当の普及啓発と安全を図るため、市民等が集まる催物の関係者に対し、AEDの貸出を開始した
	全国共通波の整備	3月	北消防署及び北消防署山口分署に全国共通波3を開設した
	定数改正	4月	消防職員の定数を「426人」に改めた
	AED設置事業	5月	市立学校関係にAED設置を行った
平成20年	救急波の更新整備	12月	消防局の無線基地局、救急波を更新整備した
	消防音楽隊20周年	3月	消防音楽隊20周年記念演奏会(中核市移行記念)を挙行した
		4月	西宮市が中核市へ移行した
		7月	中核市移行に伴い、西宮消防署の専任救助隊を高度救助隊とした

平成21年	機 構 改 革	4月	消防局長 - 次長 - 6課 - 17係とし、総務部と消防部の2部を廃止した (1) 総務課の整備センターを消防課に移し、企画課の給与事務を総務課に移し、新たに給与係を新設した (2) 消防課の消防係、救助係、調査係を廃止し、消防救助係とし、新たに消防課に指揮第1係、指揮第2係を新設した (3) 消防課に指揮第1係、指揮第2係の新設に伴い、本部指揮隊を配置した
	新財務会計システム運用開始	4月	西宮市情報化推進計画により新財務会計システムを運用開始した
	A E D 設置施設表示制度	5月	A E D設置している民間事業所に、そのA E Dの一般使用について協力を依頼し、A E D設置表示証の掲示及び西宮市ホームページへの掲載を行った
平成22年	救 急 隊 の 増 隊	4月	救急需要に対応するため、鳴尾消防署に救急隊1隊を増隊し、常時2隊の運用を開始した
	西宮消防署耐震化改修	9月	西宮消防署耐震化改修工事を完了した
平成23年	鳴尾消防署南棟竣工	2月	鳴尾消防署に訓練塔を併設した南棟を竣工した
	緊急消防援助隊出動	3月	東日本大震災への緊急消防援助隊として、3月11日から4月24日までの45日間にわたり、46隊154名(活動延人員290隊981名)を宮城県亘理郡山元町などに派遣した
	機 構 改 革	4月	消防局に総務部と警防部の2部を設けた (1) 総務部は総務課及び企画課の2課とした (2) 警防部は予防課、指令課、救急課及び従来の消防課を警防課に改称し4課とした (3) 警防課の消防係を警防係に改称し、救助係を新設した (4) 救急課に救急指導係を新設した (5) 西宮消防署の消防救助係を警防救助係に、各署所の消防係を警防係に改称した (6) 北消防署に北部指揮隊を配置した
	車 両 配 置 の 再 編	4月	(1) 北消防署に救助工作車を配置した (2) 瓦木消防署に化学車を配置した (3) 瓦木消防署甲東分署にポンプ車を配置した
	消 防 緊 急 情 報 シ ス テ ム 更 新	4月	平成9年度から運用してきた消防緊急情報システムを更新した (1) 現場映像情報伝送装置を導入 (2) 統合型位置情報通知システムを導入 (3) Web119受信装置を導入 (4) 指令室表示盤を大型液晶モニター(24面)に変更

		(5) 市とのネットワーク接続によりリアルタイムに福祉情報等 を取得 (6) 車両運用端末装置(AVM装置)をタッチパネル型に変更 (7) 消防OA支援情報システムをナイスネット端末に接続
平成24年	瓦木消防署甲東分署耐震化改修	11月 瓦木消防署甲東分署耐震化改修工事を完了した
	鳴尾消防署耐震化改修	3月 鳴尾消防署耐震化改修工事を完了した
	機 構 改 革	4月 課長補佐級制度の廃止(職名は当分の間残置)及び三交替制勤務の試行的導入に伴い、係を改編した (1) 指令課に指令総括第1係、第2係を新設した (2) 三交替制勤務の試行的導入のため、警防課指揮第1係、指揮第2係を廃止し、指揮総括第1係、指揮総括第2係、指揮総括第3係、調査第1係、調査第2係、調査第3係を新設した (3) 消防署に警防総括第1係、警防総括第2係を新設した (4) 鳴尾消防署、瓦木消防署、北消防署の警防第1係を警防救助第1係に、警防第2係を警防救助第2係に改称した
	副士長制度の廃止	4月 職階制及び職責を明確にし、組織の活性化と職員の士気高揚を図るため、消防副士長制度を廃止した
	活動支援車の配置	10月 警防課整備センターにウィング式トラック型の活動支援車を配置した
	救助工作車の配置	12月 瓦木消防署に救助工作車を配置し、市内4消防署全てに配置が完了した
平成25年	人員輸送車の配置	2月 総務省消防庁からの無償使用制度に基づき、西宮消防署西宮浜出張所に人員輸送車を配置した
	西宮浜出張所増改築	12月 西宮浜出張所の増改築工事を完了した
平成26年	人材育成基本方針策定	2月 西宮市消防職員人材育成基本方針を策定した
	管轄区域の変更	4月 西宮消防署、鳴尾消防署及び瓦木消防署の管轄区域を変更した
	西宮浜出張所を分署に昇格	4月 西宮消防署西宮浜出張所を分署に昇格し、管轄区域の変更に伴い、鳴尾消防署浜分署に改称した
	機 構 改 革	4月 三交替制勤務の試行的導入を終了し、警防課指揮総括第3係、調査第3係を廃止した
平成27年	消防救急無線のデジタル化完了	4月 消防救急無線のデジタル化工事を完了、本運用を開始した

服 制 改 正 | 4 月 消防職員の服制を改めた

## 管 内 情 勢

(平成27年4月1日現在)

所属別	管内情勢		保有車両・吏員配置数		平均受持数	
			消防自動車	消防吏員	消防自動車 1台当り	消防吏員 1人に対し
全 市	面積	100.18 km <sup>2</sup>	41 台  〔局6台 を含む〕	419 人  〔局72名 を含む〕	/	/
	人口	483,132 人			11,784 人	1,153 人
	世帯数	216,003 世帯			5,268 世帯	516 世帯
	防火対象物数	11,818 対象			288 対象	28 対象
	消防水利数	5,973 個			/	/
西宮 消防署	面積	23.68 km <sup>2</sup>	9 台	103 人	/	/
	人口	161,896 人			17,988 人	1,572 人
	世帯数	75,150 世帯			8,350 世帯	730 世帯
	防火対象物数	4,404 対象			489 対象	43 対象
	消防水利数	2,029 個			/	/
鳴尾 消防署	面積	14.10 km <sup>2</sup>	7 台	87 人	/	/
	人口	139,169 人			19,881 人	1,600 人
	世帯数	63,076 世帯			9,011 世帯	725 世帯
	防火対象物数	3,135 対象			448 対象	36 対象
	消防水利数	1,634 個			/	/
瓦木 消防署	面積	13.97 km <sup>2</sup>	9 台	77 人	/	/
	人口	137,142 人			15,238 人	1,781 人
	世帯数	59,248 世帯			6,583 世帯	769 世帯
	防火対象物数	3,367 対象			374 対象	44 対象
	消防水利数	1,486 個			/	/
北 消防署	面積	48.43 km <sup>2</sup>	10 台	80 人	/	/
	人口	44,925 人			4,493 人	562 人
	世帯数	18,529 世帯			1,853 世帯	232 世帯
	防火対象物数	912 対象			91 対象	11 対象
	消防水利数	824 個			/	/

人口、世帯数は、住民基本台帳登録数

消防自動車台数は、ポンプ車を装備しない指揮車、はしご車、救助工作車、活動支援車を含む  
県教官派遣、初任科、救急救命士派遣、市出向者は、含まない



## 平成26年度重点目標

平成26年度は第4次西宮市総合計画の6年目であり、中間見直し後の基本計画各論に基づき、老朽化や手狭となった消防庁舎への対応として、瓦木消防署甲東分署の建替えやアサヒビール西宮工場跡地での西宮消防署の建替えに着手するほか、消防署の管轄区域変更や西宮浜出張所の分署昇格など、新たな組織体制のもとで、消防行政が直面する様々な課題に適切に対応しなければならない。

また、消防の任務を遂行するには、服務規律の確保、部隊行動の徹底、指揮命令系統の確立が必要不可欠であることを職員一人ひとりが自覚するとともに、人材育成の重要性を十分認識した取組みが必要であるため、このことを踏まえて策定した西宮市消防職員人材育成基本方針を有効に活用するなど、効率的で体系立てた人材育成を推進していく必要がある。

平成26年度はこれらの課題に重点的に取り組み、消防体制の充実強化を図るほか、予防対策では住宅用火災警報器の設置を促進し住宅火災による死傷者の軽減を図るとともに、放火火災予防の推進や予防査察による違反の即時是正に努め、さらに救急救助体制では救急救命士や救助隊員等の養成や技術向上を図り、救急救助業務の高度化を推進するとともに、応急手当普及員の育成など救命処置の普及促進に努める。

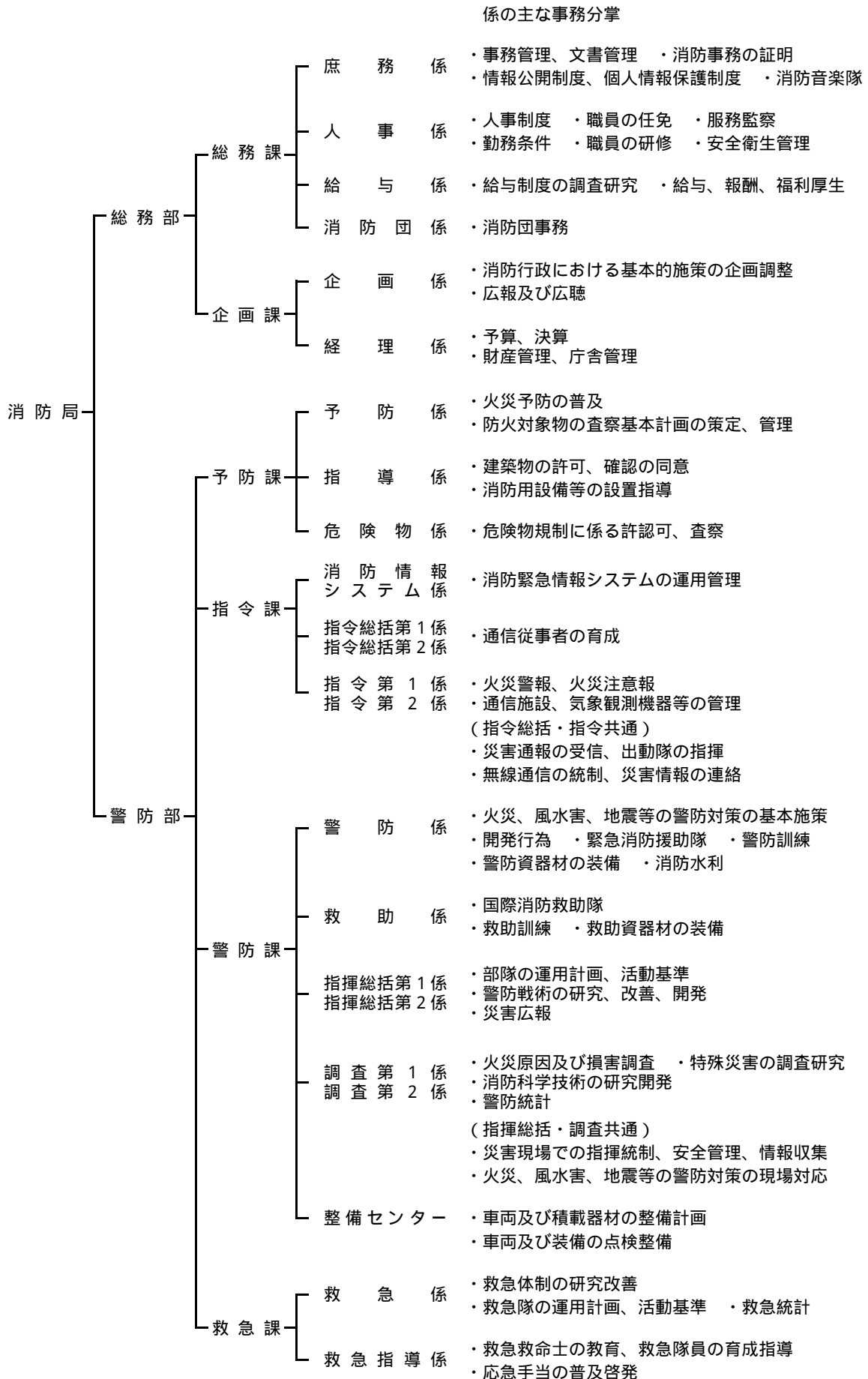
市民の生命、身体及び財産を守るという責務のもと、市民に信頼される消防行政を推進するため、重点目標を次のように定める。

### ( 重点目標 )

消防体制の充実強化	<ol style="list-style-type: none"><li>1 服務規律の確保</li><li>2 部隊行動の徹底</li><li>3 指揮命令系統の確立</li><li>4 人材育成の推進</li></ol>
予防対策の充実強化	<ol style="list-style-type: none"><li>1 住宅用火災警報器の設置促進</li><li>2 放火火災予防対策の推進</li><li>3 予防査察の充実強化</li></ol>
救急救助体制の充実強化	<ol style="list-style-type: none"><li>1 救急救助技術及び能力の向上</li><li>2 救急救助業務高度化の推進</li><li>3 救命処置の普及促進</li></ol>

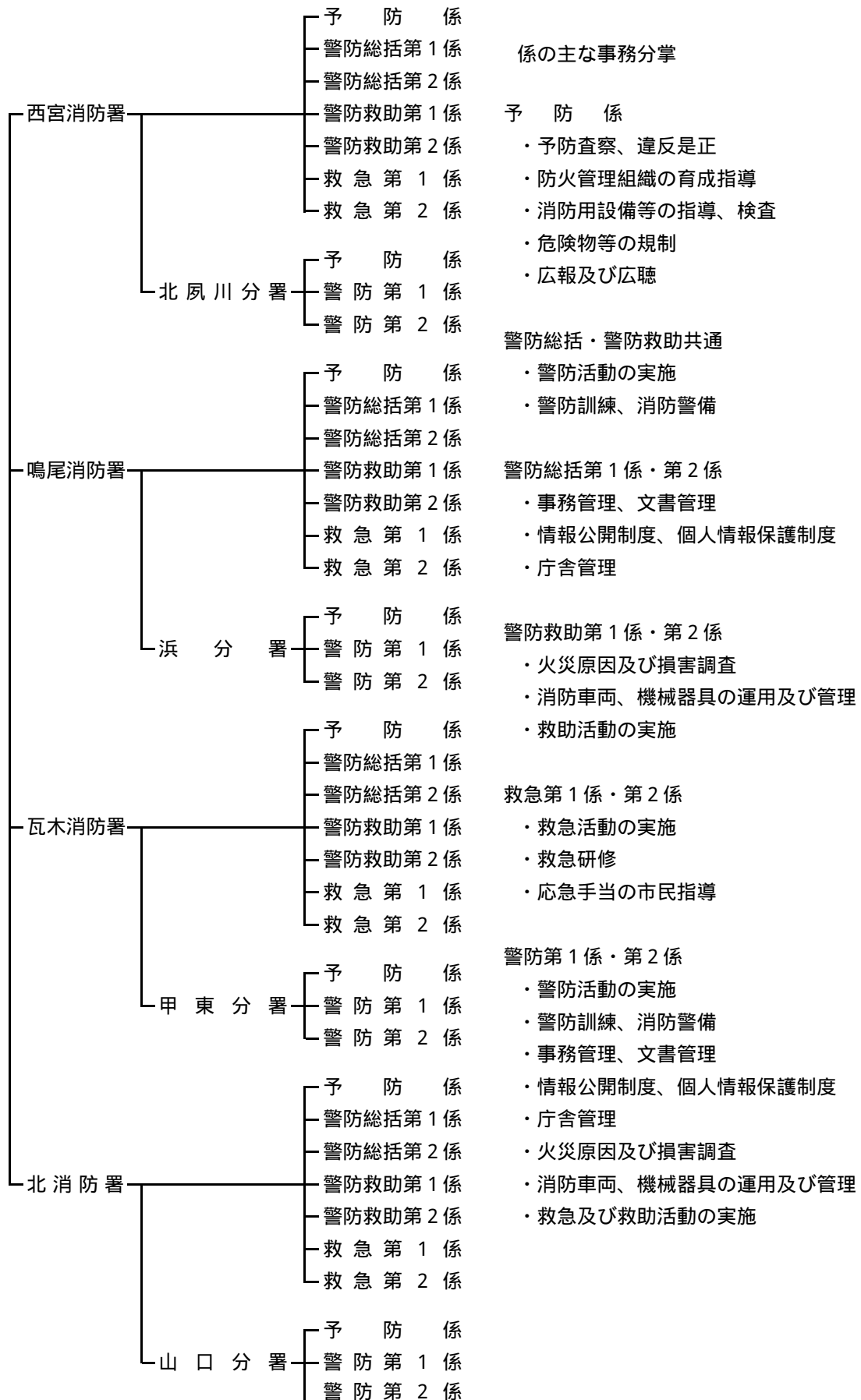
# 消防局の組織及び事務分掌

平成27年 4月 1日現在



# 消防署の組織及び事務分掌

平成27年4月1日現在



## 職 員 配 置 状 況

(平成27年4月1日現在)

所 属 区分	消 防 局								西宮消防署		鳴尾消防署		瓦木消防署		北消防署		
	局 長	総 務 部			警 防 部					本 署	北 夙 川 分 署	本 署	浜 分 署	本 署	甲 東 分 署	本 署	山 口 分 署
		部 長	総 務 課	企 画 課	部 長	予 防 課	指 令 課	警 防 課	救 急 課								
配置人員	1	1	11	5	1	7	22	19	5	65	38	59	28	49	28	52	28
小 計		17			54					103		87		77		80	
計	419 (派遣職員24名を除く)																

## 年 度 別 職 員 数 状 況

年度 区分	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
職員数 (4月1日)現在	380	401	418	435	440	441	446	439	443
採 用	15	36	36	39	30	24	30	16	17
退 職	14	19	22	24	23	25	23	13	

職員数は職員の出向による増減を含む

## 職 員 年 齢 状 況

(平成27年4月1日現在)

年 齢	20歳未満	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳以上
人 数	3	45	127	84	47	45	30	23	39

職員平均 35歳9月

## 職 員 勤 続 年 数 状 況

(平成27年4月1日現在)

年 数	5年未満	5年～9年	10年～14年	15年～19年	20年～24年	25年～29年	30年～34年	35年～39年	40年以上
人 数	109	120	48	32	40	34	23	21	16

職員平均 13年6月

## 消防自動車等保有状況

(平成27年4月1日現在)

車種別		合 計	ポ ン プ 車	水 槽 付 ポ ン プ 車	は し ご 車	化 学 車	救 助 工 作 車	活 動 支 援 車	救 急 車	司 令 車	指 揮 車	指 揮 広 報 車	査 察 広 報 車	人 員 搬 送 車	防 火 指 導 車	連 絡 車	可 搬 式 動 力 ポ ン プ
所属別	計																
計		75	8	9	4	2	4	14	13	1	3	3	8	2	1	3	20
消防局	消防局	10						3		1	2			1	1	2	2
	整備センター	8	(1)	(1)		(1)		1	(3)							1	1
西宮	本署	10	1	1	1		1	2	2			1	1				2
	北夙川	5	1	1				1	1				1				2
鳴尾	本署	9	1	1	1		1	1	2			1	1				2
	浜	5		1				1	1				1	1			1
瓦木	本署	9	1	1	1	1	1	1	1			1	1				2
	甲東	5	1	1				1	1				1				2
北	本署	9	1	1	1		1	2	1		1		1				3
	山口	5	1	1				1	1				1				3

( ) は非常用車両

## 消 防 情 勢 の 推 移

区 分  年	人 口	世 帯 数	面 積 (km <sup>2</sup> )	消(条 防 例 職 定 員 数) 数	消 防 車 両 数	火 災 件 数	損 害 額 (千円)	救 急 出 動 件 数	救 助 出 動 件 数
平成13年	437,036	181,639	100.18	359	69	108	90,218	14,915	184
平成14年	443,636	185,880	100.18	359	69	130	188,677	15,159	198
平成15年	448,967	189,322	100.18	359	69	100	204,659	16,367	257
平成16年	453,122	192,103	100.18	359	69	85	50,034	17,079	335
平成17年	463,844	198,996	100.18	359	69	153	431,465	18,261	324
平成18年	468,831	202,500	100.18	426	70	128	92,128	18,461	216
平成19年	472,679	205,565	100.18	426	70	158	79,116	18,964	217
平成20年	474,779	207,768	100.18	426	70	116	62,755	17,853	233
平成21年	477,270	209,876	100.18	426	71	135	117,695	18,065	213
平成22年	478,538	211,317	100.18	426	72	157	99,921	19,713	301
平成23年	479,014	212,781	100.18	426	74	144	150,134	20,689	282
平成24年	480,672	213,228	100.18	426	75	113	77,330	21,037	328
平成25年	482,301	214,887	100.18	426	75	112	91,106	22,131	348
平成26年	483,132	216,003	100.18	426	75	117	178,809	22,416	326

人口、世帯数は住民基本台帳登録数

人口、世帯数、面積、条例定数、消防車両は翌年4月1日現在

## 自主防災組織・家庭防火クラブ等結成状況

平成27年4月1日現在

区分 署別		自主防災組織	家庭防火クラブ		幼年消防クラブ		少年消防クラブ	
		組織数 (防災会)	クラブ数 (クラブ)	クラブ員数 (名)	クラブ数 (クラブ)	クラブ員数 (名)	クラブ数 (クラブ)	クラブ員数 (名)
西宮消防署	小計	47	7	131	2	134		
	本署	22	4	65	1	74		
	北夙川	25	3	66	1	60		
鳴尾消防署	小計	30	2	24	4	384	1	51
	本署	14	2	24	4	384	1	51
	浜	16						
瓦木消防署	小計	69	3	54	3	205		
	本署	29	2	37	2	178		
	甲東	40	1	17	1	27		
北消防署	小計	45	3	96	4	251		
	本署	32	2	77	2	81		
	山口	13	1	19	2	170		
合計		191	15	305	13	974	1	51

## 消防協力隊結成状況

平成27年4月1日現在

事業所名		隊員数(名)
1	森永乳業株式会社 近畿工場	18
2	伊藤ハム株式会社 西宮工場	10
3	新明和工業株式会社	10
4	J F E アドバンテック株式会社	10
5	J F E スチール株式会社東日本製鉄所 西宮工場	103
6	日本盛株式会社	10
7	株式会社指月電機製作所	34
8	住化エンバイロメンタルサイエンス株式会社	10
9	極東開発工業株式会社	39
10	大関株式会社	60
11	阪急電鉄株式会社 西宮車庫	58
12	辰馬本家酒造株式会社	6
13	ダイハツ工業株式会社 西宮部品センター	151
14	日立物流コラボネクスト株式会社 近畿商品センター	10
15	医療法人 明和病院	10
16	鳴尾浜連絡会	300
17	株式会社甲子園オートセンター	10
18	阪急バス株式会社 山口営業所	10
19	読売ゴルフ株式会社	16
20	西宮浜産業団地協議会	741
21	一般社団法人 西宮市医師会	10
22	阪急バス株式会社 西宮営業所	5
23	学校法人 関西学院	100
24	阪神流通センター協同組合連合会	97
25	医療法人財団 樹徳会 上ヶ原病院	10
合計	25団体(事業所)	1,838

# 消防相互応援協定締結状況(その1)

(平成27年4月1日)

名称	7市1町消防相互応援に関する覚書		兵庫県道高速北神戸線上の消防応援に関する覚書	兵庫県道高速大阪西宮線及び高速神戸西宮線(3号神戸線)上並びに兵庫県道高速湾岸線(5号湾岸線)上の消防相互応援に関する覚書	名神高速道路内の尼崎・豊中・西宮各インターチェンジ間における消防相互応援に関する協定書(同覚書)
締結都市等	尼崎市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、猪名川町、三田市	宝塚市	尼崎市	芦屋市	尼崎市・豊中市
締結年月日	平成13年3月1日	平成15年4月21日	平成6年3月15日	平成6年3月25日	昭和39年8月31日(協定) 昭和39年9月5日(覚書)
応援災害種別	火災、救急、水災、その他災害	火災・救急救助	火災・救急救助	火災・救急救助	火災・救急救助
応援区域	各市町全域	阪神高速道路北神戸線の西宮市にかかる区域	阪神高速道路の西宮市及び尼崎市にかかる区域	阪神高速道路の西宮市及び芦屋市にかかる区域	西宮インターチェンジ、豊中インターチェンジ間の名神高速道路上
応援方法	通常	1. 区域 7号北神戸線上下線のうち西宮山口ジャンクションの中国自動車道下り線との分岐点から西宮山口東料金所までの区域(宝塚市応援) 2. 内容 自動的に消防隊又は救急隊若しくは救助隊1隊が応援	1. 区域 (1) 3号神戸線上下線のうち西宮市と尼崎市の境界から尼崎西ランプウェイまでの間 5号湾岸線上下線のうち西宮市と尼崎市の境界から尼崎末広ランプウェイまでの間(西宮市応援) (2) 3号神戸線下り線のうち尼崎市と西宮市の境界から西宮ランプウェイまでの間 5号湾岸線下り線のうち西宮市と西宮市の境界から甲子園浜ランプウェイまでの間(尼崎市応援) 2. 内容 自動的に消防隊又は救急隊若しくは救助隊1隊が応援	1. 区域 (1) 3号神戸線下り線のうち芦屋市域に係る区域 5号湾岸線下り線のうち西宮市と芦屋市の境界から南芦屋浜ランプウェイまでの区域(西宮市応援) (2) 3号神戸線上下線のうち芦屋市と西宮市の境界から武庫川ランプウェイまでの区域(芦屋市応援) 2. 内容 自動的に消防隊又は救急隊若しくは救助隊1隊が応援	1. 区域 (1) 区域内の火災・救急事故を感知したとき (2) 火災等発生地の消防長から応援要請があったとき 2. 内容 必要消防隊が応援
	特別	1. 区域 全域 2. 内容 災害発生地消防長の要請により必要消防隊が応援	1. 区域 上記道路のうち西宮市域 2. 内容 西宮市消防長の要請により必要消防隊が応援	1. 区域 上記道路のうち尼崎市域と西宮市域 2. 内容 火災等発生地消防長の要請により必要消防隊が応援	1. 区域 上記道路のうち芦屋市域と西宮市域 2. 内容 火災等発生地消防長の要請により必要消防隊が応援
経費負担	応援市町負担 1. 公務上の災害補償費 2. 応援職員の旅費及び出動手当 3. 車両及び機械器具の燃料費及び修理費 4. 被服の損料等 5. 交通事故等における損害賠償費等  被応援市負担 1. 車両及び機械器具の燃料費(現地で調達したもの。) 2. 宿泊費及び食料費 3. 化学消火剤等資機材費 4. 現場活動中に第三者に与えた損害賠償費等 5. 賞じゅつ金等  上記以外は応援市町、被応援市町双方が協議して定める				応援に要する経費は、応援市負担



# 消防相互応援協定締結状況(その2)

(平成27年4月1日)

神戸市・西宮市消防相互応援協定 (同覚書)	中国道のうち兵庫県区域における 消防相互応援協定(同覚書)	大阪国際空港周辺都市航空機災害 消防相互応援協定(同覚書)	兵庫県広域消防相互応援協定 (同覚書)	山陽自動車道消防相互応援協定 (同覚書)
神戸市	川西市、伊丹市、宝塚市、三田市、神戸市、三木市、北はりま、姫路市、西はりま	大阪市、堺市、豊中市、東大阪市、池田市、吹田市、八尾市、松原市、柏原羽曳野藤井寺消防組合、高石市、尼崎市、伊丹市、宝塚市、川西市	阪神地域、神戸地域、東播地域、西播地域、但馬地域の各市町長等	三田市、神戸市、三木市、小野市、加古川市、姫路市、西はりま、赤穂市、東播消防組合
平成19年1月18日(協定)	平成26年3月31日(協定)	平成26年1月31日(協定)	平成25年10月23日(協定)	平成25年4月1日(協定)
平成19年1月18日(覚書)	平成26年3月31日(覚書)	平成26年1月31日(覚書)	平成25年10月23日(覚書)	平成25年4月1日(覚書)
火災・救急救助等	火災・救急	火災・救急救助	火災・救急救助	火災・救急救助
西宮市、神戸市域	中国道のうち兵庫県区域	各市全域	兵庫県下	神戸ジャンクションから備前インターチェンジまでの区間(三木ジャンクションから神戸西インターチェンジまでの区間及び播磨自動車道を含む)
1. 区域 (1) 北区道場のうちJR福知山線以南に係る区域、北区八多町のうち県道市野瀬有馬線以北及び上小名田以東に係る区域、北区菖蒲が丘、西山、京地、藤原台北町、藤原台中町、藤原台南町、有野町のうち県道市野瀬有馬以北に係る区域、有野台、東有野台、有馬町、3号神戸線下り線のうち深江ランプウェイ以東、7号北神戸線下り線のうち有馬口ランプウェイ以東の神戸市域に係る区域 (西宮市応援) (2) 山口町、北六甲台、すみれ台、5号湾岸線下り線のうち西宮浜ランプウェイ以西、7号北神戸線下り線のうち西宮山口南ランプ以西の西宮市域に係る区域	1. 区域 上り線のうち西宮市と宝塚市の境界から宝塚インターチェンジまでの間及び下り線のうち西宮市と神戸市の境界から神戸三田インターチェンジまでの間 2. 内容 火災又は救急事故等を覚知した場合消防隊又は救急隊が応援出動	1. 区域 全域 2. 内容 火災又は救急事故等を覚知した場合消防隊又は救急隊が応援出動	1. 地域内応援 第2条に規定する地域内の市町等に対する応援 2. 県内応援 前号に規定する地域以外の市町等に対する応援	1. 区域 下り線のうち神戸ジャンクションの中国自動車道下り線との分岐点から神戸北インターチェンジまでの区間 2. 内容 自動的に消防隊又は救急隊が応援
1. 区域 全域 2. 内容 火災等発生地消防長の要請により必要消防隊が応援	1. 区域 全域 2. 内容 火災又は救急事故等を覚知した場合消防隊又は救急隊が応援出動	1. 区域 全域 2. 内容 災害発生地消防長の要請により必要消防隊が応援	1. 区域 全域 2. 内容 火災等発生地消防長の要請又は地域の代表消防本部を通じ必要消防隊が応援	1. 区域 全域 2. 内容 災害発生地消防長の要請により必要消防隊が応援
応援市負担 1. 公務災害に要する経費 2. 旅費及び出勤手当 3. 被災市等との間の移動中に第三者に与えた損害の賠償に要する経費等 4. 被服の損料など 5. 上記以外の人件費その他の経費 被災市負担 1. 応援活動中に調達した車両及び機械器具の燃料費 2. 宿泊費及び食料費 3. 車両及び資器材の修理費 4. 特別に必要な車両及び機械器具の修理費 5. 賞じゅつ金、賞慰金 6. 応援活動中に第三者に与えた損害の賠償に要する経費等 7. 化学消化薬剤等の資機材費 上記以外の応援市、被災市双方が、協議して定める	応援市町等負担 1. 消防職員の公務災害補償 2. 車両及び機械器具等の燃料費等 3. 旅費及び出勤手当 4. 車両及び機械器具の修理費 5. 被服の損料等 6. 交通事故における損害賠償費等 被災市町等負担 1. 化学消火薬剤費等 2. 現場活動中において第三者に与えた損失補償 3. 交通事故による損害賠償等 上記以外は応援市町、被災市町双方が協議して定める	応援市負担 1. 消防機械器具の小破損の修理費 2. 車両、資器材等の燃料費 3. 職員の出場手当及び被服等についての諸経費 4. 応援隊員の公務災害補償費 被災市負担 1. 前号に定める小破損の程度を超える消防機械器具の修理費 2. 車両資器材等の燃料費及び化学消火に要した薬剤費 3. 被災市の指揮下における活動中に発生した事故の諸経費 (1) 建築物、工作物又は土地に対する補償費等 (2) 応援隊員の賞じゅつ金、特別救慰金及び弔慰金等 (3) 一般人の死傷に対する補償費等	応援市負担 1. 公務災害補償に要する経費 2. 旅費及び出勤手当 3. 被災市等との間の移動中に第三者に与えた損害の賠償に要する経費等 4. 被服の損料等 5. 上記以外の人件費その他の経費 被災市負担 1. 応援活動中に調達した車両及び機械器具の燃料費 2. 宿泊費及び食料費 3. 当該応援のために特別に必要な車両及び機械器具の修理費 4. 賞じゅつ金、賞慰金 5. 応援活動中に第三者に与えた損害の賠償に要する経費等 6. その他応援活動中に調達した化学消火薬剤等の資機材費	応援市等負担 1. 公務上の災害補償 2. 旅費及び出勤手当 3. 車両及び機械器具等の燃料費及び修理費 4. 現場活動中第三者に生じた損失補償(通常応援時) 5. 応援途上の交通事故による損害賠償 被災市等負担 1. 化学消火薬剤 2. 現場活動中第三者に生じた損失補償 上記以外は、応援市等と被災市等が協議して定める

## 消 防 水 利 の 状 況

種 別		区 分	平 成 25年度末	平成26年度			所 属 別			
				増	減	計	西宮	鳴尾	瓦木	北
消 火 栓	公 設	1 5 0 mm未満	1,926		1	1,925	737	428	453	307
		1 5 0 mm以上	1,881	5		1,886	656	489	508	233
	私 設		178	4		182	14	86	76	6
	工 水		95			95	26	69		
小 計			4,080	9	1	4,088	1,433	1,072	1,037	546
防 火 水 槽	公 設	4 0 m <sup>3</sup> 未満	56			56	16	11	12	17
		4 0 m <sup>3</sup> 以上	383	1		384	98	79	76	131
		6 0 m <sup>3</sup> 以上	4			4	1	1	1	1
		1 0 0 m <sup>3</sup> 以上	45	1		46	16	13	8	9
	私 設	4 0 m <sup>3</sup> 未満	30			30	12	4	8	6
		4 0 m <sup>3</sup> 以上	837	7		844	275	261	238	70
		6 0 m <sup>3</sup> 以上	60	2		62	23	22	13	4
		1 0 0 m <sup>3</sup> 以上	74	1		75	15	39	15	6
小 計			1,489	12	0	1,501	456	430	371	244
消 防 用 水	4 0 m <sup>3</sup> 未満		1			1		1		
	4 0 m <sup>3</sup> 以上		17			17	2	9		6
	6 0 m <sup>3</sup> 以上		19			19	6	11	1	1
	1 0 0 m <sup>3</sup> 以上		28			28	3	9	14	2
井 戸	公 設		25		1	24	9	15		
	私 設		12			12	3	9		
貯 水 槽	公 設									
	私 設		117			117	59	23	27	8
そ の 他 の 水 利	受 水 槽		26		1	25	13	5	4	3
	河 川		29			29	13	9	5	2
	海 水		8			8		8		
	池		18			18	7	5	2	4
	プ ー ル		84			84	25	27	24	8
	マンホール		1			1		1		
	溝 水		1			1			1	
合 計			5,955	21	3	5,973	2,029	1,634	1,486	824

### 開 発 行 為 に 伴 う 消 防 水 利 事 務 処 理 状 況

開発件数	45	水利あり	水利なし	開発事前協議	202				
		10	35						
消 防 水 利									
区 分	消 火 栓	防 火 水 槽			貯 水 槽		そ の 他 の 消 防 水 利		
		100 m <sup>3</sup> 以 上	60 m <sup>3</sup> 以 上	40 m <sup>3</sup> 以 上	地 中 梁	蓄 熱 槽	消 防 用 水	ブ 採 ル 口	池
小計	2	2	4	7			1		
合計	16								

## 消 防 庁 舎 の 概 要

庁 舎 名	所 在 地	建 築 年 月	構 造	敷 地 面 積	延 面 積
消 防 局	西宮市池田町13番3号	平成 8. 3	鉄筋コンクリート造 6階建	2,513.71㎡	2,373.78㎡ (応急診療所含まない)
消 防 局 整備センター	西宮市西宮浜3丁目5番地	昭和62. 3	鉄骨造 折版葺 平屋建	946.00㎡	272.53㎡
西 宮 消 防 署	西宮市津門大塚町1番38号	昭和41. 1	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階建	1,414.24㎡	1,814.84㎡
西 宮 消 防 署 北 夙 川 分 署	西宮市松風町4番4号	昭和59. 3	鉄筋コンクリート造 2階建	807.89㎡	567.96㎡
鳴 尾 消 防 署	西宮市古川町2番12号	昭和55. 3	鉄筋コンクリート造 2階建	1,292.81㎡	809.36㎡
		平成23. 2	鉄筋コンクリート造 3階建		348.81㎡
鳴 尾 消 防 署 浜 分 署	西宮市西宮浜3丁目5番地	平成11.10	鉄骨造 3階建	1,054.06㎡	990.87㎡
瓦 木 消 防 署	西宮市高木東町15番11号	昭和63. 9	鉄筋コンクリート造 3階建	1,601.01㎡	2,152.73㎡ のうち 1,280.96㎡
瓦 木 消 防 署 甲 東 分 署	西宮市上甲東園2丁目11番66号	昭和44. 3	鉄筋コンクリート造 2階建	330.77㎡	380.58㎡
北 消 防 署	西宮市名塩新町7番地1	平成 3. 3	鉄筋コンクリート造 5階建	1,959.38㎡	2,011.47㎡
北 消 防 署 山 口 分 署	西宮市山口町下山口4丁目1番20号	昭和60. 3	鉄筋コンクリート造 2階建	670.24㎡	477.82㎡
消防待機宿舎	西宮市津門大塚町1番38号	昭和43. 3	鉄筋コンクリート造 5階建	548.11㎡	1,094.54㎡ のうち5階部分 198.59㎡

# 庁舎配置及び管轄区域



総

務



消防出初式



# 総務の概要

## 1 予算執行

消防局車両等整備事業として、耐用年数が経過した水槽付消防ポンプ自動車、無線支援車、高規格救急自動車（高度救命処置用紙機材含む）指揮広報車及び活動支援車を更新したほか、資機材では、画像探索機及び熱画像直視装置を更新し、救命ボート及び放射線測定器を新たに整備することにより、消防力の充実強化を図った。

また、通信施設等整備業務として、消防救急無線デジタル化移行整備工事が完了したことに加え、署活動用無線機を更新及び増台したことで、通信施設を強化した。

さらに、消防庁舎等整備事業として、瓦木消防署甲東分署の建替用地を購入するとともに老朽化した鳴尾消防署の外壁改修工事を実施した。

消防団車両等整備事業として、耐用年数が経過した消防ポンプ自動車を更新したほか、消防団車庫整備事業としては、鳴尾北分団車庫の建替工事を行い、消防団の体制強化を図った。

その他、救急業務高度化推進事業として、救急救命士、気管挿管認定救急救命士及びビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管挿管認定救急救命士などを養成し、救急体制の充実に努めた。

## 2 研修

複雑多様化する災害に即応するなど、安心して暮らせるまちづくりの実現を目指していくためには、各種業務の最新の専門知識や高度な技術の習得が不可欠であることから、消防大学校、兵庫県消防学校及び消防局各課が計画する各種専門研修等へ積極的に消防職員を派遣するとともに、消防業務に必要な資格取得の講習会等にも派遣し、潜水土等の資格を取得させた。加えて、市研修厚生課主管の基本研修等へも多数の消防職員を派遣するとともに、西宮市消防職員人材育成基本方針をもとに策定した平成 26 年度西宮市消防職員訓練、研修計画に沿って、教養研修等の職場研修も積極的に行い、職員個々の能力開発に努めた。

## 3 文書管理

文書事務の管理については、消防文書取扱規程及び文書分類表に基づき、文書事務及び公印管理の適正化に努めるとともに、統合文書管理システムを活用し文書事務の能率化・迅速化を図り、文書管理体制の充実を図った。

## 4 消防音楽隊

昭和 63 年度に隊長以下 19 名で発足した消防音楽隊は、現在隊長以下 26 名が消防広報活動で活躍している。年間 51 回の合同練習と 25 回の演奏活動を実施し、市民への防火広報に努めた。

## 消 防 予 算

(当初予算：単位：千円)

区 分	年 度	平成27年度	平成26年度	増 減
	消防費	5,079,023	6,320,155	△ 1,241,132
消 防 費		4,721,630	4,515,612	206,018
職 員 の 給 与 費		4,175,676	3,976,996	198,680
消 防 庁 舎 維 持 管 理 事 業 経 費		108,391	106,946	1,445
消 防 音 楽 隊 運 営 事 業 経 費		1,345	1,796	△ 451
消 防 職 員 研 修 事 務 経 費		25,327	24,924	403
消 防 局 車 両 運 用 事 務 経 費		40,019	40,215	△ 196
予 防 活 動 推 進 事 業 経 費		4,286	1,925	2,361
通 信 指 令 業 務 経 費		229,557	228,045	1,512
消 防 水 利 維 持 管 理 事 業 経 費		24,580	14,578	10,002
救 助 活 動 業 務 経 費		8,876	10,850	△ 1,974
消 防 活 動 業 務 経 費		18,618	17,747	871
救 急 活 動 業 務 経 費		25,201	24,979	222
一 般 事 務 経 費		59,754	66,611	△ 6,857
消 防 団 費		135,063	135,888	△ 825
消 防 団 設 備 維 持 管 理 事 業 経 費		6,006	5,832	174
消 防 団 運 営 事 業 経 費		129,057	130,056	△ 999
消 防 施 設 整 備 費		206,368	1,659,397	△ 1,453,029
消 防 局 車 両 等 整 備 事 業 費		88,512	162,392	△ 73,880
消 防 団 車 両 等 整 備 事 業 費		52,208	49,572	2,636
通 信 施 設 等 整 備 事 業 費		2,677	572,353	△ 569,676
消 防 団 車 庫 整 備 事 業 費		2,331	43,500	△ 41,169
消 防 庁 舎 等 整 備 事 業 費		60,640	831,580	△ 770,940
水 防 費		15,962	9,258	6,704
水 防 対 策 事 業 経 費		5,962	4,408	1,554
水 防 作 業 従 事 手 当 経 費		10,000	4,850	5,150



## 一 般 会 計 予 算 と 消 防 予 算

年度別	区 分	市一般会計	消防費	比 率
		(千 円)	(千 円)	(%)
平成21年度	当 初 予 算	158,354,977	5,293,139	3.34
	決 算	163,832,939	5,222,045	3.19
平成22年度	当 初 予 算	161,079,538	5,703,834	3.54
	決 算	156,335,216	5,663,785	3.62
平成23年度	当 初 予 算	174,070,674	5,573,122	3.20
	決 算	168,705,404	5,558,958	3.30
平成24年度	当 初 予 算	159,721,161	5,306,979	3.32
	決 算	157,631,649	5,304,986	3.37
平成25年度	当 初 予 算	160,941,007	5,741,263	3.57
	決 算	161,004,830	5,596,433	3.48
平成26年度	当 初 予 算	167,840,289	6,320,155	3.77
	決 算	(未決算)	(未決算)	(未決算)
平成27年度	当 初 予 算	174,942,563	5,079,023	2.90
	決 算	—	—	—

## 消 防 予 算 市 民 負 担

(各年度4月1日現在)

年度別	区 分	消防予算 (千 円)	人 口 (人)	世 帯 数 (世 帯)	負 担	
					市民1人当り (円)	1世帯当り (円)
平成21年度		5,293,139	474,779	207,768	11,149	25,476
平成22年度		5,703,834	477,270	209,876	11,951	27,177
平成23年度		5,573,122	478,538	211,317	11,646	26,373
平成24年度		5,306,979	479,014	212,781	11,079	24,941
平成25年度		5,741,263	480,672	213,228	11,944	26,925
平成26年度		6,320,155	482,301	214,887	13,104	29,412
平成27年度		5,079,023	483,132	216,003	10,513	23,514

# 職 員 研 修 状 況

(派遣研修) その1

(平成26年度中)

階 級 研 修 名		合 計	(消 防 監 正 監 監)	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士	そ の 他 職 員	
消 防 大 学 校	幹 部	1			1					
	予 防	1			1					
	緊急消防援助隊教育科	高度救助・特別高度救助コース	1			1				
	警 防 業 務 リ ー ダ ー 講 習 会		2		2					
県 消 防 学 校	初 任 教 育	16						16		
	専 科 教 育	潜 水 科	2					2		
		救 助 科	4					4		
		警 防 科	8					8		
		特 殊 災 害 科	4				3	1		
		危 険 物 科	4					3	1	
		火 災 調 査 科	4				4			
		救 急 科	14						14	
	特 別 教 育	災 害 現 場 指 揮 科	4			4				
	幹 部 教 育	上 級 幹 部 科	1			1				
		中 級 幹 部 科	4			4				
	そ の 他	惨 事 ス ト レ ス 研 修	4			3		1		
		山 岳 用 救 助 器 具 取 扱 技 術 研 修	4					1	3	
	神 戸 市 消 防 学 校	救 急 救 命 士 養 成 課 程	4					1	3	
救 急 救 命 士 追 加 講 習		7			1	6				
火 災 調 査 課 程		2				2				
全 消 長 会	特 殊 災 害 課 程	2				2				
	特 別 高 度 救 助 課 程	1				1				
	消 防 長 研 修 会	1	1							
全 消 協 会	企 業 防 災 対 策 指 導 研 修 会	7			1	1	3	2		
	消 防 財 政 実 務 研 修	2			1		1			
消 防 職 員 安 全 衛 生 研 修 会	消 防 実 務 講 習 会	3			1	1	1			
消 防 職 員 の た め の 惨 事 ス ト レ ス の 理 解 と 予 防 (ス テ ッ プ ア ッ プ 版) 研 修		2			2					
NOMA主 催 「職 員 採 用 に お け る 課 題 と そ の 解 決 策」 研 修		1			1					
兵 庫 県 ・ 兵 庫 県 聴 覚 障 害 者 協 会 主 催 「手 話 講 座 (入 門 編)」		4			1	3				
兵 庫 県 主 催 「阪 神 淡 路 ・ 大 震 災 20年 - 兵 庫 県 危 機 管 理 フォーラム 2014」		3	1		2					
「兵 庫 県 『減 災』 フォーラム 兼 第 6 回 防 災 士 シンポジウム in HYOGO」		2	1		1					
2 級 ガソリン 自 動 車 整 備 士 免 許 試 験 受 験 準 備 講 習 会		1					1			
第 1 種 衛 生 管 理 者 講 習 会		4		2	2					
足 場 組 立 て 等 作 業 主 任 者 技 能 講 習		1			1					
酸 素 欠 乏 ・ 硫 化 水 素 危 険 作 業 主 任 者 技 能 講 習		8				1	5	2		
玉 掛 け 技 能 講 習		8					2	6		
小 型 移 動 式 クレーン 運 転 技 能 講 習		8					3	5		
2 級 小 型 船 舶 操 縦 士 免 許 試 験 受 験 準 備 講 習 会		6				1	2	3		
大 型 自 動 車 1 種 免 許 取 得 の た め の 教 習 所		8					2	6		
平 成 26 年 度 兵 庫 県 労 働 衛 生 団 体 協 議 会 研 修 会		1					1			
火 災 科 学 セ ミ ナ ー		4			1	2		1		
移 動 タンク 等 定 期 点 検 技 術 者 講 習 ・ 初 回 講 習		1					1			
危 険 物 事 故 防 止 対 策 セ ミ ナ ー		1					1			
危 険 物 保 安 技 術 講 習 会		1			1					
危 険 物 施 設 安 全 推 進 講 演 会		1					1			
「建 築 物 の 防 火 避 難 規 定 の 解 説 2012」 フォロ ー ア ッ プ セ ミ ナ ー		2			1	1				
違 反 是 正 事 例 研 究 会		4			2	2				
調 査 技 術 会 議		2			1		1			
違 反 是 正 事 例 発 表 会		5			1	1	1	2		

# 職 員 研 修 状 況

(派遣研修) その1

(平成26年度中)

階 級 研 修 名	合 計	(消 防 正 監 監 正 監)	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士	そ の 他 職 員
日 本 火 災 学 会 研 究 発 表 会	1			1				
高 圧 ガ ス 保 安 教 育 基 礎 講 習	1					1		
研 究 施 設 一 般 公 開	1					1		
平 成 26 年 度 安 全 講 演 会	3			1		2		
兵 庫 県 消 防 学 校 専 科 教 育 危 険 物 科 公 開 講 座	3			3				
東 灘 地 区 危 険 物 安 全 研 修 会	2			1		1		
化 学 プ ラ ン ト 現 地 研 修 会 ・ 危 険 物 等 安 全 管 理 研 修 会	1			1				
予 防 事 務 研 修 ( 消 火 器 研 修 )	8				1	2	5	
入 門 建 築 物 の 防 火 避 難 規 定 の 解 説 2012	1				1			
指 定 確 認 検 査 機 関 等 に よ る 工 事 中 建 築 物 の 仮 使 用 認 定 手 続 き マ ニ ュ ア ル 講 演 会	1				1			
兵 庫 県 フ ェ ニ ッ ク ス 防 災 シ ス テ ム 研 修	2			1	1			
防 災 情 報 通 信 セ ミ ナ ー	1					1		
新 任 情 報 化 管 理 職 セ ミ ナ ー	1					1		
災 害 対 策 技 術 講 演 会	1				1			
防 災 情 報 通 信 講 演 会	1					1		
平 成 26 年 度 航 空 機 連 携 講 習 会	1			1				
レ ス キ ュ ー 3 シ ャ ッ プ ・ ス イ フ ト ウ ォ ー タ ー レ ス キ ュ ー コ ー ス	2				2			
神 戸 隣 接 市 ・ 町 懇 話 会 合 同 職 員 研 修 会	1			1				
全 国 消 防 救 助 シ ン ポ ジ ウ ム	2				2			
安 全 運 転 管 理 者 等 講 習	10		9	1				
整 備 主 任 者 研 修	2				2			
消 防 ・ 救 急 緊 急 自 動 車 ド ラ イ バ ー 安 全 運 転 研 修	2					1	1	
調 査 技 術 会 議 ( 大 阪 )	3				3			
火 災 調 査 担 当 者 会 議	1			1				
名 神 高 速 道 路 防 災 研 修 会	2				2			
高 速 自 動 車 道 消 防 協 議 会 研 修 会	2		1		1			
阪 神 高 速 道 路 消 防 協 議 会 事 務 担 当 者 会 議 及 び 視 察 研 修	1					1		
兵 庫 県 消 防 学 校 専 科 教 育 特 殊 災 害 科 公 開 講 座	2		2					
国 際 消 防 救 助 隊 セ ミ ナ ー	1				1			
兵 庫 県 警 察 本 部 刑 事 部 科 学 捜 査 研 究 所 視 察	6		1	2	2	1		
平 成 26 年 度 兵 庫 県 下 消 防 長 会 火 災 調 査 研 究 会	53		2	9	9	14	19	
平 成 26 年 度 大 阪 市 火 災 調 査 事 例 発 表 会	15			4	3	3	5	
平 成 26 年 度 第 8 回 京 都 府 火 災 調 査 業 務 研 究 会	6			2	1	2	1	
平 成 26 年 度 第 6 回 大 阪 府 下 消 防 長 会 火 災 調 査 事 例 発 表 会	3			2			1	
第 62 回 全 国 消 防 技 術 者 会 議	1					1		
平 成 26 年 度 兵 庫 県 下 原 因 調 査 担 当 者 会 議	2			1	1			
平 成 26 年 度 火 災 調 査 特 別 研 修 ( 尼 崎 )	4			1	2	1		
兵 庫 県 消 防 学 校 専 科 教 育 火 災 調 査 科 燃 焼 実 験	2				1	1		
兵 庫 県 消 防 学 校 専 科 教 育 火 災 調 査 科 公 開 講 座	3				1	2		
兵 庫 県 消 防 防 災 航 空 隊 「 広 報 研 修 」	29		1	23	5			
J P T E C プ ロ バ イ ダ ー コ ー ス	2			1	1			
日 本 臨 床 救 急 医 学 会	1				1			
近 畿 救 急 医 学 研 究 会 救 急 隊 員 部 会	18			4	5	6	3	
阪 神 地 区 消 防 長 会 救 急 隊 員 研 修 会	557			33	100	170	237	17
全 国 救 急 隊 員 シ ン ポ ジ ウ ム	2			1		1		
日 本 集 団 災 害 医 学 会	2			1	1			
合 計	953	3	20	133	183	261	336	17

## (派遣研修) その2

(平成26年度中)

研修名	階 級	合 計	(消 防 正 監)	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士	そ の 他 職 員
係長第1部研修(前期)		5			5				
課長第1部研修(春期)		5		5					
係長第2部研修		6			6				
課長第2部研修		4		4					
係長第1部研修(後期)		5			5				
課長第1部研修(秋期)		5		5					
夏季安全運転講習会		7					1	6	
課長級以上必修研修 「地方公務員と労働基準法及び職員への安全配慮義務」		44	7	14	22	1			
兵庫県市町村振興協会主催パソコン研修		13			2		4	7	
パワーアップ派遣研修		1		1					
庶務研修		16			6	2	7	1	
実務担当者研修		1				1			
ステップアップ研修(必修)		25					6	19	
ステップアップ研修(選択)		15				4	8	3	
効果的な広報ビラの研修		2				2			
自殺危機初期介入スキルワークショップに係る研修会		3			1	1		1	
カラーユニバーサルデザイン研修		3				2	1		
ホームページCMS操作研修		13				3	6	4	
技術職員研修「防災と気象に関する技術講習会」		10			5	2	2	1	
参画と協働に係る職員研修		5			1	3	1		
阪神・淡路と東日本大震災の従事職員報告会		1			1				
人権問題講演会「インターネットと人権」		1					1		
認知症サポーター養成講座		3	1			1	1		
政策づくりの基本研修		3				3			
再任用職員予定者研修		6			3	3			
国内先進事例研究研修「報告会」		1			1				
男女共同テーマ研修 「組織活性化のカギ～男性脳と女性脳の違いを知ろう～」		2			2				
インテリジェントアレー撰壇塾		23			9	10	3	1	
政策法務研修～政策法務ゼミナール～		3			1	1	1		
人権問題講演会 「みんなちがってみんないい”ちがいを認め合える社会をめざして」		1				1			
公共施設マネジメント研修「官民連携による施設整備」		2			2				
阪神・淡路大震災を語り継ぐ『巡る、巡る、命と絆のメッセージ』講演会		13	1		1	6	2	3	
合 計		247	9	29	73	46	44	46	

## (職場研修)

(平成26年度中)

階 級 研 修 名		実 施 回 数	受 講 者	消 防 司 令 長 以 上	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士	そ の 他 職 員
総務課	条件付採用時研修	1	16					16	
	新任課長特別研修	1	5	5					
	採用後定時研修(3年目)	2	23					23	
	採用後定時研修(5年目)	2	34				6	28	
	服 務 研 修	2	41	4	35	1	1		
	平成26年度採用者に対する特別研修	1	16					16	
	再 任 用 研 修	1	6		3	3			
	昇 任 予 定 者 研 修	3	27			4	9	14	
	平成26年度採用者(救急救命士資格取得者)の救急研修	1	2					2	
企画課	財務会計システム取扱研修	1	20		4	6	7	3	
予防課	予 防 事 務 調 査 研 究 会	4	108	2	4	8	18	76	
指令課	電 話 応 対 研 修	2	22	1	5	6	8	2	
	消防救急無線デジタル化仮運用に伴う通信機器説明会	2	79		10	19	29	21	
警防課	新規小隊長研修	2	18				18		
	潜水士資格取得者実技研修	1	12				1	11	
	整 備 研 修	30	30				3	27	
	安 全 運 転 講 習 会	2	143			18	64	61	
	機 関 員 養 成 研 修	4	4					4	
	認定機関員節目研修	2	20				12	8	
	新規救助隊長研修	2	6				6		
	警 防 活 動 研 修	2	40		8		8	24	
	ハイブリッド車事故対応研修	1	42		2	9	31		
	潜水士技術維持研修	4	48			14	20	14	
	特 殊 災 害 研 修	2	52			8	21	23	
救急課	救急救命士就業前研修	1	5				3	2	
	救急救命士定期研修	1	52		8	12	26	6	
	救急隊員現場実習研修	127	387		40	44	130	173	
	新規救急隊長研修	1	6				6		
合 計		205	1264	12	119	152	427	554	

## 消防吏員階級別資格取得状況

(平成27年4月1日現在)

階 級			合 計	消 防 司 令 長 以 上	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士		
種 別										
吏 員 数			443	21	61	75	112	174		
予 防	消 防 設 備 士	甲 種	32	8	2	11	4	7		
		乙 種	91	13	17	11	22	28		
	点 検 資 格 者	1 種	1					1		
		2 種	0							
	危 険 物 取 扱 者	甲 種	3				1	2		
		乙 種	286	18	20	40	97	111		
		丙 種	53	12	23	6	9	3		
	予 防 技 術 資 格 者	防火査察専門員		34	2	9	10	9	4	
		消防用設備等専門員		24	2	8	5	5	4	
		危険物専門員		30	2	11	9	4	4	
通 信	第 2 級 陸 上 特 殊 無 線 技 士		426	21	61	75	112	157		
技 術	自 動 車 運 転 免 許	大 型	1 種	443	199	10	41	55	60	33
			2 種		1			1		
		普 通 (中 型 含 む)	1 種		243	11	20	20	51	141
			2 種		18	1	8	8	1	
	自 動 車 整 備 士	2 級		6		1	3	2		
		3 級		30	2	9	8	8	3	
救 急	救 急 隊 員		426	21	61	75	112	157		
	救 急 救 命 士		96	8	22	20	32	14		
	気 管 挿 管 認 定 救 急 救 命 士		34		12	18	4			
	薬 剤 投 与 認 定 救 急 救 命 士		69		12	19	29	9		
	ビ デ オ 硬 性 挿 管 認 定 救 急 救 命 士		25		8	14	3			
救 助	救 助 隊 員		160			40	52	68		
	小 型 移 動 式 ク レ ーン 修 了 者		106	11	20	29	32	14		
	潜 水 士		178	9	37	47	48	37		
	酸 欠 講 習 修 了 者		70	5	18	20	20	7		
	ガ ス 溶 接 技 能 講 習 修 了 者		77	12	26	21	16	2		
	玉 掛 技 能 講 習 修 了 者		93	3	15	23	29	23		
	一 般 毒 物 劇 物 取 扱 者		2			1		1		
	小 型 船 舶 操 縦 士		2 級 (旧 4 級) 以上	76	4	25	20	15	12	
そ の 他	第 1 種 衛 生 管 理 者		28	14	12	1		1		
	特 定 化 学 物 質 等 講 習 修 了 者		16	2	10	2	2			
	有 機 溶 剤 作 業 主 任 者		6	1		1	4			

# 公務災害等発生状況

(平成26年度中)

区分	勤務態様別	発生件数	被災者数	階 級 別							傷 病 程 度 別							
											通 院			入 院				死 亡
				一週間未満	一週間～一カ月	一カ月～三カ月	三カ月以上	一週間未満	一週間～一カ月	一カ月～三カ月	三カ月以上							
公務災害	消 火																	
	現 場 活 動																	
	中 救 助																	
	訓 練 中	3	3						3			1	1		1			
	一 般 業 務 中																	
	そ の 他																	
通 勤 災 害	1	1				1					1							
計	4	4				1			3		1	1	1		1			

## 消 防 表 彰 等 の 状 況

(平成26年度中)

種 別		個 人	団 体	
職 員	消 防 庁 長 官 表 彰	功 勞 章	1	
		永 年 勤 続 功 勞 章	3	
	兵 庫 県 知 事 表 彰	功 勞 章	3	
		永 年 勤 続 功 勞 章	5	
		救 急 業 務 等 功 勞 者	1	
	全 国 消 防 長 会 会 長 表 彰	永 年 勤 続 功 勞 者	7	
	全 国 消 防 協 会 会 長 表 彰	全 国 優 良 消 防 職 員	1	
	兵 庫 県 自 動 車 整 備 技 術 講 習 所 表 彰	優 秀 生	1	
	県 医 師 会 会 長 表 彰	救 急 業 務 功 勞 者	1	
	市 医 師 会 会 長 感 謝 状	救 急 業 務 功 績	1	
	市 長 表 彰	永 年 勤 続 職 員	16	
	部 長 ・ 署 長 表 彰	勤 務 成 績 優 秀	20	
優 秀 機 関 員		20		
市 民	消 防 局 長 表 彰	人 命 救 助		
		消 防 業 務 協 力 ( 消 防 記 念 日 )	2	5



# 消防音楽隊の状況

(平成27年4月1日現在)

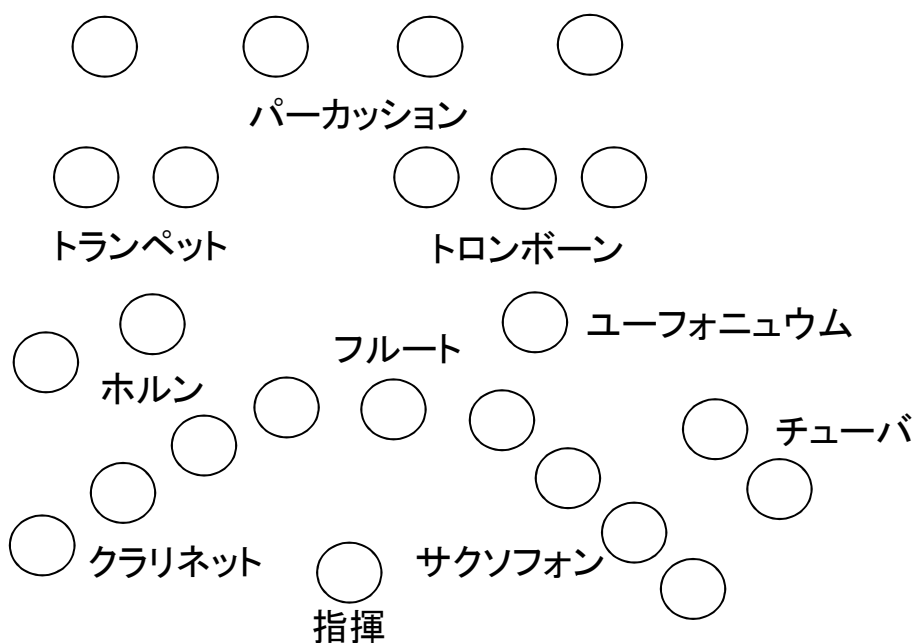
## 1 階級別音楽隊員状況

階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防士	合計
人員	2	6	7	8	3	26

## 2 楽器保有状況

楽器名	数量	楽器名	数量
ピッコロ	1	スーザフォン	2
フルート	3	クォード	1
クラリネット	5	バスドラム	1
アルトサクソフォン	2	コンサートバスドラム	1
テナーサクソフォン	2	マーチングスネアドラム	1
バリトンサクソフォン	1	マーチングバスドラム	1
トランペット	4	シンバル	3
フレンチホルン	2	ドラムセット	1
テナートロンボーン	3	グロッケン	1
バストロンボーン	1	キーボード	1
ユーフォニウム	1	シンセサイザー	1
チューバ	3	コンガ	2
チャイム	1	シロホン	1
ハーモニーディレクター	1	ティンパニ	2

## 3 消防音楽隊配置



## 4 出演状況

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
回数	1	4	0	1	1	4	2	3	0	4	3	2	25



# 広報及び広聴



火の用心コンサート



## 広報及び広聴の概要

### 1 広報

安心して暮らせるまちづくりの実現を目指し、消防行政の実態を市民に正しく伝えるとともに、理解と協力を得るため、市政ニュース、さくらFM放送、新聞その他広報媒体を活用し、消防広報の推進に努めるとともに、リニューアルした市ホームページへ消防局ホームページを移行し、ウェブアクセシビリティに準拠させることで、より多くの市民に常に新鮮で豊富な情報を発信できるようにした。

また、消防広報の効果をより高めるため、各種行事開催時に消防音楽隊の出演を通しての広報活動を行った。

### 2 広聴

広聴については、市民からの要望・相談等を迅速かつ的確に処理し、消防への信頼の確立に努めた。

市民の声は62件受理し、そのうち消防局への要望・提案等は14件で内訳は、総務関係3件、企画関係2件、予防関係1件、指令関係1件、警防関係4件、救急関係3件となっている。その他の48件は単なる問合せ等で、統計対象外とした。

また、広聴件数は80件と前年より26件増加し、多様化する市民の要望等を適正に処理した。内訳は予防関係23件、警防関係52件、救急関係5件となっている。

## 広報活動状況

種 別	回数	参集人員	消防職員	実施時間
巡 回 マ イ ク	550	0	1,829	642時間40分
消 防 教 室	377	43,242	1,475	410時間01分
映 画 会	0	0	0	0時間00分
幼年消防クラブ活動	43	6,631	259	64時間25分
少年消防クラブ活動	6	274	37	9時間15分
家庭防火クラブ活動	36	523	107	68時間10分
自主防災組織	370	4,674	1,567	713時間05分
合 計	1,382	55,344	5,274	1907時間36分

### 資料配布及び刊行物発行

項 目	部 数	対 象
ポ ス タ ー	2,082	防 火 対 象 物
防 災 小 冊 子	2,293	一 般 市 民 ・ 家 庭 防 火 ク ラ ブ ・ 自 主 防 災 組 織

### 広聴事務処理状況

区 分		処理結果		実現	検討	困難	教示 指導	意見	斡旋	合計
		受 理	処 理	(件)	(件)	(件)	(件)	(件)	(件)	(件)
事 務 分 掌 に よ る 分 類	総 務	受 理								
		処 理								
	企 画	受 理								
		処 理								
	予 防	受 理	14		1	8				23
		処 理	14		1	8				23
	指 令	受 理								
		処 理								
	警 防	受 理	43	1	2	4			2	52
		処 理	43	1	2	4			2	52
	救 急	受 理	4			1				5
		処 理	4			1				5
合 計	受 理	61	1	3	13			2	80	
	処 理	61	1	3	13			2	80	

### 市民の声（メールによる問合せ）

内 容	受 理 件 数	処 理 件 数
予 防 関 係	1	1
警 防 関 係	4	4
救 急 関 係	3	3
そ の 他	6	6
合 計	14	14

### 消防情報の提供（報道機関等）

種 別	計	予	警	そ
		防	防	の 他
情報提供先				
報 道 機 関 (新聞・テレビ・ラジオ)	41	7	12	22
市 政 ニ ュ ー ス	54	22	8	24
ミニコミ紙・地域情報紙等 ホームページ含む	125	30	28	67
計	220	59	48	113

# 予 防 行 政



家庭防火クラブ大会





# 予 防 行 政 の 概 要

## 1 住宅用火災警報器の設置促進

住宅防災診断実施をはじめ、あらゆる機会を通じて、住宅用火災警報器の設置促進を行い、特に、未設置の世帯については、設置による効果や実際の奏功事例を積極的に伝えることで設置促進を図った。

また、教育委員会及び中学校長会の協力を得て、中学校での消防訓練の機会を捉え、住宅用火災警報器の機能説明、設置アンケートを実施することにより、若年層からの設置意識向上を図った。

その他、さくらFM及び市政ニュースなどの広報媒体を利用し、住宅用火災警報器の設置を促す広報を実施した。

## 2 放火火災予防対策の推進

住宅防災診断実施時の予防指導、市政ニュース、ホームページへの放火情報の掲載をはじめ、放火予防に関するポスターを作成配布し、放火されない環境づくりを呼びかける等、放火火災予防対策の推進を図った。

## 3 予防査察の充実強化

火災の発生時による人命危険が大きい社会福祉施設等のほか、長年にわたり立入検査が行われていない防火対象物を優先に立入検査を行い、防火管理者の未選任をはじめ、消防用設備違反についての早期の是正指導を行った。

また、法令改正により消防用設備の必要となった対象物の関係者に対して消防用設備の設置促進を行った。

危険物施設については、立入検査時に施設の適正な維持管理について指導を行い、未然の災害発生防止に努めた。

## 4 多数の観客等が参加する催物に対する防火管理体制の徹底指導

地域の夏祭りに対する消火器設置指導をはじめ、指定催しである十日戎や門戸厄神の主催者に対しては、防火担当者の選任及び火災予防上の計画の作成を指導し、露店開設時に、現地において消火器の設置、ボンベの固定、火気使用設備の設置状況の確認指導を行う等、防火管理体制の徹底を図った。

## 5 危険物製造所等の保安体制の推進

危険物製造所等における危険要因の排除と自主保安体制を推進するため、査察時に製造所等の危険物取扱者に対して、適正な危険物の取扱い及び施設の維持管理を指導することにより、災害発生の未然防止に努めた。

## 防火対象物現況表

用途別		防火対象物現況表	合計 (棟数)	西宮消防署		鳴尾消防署		瓦木消防署		北消防署	
				本署	北夙川分署	本署	浜分署	本署	甲東分署	本署	山口分署
合計			11,818	3,152	1,252	2,226	909	2,363	1,004	299	613
1項	イ	劇場・映画館・観覧場等	6		1	4		1			
	ロ	公会堂・集会場	9	6			1				2
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等									
	ロ	遊技場・ダンスホール	15	11				1	3		
	ハ	性風俗関連特殊営業店等									
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ等	9	5				2	1		1
3項	イ	待合・料理店等									
	ロ	飲食店	132	47	10	10	11	27	3	2	22
4項		百貨店・市場・マーケット等	227	65	19	40	16	54	13	4	16
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	29	6	1	6	1	1	2	7	5
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	6,213	1,474	777	1,186	277	1,498	671	164	166
6項	イ	病院・診療所・助産所	124	35	12	36	4	21	9	1	6
	ロ	老人短期入居施設等	103	19	6	13	13	23	4	4	21
	ハ	老人デイサービスセンター等	132	33	12	25	10	27	9	6	10
	ニ	幼稚園・特別支援学校	81	18	11	11	5	23	8	3	2
7項		小・中・高・大・各種学校	486	52	56	135	31	73	120	12	7
8項		図書館・美術館等	15	2	2	1	7		2	1	
9項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場、その他これらに類するもの									
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	6	5		1					
10項		車両の停車場、船舶の発着場	12	6		3		2		1	
11項		神社・寺院・教会等	141	53	13	13	9	24	15	3	11
12項	イ	工場・作業場	443	118	10	96	125	39		6	49
13項	イ	自動車車庫・駐車場	312	80	19	70	55	40	16	14	18
14項		倉庫	464	66	4	82	122	24	5	6	155
15項		前各項に該当しない事業所	924	293	45	141	133	147	34	50	81
16項	イ	複合用途のうち、特定の用途に供する部分を有するもの	1,148	420	184	217	32	208	55	11	21
	ロ	イ以外の複合用途対象物	783	336	70	136	56	128	34	4	19
17項		重要文化財等	3	1			1				1
18項		50 m以上のアーケード	1	1							

防火管理者選任及び消防計画届出現況表

用途別		区分	法8条該当対象物			防火管理者選任対象物数			消防計画届出対象物数		
			合計	甲種対象物	乙種対象物	合計	甲種対象物	乙種対象物	合計	甲種対象物	乙種対象物
1項	イ	劇場・映画館・観覧場等	3	3		3	3		3	3	
	ロ	公会堂・集会場	5	5		5	5		5	5	
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等									
	ロ	遊技場・ダンスホール	13	9	4	13	9	4	13	9	4
	ハ	性風俗関連特殊営業店等									
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ等	9	8	1	9	8	1	9	8	1
3項	イ	待合・料理店等									
	ロ	飲食店	120	74	46	114	73	41	108	68	40
4項		百貨店・市場・マーケット等	159	129	30	130	114	16	129	113	16
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	22	21	1	22	21	1	21	20	1
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	1,337	1,337		1,229	1,229		1,195	1,195	
6項	イ	病院・診療所・助産所	51	49	2	49	48	1	48	47	1
	ロ	老人短期入居施設等	80	80		79	79		78	78	
	ハ	老人デイサービスセンター等	97	87	10	93	84	9	93	84	9
	ニ	幼稚園・特別支援学校	48	45	3	48	45	3	47	44	3
7項		小・中・高・大・各種学校	117	113	4	113	110	3	110	107	3
8項		図書館・美術館等	9	7	2	9	7	2	9	7	2
9項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場、その他これらに類するもの									
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	6	4	2	6	4	2	6	4	2
10項		車両の停車場、船舶の発着場	1	1		1	1		1	1	
11項		神社・寺院・教会等	74	59	15	63	51	12	64	52	12
12項	イ	工場・作業場	68	68		62	62		61	61	
13項	イ	自動車車庫・駐車場									
14項		倉庫	30	30		27	27		27	27	
15項		前各項に該当しない事業所	267	231	36	259	233	26	236	210	26
16項	イ	複合用途のうち、特定の用途に供する部分を有するもの	850	764	86	700	634	66	699	634	65
	ロ	イ以外の複合用途対象物	181	162	19	153	140	13	153	140	13
17項		重要文化財等									
合計			3,547	3,286	261	3,187	2,987	200	3,115	2,917	198

### 防火対象物査察・検査実施状況

用途別		区分	査察状況		消防用設備検査	
			防火対象物 (棟数)	査察実施対象物 (棟数)	検査届出対象物 (棟数)	検査実施対象物 (棟数)
1項	イ	劇場・映画館・観覧場等	6	21	3	
	ロ	公会堂・集会場	9	5		
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等				
	ロ	遊技場・ダンスホール	15	1		
	ハ	性風俗関連特殊営業店等				
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ等	9	5		
3項	イ	待合・料理店等				
	ロ	飲食店	132	54	6	3
4項		百貨店・市場・マーケット等	227	161	28	18
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	29	26	1	1
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	6,213	1,567	177	139
6項	イ	病院・診療所・助産所	124	66	27	10
	ロ	老人短期入居施設等	103	109	18	25
	ハ	老人デイサービスセンター等	132	105	18	12
	ニ	幼稚園・特別支援学校	81	59	1	
7項		小・中・高・大・各種学校	486	272	52	40
8項		図書館・美術館等	15	11	1	
9項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場、その他これらに類するもの				
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	6	5	1	1
10項		車両の停車場、船舶の発着場	12	4	3	2
11項		神社・寺院・教会等	141	53	1	
12項	イ	工場・作業場	443	211	20	20
13項	イ	自動車車庫・駐車場	312	62	5	3
14項		倉庫	464	254	33	25
15項		前各項に該当しない事業所	924	391	59	51
16項	イ	複合用途のうち、特定の用途に供する部分を有するもの	1,148	561	128	80
	ロ	イ以外の複合用途対象物	783	258	34	24
17項		重要文化財等	3	3		
18項		50m以上のアーケード	1			
合計			11,818	4,264	616	454

用途別中高層（5階以上）防火対象物状況

用途別		区 分														10階以下で31m以上のもの	合計 (棟)		
		5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	16階	17~31階					
1項	イ	劇場・映画館・観覧場等	1															1	2
	ロ	公会堂・集会場	1	1															2
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等																	
	ロ	遊技場・ダンスホール																1	1
	ハ	性風俗関連特殊営業店等																	
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ等		1															1
3項	イ	待合・料理店等																	
	ロ	飲食店	5	1		1	1												8
4項		百貨店・市場・マーケット等	2																2
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	1	1	1	1	2					1							7
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	717	336	239	78	47	58	59	23	20	46	32	3	9	13			1,680
6項	イ	病院・診療所・助産所	7	9	1						1	1						2	21
	ロ	老人短期入居施設等	9	6														1	16
	ハ	老人デイサービスセンター等	4	1															5
	ニ	幼稚園・特別支援学校																	
7項		小・中・高・大・各種学校	32	7	2								1					5	47
8項		図書館・美術館等																	
9項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場、その他これらに類するもの																	
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場																	
10項		車両の停車場、船舶の発着場																	
11項		神社・寺院・教会等	2	2															4
12項	イ	工場・作業場	14	6														3	23
13項	イ	自動車車庫・駐車場	1		2	1												6	10
14項		倉庫	10	3	3													2	18
15項		前各項に該当しない事業所	40	15	3	1	1											7	67
16項	イ	複合用途のうち、特定の用途に供する部分を有するもの	153	54	32	13	4	4	2	1	3	3			8	3		280	
	ロ	イ以外の複合用途対象物	99	52	20	10	7	3	4	4		2	1		1	3		206	
17項		重要文化財等																	
18項		50m以上のアーケード																	
合計(棟)			1,098	495	303	105	62	65	65	29	25	52	33	3	18	47		2,400	

## 防火管理に関する講習の実施状況

講 習 区 分	講 習 回 数	受 講 者 数
甲種防火管理新規講習	9	436
甲種防火管理再講習	1	28

## 建築物確認申請等処理状況

新 築	増 築	改 築	修 繕	模様替	用途変更	その他	合 計
323	28	0	0	0	7	77	435

## 1 2 条報告・仮使用承認等処理状況

所属別 処理別	消 防 局	西 宮 消 防 署	鳴 尾 消 防 署	瓦 木 消 防 署	北 消 防 署	合 計
1 2 条報告等協議	12	/	/	/	/	12
仮使用承認の協議	/	1	3	1	0	5

### 危険物製造所等許可施設状況

総 数		317	
製 造 所		5	1.6%
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	60	18.9%
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	6	1.9%
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	15	4.7%
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	86	27.1%
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所		
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	11	3.5%
	屋 外 貯 蔵 所	4	1.3%
取 扱 所	給 油 取 扱 所	92	29.0%
	第 1 種 販 売 取 扱 所		
	第 2 種 販 売 取 扱 所	2	0.6%
	移 送 取 扱 所		
	一 般 取 扱 所	36	11.4%

### 危険物製造所等類別許可施設状況

種 別		合 計	第 1 類	第 2 類	第 3 類	第 4 類	第 5 類	第 6 類	混 在
区 分									
合 計		317	1			311	1	2	2
製 造 所		5				5			
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	60	1			57	1		1
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	6				4		2	
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	15				15			
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	86				86			
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所								
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	11				11			
	屋 外 貯 蔵 所	4				4			
取 扱 所	給 油 取 扱 所	92				92			
	第 1 種 販 売 取 扱 所								
	第 2 種 販 売 取 扱 所	2				1			1
	移 送 取 扱 所								
	一 般 取 扱 所	36				36			

### 所管別危険物施設等現況及び査察状況

区分	施設		政 令 危 険 物													少 量 危 険 物	指 定 可 燃 物			
	計	所	合 計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所								
					屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	第 一 種 販 売	第 二 種 販 売	移 送			一 般		
所 管 別 施 設	計		317	5	60	6	15	86		11	4	92		2		36	591	130		
	西 宮	本 署	57		8	2	2	18		3	1	14		2		7	137	25		
		北 夙 川 分 署	13		2		2	5				3				1	28			
	鳴 尾	本 署	70	2	12		3	26				14				13	116	37		
		浜 分 署	77	3	21	2	5	10		2	2	21				11	130	37		
	瓦 木	本 署	19		7			5				6				1	47	5		
		甲 東 分 署	16		2	1	3	7				2				1	30			
	北	本 署	23		2	1		2		5	1	10				2	29			
		山 口 分 署	42		6			13		1		22					74	26		
	査 察 状 況	査 察 実 施 数		233	2	37	4	15	63		13	2	65		2		30	96	48	
		消 防 局 (予防課)		46							13		33							
		西 宮	本 署	44		10	2	2	18			1	2		2		7	13	17	
			北 夙 川 分 署	12		2		2	7								1	14		
		鳴 尾	本 署	45	1	7	2	6	19				4				6	7	10	
浜 分 署			35	1	5		4	5				8				12	29	8		
瓦 木		本 署	7		4			2								1	1			
		甲 東 分 署	4		1		1	1								1				
北		本 署	12		4			2			1	4				1	4			
		山 口 分 署	28		4			9				14				1	28	13		



### 液体危険物タンクの完成検査前検査実施状況

合 計	水 張 検 査				
	小 計	10kℓ以下	10kℓを超え 1,000kℓ以下	1,000kℓを超え 2,000kℓ以下	2,000kℓを超えるもの
	2	1	1		
2	水 圧 検 査				
	小 計	600ℓ以下	600ℓを超え 10kℓ以下	10kℓを超え 20kℓ以下	20kℓを超えるもの

### 危険物仮貯蔵・仮取扱承認状況

総 数	仮 貯 蔵	仮 取 扱
45		45

### 少量危険物・指定可燃物・液化石油ガス等届出施設状況

区 分	市条例関係					消防法第9条の3関係		
	少量危険物	指定可燃物	放 射 性 等 物 質	火 薬 類	高圧ガス (法9条の 3を除く)	圧 縮 アセチレン	液 化 石 油 ガ ス	毒 劇 物 質
施 設 数	591	130	23	5	62	25	326	21

## 住宅防災診断実施状況

住宅防災診断実施数			合計
			4,853
訪問診断	実施数	留守宅数	訪問数合計
	998	1,179	2,177
自己診断	火災編	地震編	日常事故編
	2,676	0	0
			計
			2,676

## 住宅防災診断指導件数

内 容	指導件数
市火災予防条例で、台所・寝室・階段に住宅用火災警報器の設置が義務となっています。火災から命を守るため、設置してください。	357
住宅用火災警報器はきちんと作動するものに取り替えておきましょう。	53
コンセント火災の原因となります。コンセントにホコリがたまらないよう、まめに掃除しましょう。	83
火災の原因となることがあります。壊れかけている電気コードやガスホースは取り替えておきましょう。	11
暖房器具を使用していない時はスイッチを消しましょう。	22
火災の原因となることがあります。ストーブの上に洗濯物を干さないようにしましょう。	10
放火の要因となることがあります。家の周りにダンボールなどの燃えやすいものは置かないようにしましょう。	39
放火の要因となることがあります。ゴミは収集日の朝に出すようにしましょう。	17
避難の障害、放火の要因となることがあります。階段や廊下に荷物は置かないようにしましょう。	20
避難の障害となってしまいます。避難バルコニーのパーテーション付近には荷物を置かないようにしましょう。	6
消火器は必ず設置しておきましょう。	288
消火器の使い方を覚えておきましょう。	93
寝タバコをすると火事が起こりやすいのでやめましょう。	19
子供が遊びで使わないよう、マッチ・ライターは、子供の目や手の届かないところに保管しておきましょう。	8
火災の危険があります。料理で油を使用するときは、その場から離れないようにしましょう。	30

# 火災統計



建物火災



# 火災の概要

## 1 概況

平成26年中の火災は、前年より5件増加し、117件発生している。これは、過去10年間では4番目に少ない発生件数となっている。前年に比べ建物火災が13件、車両火災が5件増加し、その他火災が13件減少している。

焼損棟数は15棟、り災世帯数は26世帯、り災人員は55人増加している。

焼損面積では、焼損棟数が増加したことにより、451㎡増加となっている。

火災損害額は、前年に比較して8,770万3千円増加し、建物1件当りに換算すると77万1千円増加となっている。

なお、火災による死者は2人（前年比1人減）で、負傷者は25人（前年比17人増）となっている。

## 2 出火状況等

### (1) 出火状況

平成26年中の火災は、3.1日に1件の割合で発生している。（前年～3.3日に1件）人口1万人当りの出火件数は2.4件（前年～2.3件）である。

### (2) 火災種別毎の出火件数

建物火災は、74件（63.2%）で最も多く、その他火災が29件（24.8%）、車両火災が14件（12.0%）となっている。

### (3) 月別の出火件数

月別の出火件数は、6月が16件と最も多く発生し、続いて1月及び2月が13件、12月が12件の順となっている。出火件数の少ない月は、9月の4件となっている。

### (4) 曜日別の出火件数

曜日別の出火件数は、火曜日が22件と最も多く、続いて日曜日が19件、水曜日及び土曜日が18件の順となっている。出火件数の少ない曜日は、木曜日及び金曜日の13件となっている。

### (5) 時間別の出火件数

時間別の出火件数は、18時台が11件と最も多く、続いて17時台が10件、14時台が7件の順となっている。7時台は火災が発生していない。

### (6) 消防署別の出火件数

消防署別の出火件数は、西宮消防署が53件、鳴尾消防署が29件、瓦木消防署が22件、北消防署が13件それぞれ発生している。

## 3 死者

火災による死者は2人で、前年より1人減少している。

死者の発生理由は、2人とも逃げ遅れである。

#### 4 負傷者

火災による負傷者は25人で、前年(8人)より17人増加している。  
負傷者が生じた内訳は、避難中が12人、消火中が5人などとなっている。  
負傷程度は重症2人、中等症13人、軽症10人となっている。

#### 5 焼損棟数

焼損棟数は81棟で、前年(66棟)に比べると15棟増加している。  
内訳は、全焼2件(前年2件)、半焼3件(前年1件)、部分焼21件(前年17件)、ぼや55件(前年46件)となっている。

#### 6 リ災世帯・リ災人員

リ災世帯は73世帯で、前年(47世帯)に比べ26世帯増加し、リ災人員は166人で、前年(111人)に比べ55人増加している。  
内訳は、全損15世帯21人、半損3世帯7人、小損55世帯138人となっている。

#### 7 焼損面積

建物焼損面積は964㎡で、前年(513㎡)と比べ451㎡増加している。

#### 8 出火原因

出火原因は放火(放火の疑いを含む。)が35件で、前年(33件)に比べ2件増加しており、29年間出火原因の第1位である。続いて、たばこ22件、こんろ19件の順となっている。

#### 9 放火の曜日別及び時間別出火状況

曜日別は日曜日及び祝日、火曜日が8件で最も多く、木曜日が2件と最も少ない。また、時間別では17時台が5件で最も多い。

放火による着火物は繊維製品及び合成樹脂と成形品が最も多く、次いでふとん、座ぶとん、寝具及び座席シートの順となっている。

#### 10 損害額

損害総額1億7,880万9千円は、前年(9,110万6千円)に比べ8,770万3千円増加している。また、建物損害額は、損害総額の90.4%に当たる1億6,162万8千円で、前年(8,618万2千円)に比べると、7,544万6千円増加している。

## 火 災 の 状 況

区 分		単 位	平成26年 A	平成25年 B	対前年増減数 A - B = C	増 減 率 C ÷ B × 100 ( % )	
出 火 件 数		件	117	112	5	4.5	
火 災 種 別	建 物 火 災	件	74	61	13	21.3	
	林 野 火 災		0	0	0	0.0	
	車 両 火 災		14	9	5	55.6	
	船 舶 火 災		0	0	0	0.0	
	航 空 機 火 災		0	0	0	0.0	
	そ の 他 火 災		29	42	-13	-31.0	
	爆 発		0	0	0	0.0	
焼 損 棟 数	合 計	棟	81	66	15	22.7	
	全 焼		2	2	0	0.0	
	半 焼		3	1	2	200.0	
	部 分 焼		21	17	4	23.5	
	ぼ や		55	46	9	19.6	
り 災 世 帯	合 計	世 帯	73	47	26	55.3	
	全 損		15	5	10	200.0	
	半 損		3	3	0	0.0	
	小 損		55	39	16	41.0	
り 災 人 員		人	166	111	55	49.5	
焼 損 面 積	建 物	㎡	964	513	451	87.9	
	1 件 当 り		13.0	8.4	4.6	54.8	
	林 野	a	0	0	0	0.0	
	1 件 当 り		0	0	0	0.0	
損 害 額	総 額	千円	178,809	91,106	87,703	96.3	
	火 災 1 件 当 り	円	1,528	813	715	87.9	
	市 民 1 人 当 り	円	367	187	180	96.3	
	建 物	千 円	161,628	86,182	75,446	87.5	
	建 築 物		138,572	55,004	83,568	151.9	
	収 容 物		23,056	31,178	-8,122	-26.1	
	建 物 1 件 当 り		2,184	1,413	771	54.6	
	林 野		0	0	0	0.0	
	車 両		4,737	4,220	517	12.3	
	船 舶		0	0	0	0.0	
	航 空 機		0	0	0	0.0	
	そ の 他		12,444	704	11,740	1667.6	
	爆 発		0	0	0	0.0	
死 者			人	2	3	-1	-33.3
負 傷 者			人	25	8	17	212.5
1 日 当 り	火 災 件 数	件	0.3	0.3	0.0	西宮市推計人口 平成26年1月1日現在 486,350人 平成27年1月1日現在 487,299人	
	建 物 火 災	件	0.2	0.2	0.0		
	建 物 焼 損 面 積	㎡	2.6	1.4	1.2		
	建 物 損 害 額	千円	490	250	240		
人口1万人当りの 出火件数(出火率)		件	2.4	2.3	0.1		
総出動台数及び人員		台	571	431	140		
		人員	2,109	1,630	479		

## 曜 日 別 火 災 発 生 状 況

区分 曜日	出 火 件 数							焼 損 棟 数				り 災 世 帯 数			り 災 人 員 (人)	焼 損 面 積		死 傷 者 (人)	負 傷 者 (人)	損 害 額 (千円)			
	計	建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	船 舶 火 災	航 空 機 火 災	そ の 他 火 災	爆 発	計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ほ や	計		全 損	半 損				小 損	建 物 (㎡)	林 野 (a)
日曜日	19	12		2			5		12			4	8	7	2		5	14	106		6	22,766	
月曜日	14	10		4					14	1	1	2	10	19	10	1	8	42	515		1	4	69,844
火曜日	22	12		4			6		12			3	9	13	1		12	31	65			2	33,234
水曜日	18	11		1			6		12		1	4	7	8		1	7	13	39			6	7,296
木曜日	13	9					4		11			3	8	14	1		13	39	63			3	17,565
金曜日	13	8		1			4		8		1	1	6	5		1	4	13	3				7,946
土曜日	18	12		2			4		12	1		4	7	7	1		6	14	173		1	4	20,158
合 計	117	74		14			29		81	2	3	21	55	73	15	3	55	166	964		2	25	178,809

## 10 年 間 の 主 要 出 火 原 因

順位 年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
	1位	放 火 57	放 火 35	放 火 70	放 火 38	放 火 43	放 火 62	放 火 43	放 火 25	放 火 33
2位	たばこ 19	たばこ こんろ 各20	こんろ 17	たばこ 17	たばこ 19	たばこ 21	たばこ 23	こんろ 21	たばこ 14	たばこ 22
3位	こんろ 16		たばこ 12	こんろ 14	こんろ 13	こんろ 16	こんろ 21	たばこ 20	こんろ 火遊び 各12	こんろ 19
4位	火遊び 8	排気管 電気機器 各4	ストーブ 火遊び 各7	火遊び 8	火遊び 11	火遊び 7	ストーブ 6	火遊び 4		配線器具 5
5位	電灯電話 線等の配 線・排気 管各6			排気管 電気機器 マッチ・ ライター 各4	配線器具 5	配線器具 6	配線器具 5	マッチ・ ライター 3	電気機器 配線器具 溶接機・溶断機 灯火 各4	

放火には疑いを含む

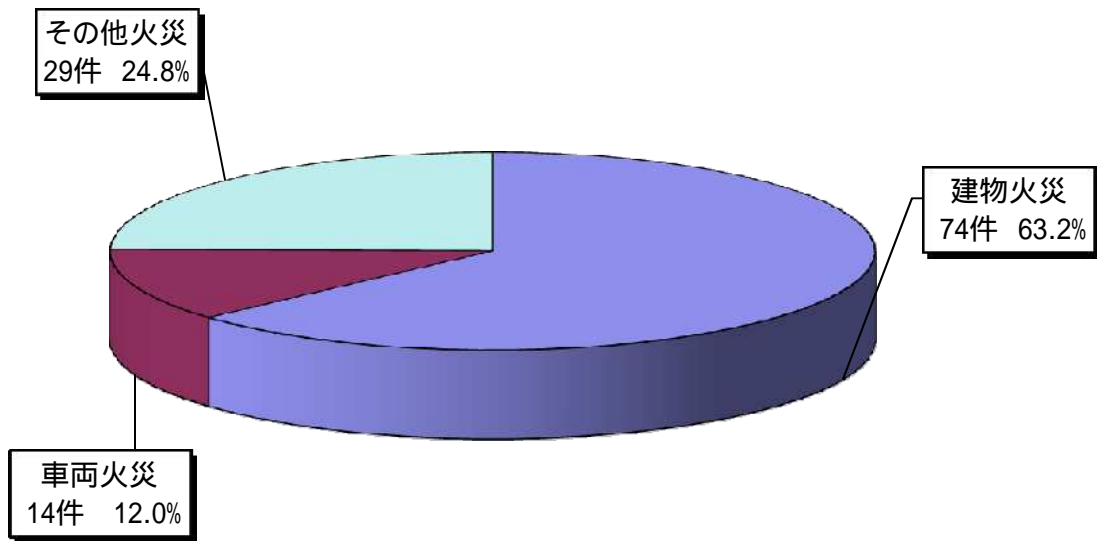


## 時 間 別 火 災 発 生 状 況

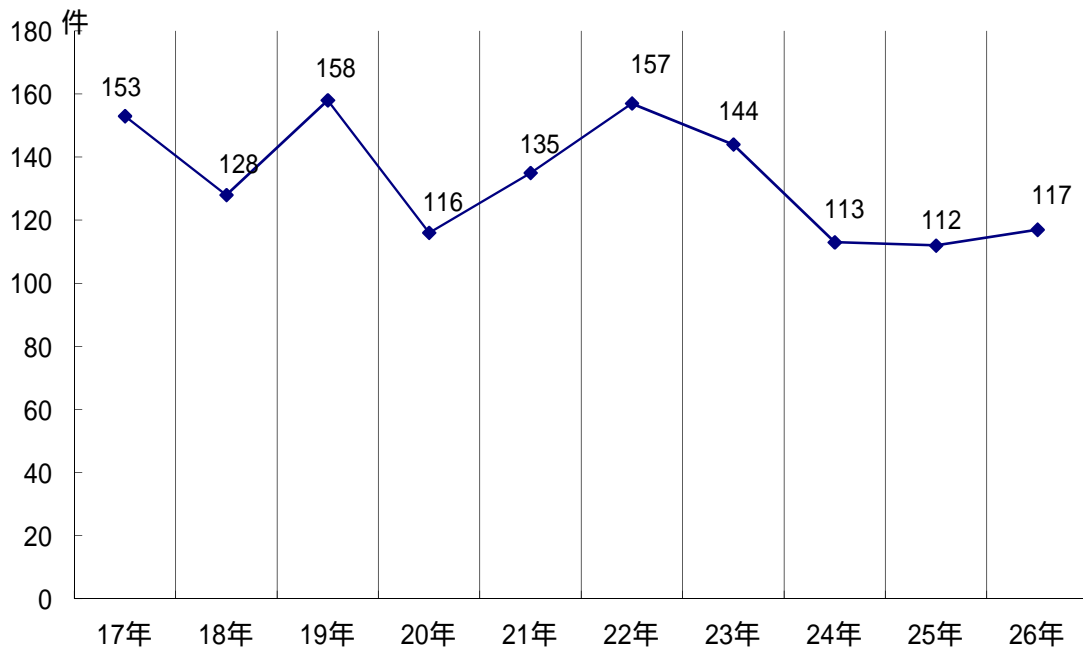
区分 時間	出火件数	焼損棟数	10世帯	焼 損 面 積		死 者 (人)	負傷者 (人)	損害額 (千円)
				建物(m <sup>2</sup> )	林野(a)			
合 計	117	81	73	964		2	25	178,809
0 ~ 1	3	2	1					31
1 ~ 2	6	7	9	123		1	3	22,741
2 ~ 3	4	3	7	43				14,142
3 ~ 4	2	1	1					257
4 ~ 5	4	2	1	16			3	1,122
5 ~ 6	5	4	2					234
6 ~ 7	2	1						1,584
7 ~ 8								
8 ~ 9	5	3	1				1	279
9 ~ 10	6	4	5	49				4,077
10 ~ 11	6	3	4	83			3	18,674
11 ~ 12	2	2	1					141
12 ~ 13	5	3	3	113				19,770
13 ~ 14	5	2						646
14 ~ 15	7	5	3				1	3,152
15 ~ 16	4	3	1				1	683
16 ~ 17	5	2	1				1	1,506
17 ~ 18	10	4	3				1	13
18 ~ 19	11	6	3				1	10,033
19 ~ 20	6	3	3					436
20 ~ 21	4	3	2					209
21 ~ 22	5	9	16	386		1	1	46,157
22 ~ 23	6	5	2	116				29,718
23 ~ 24	4	4	4	35			9	3,204
不 明								

# 火災種別出火件数

平成26年中の出火件数 117件

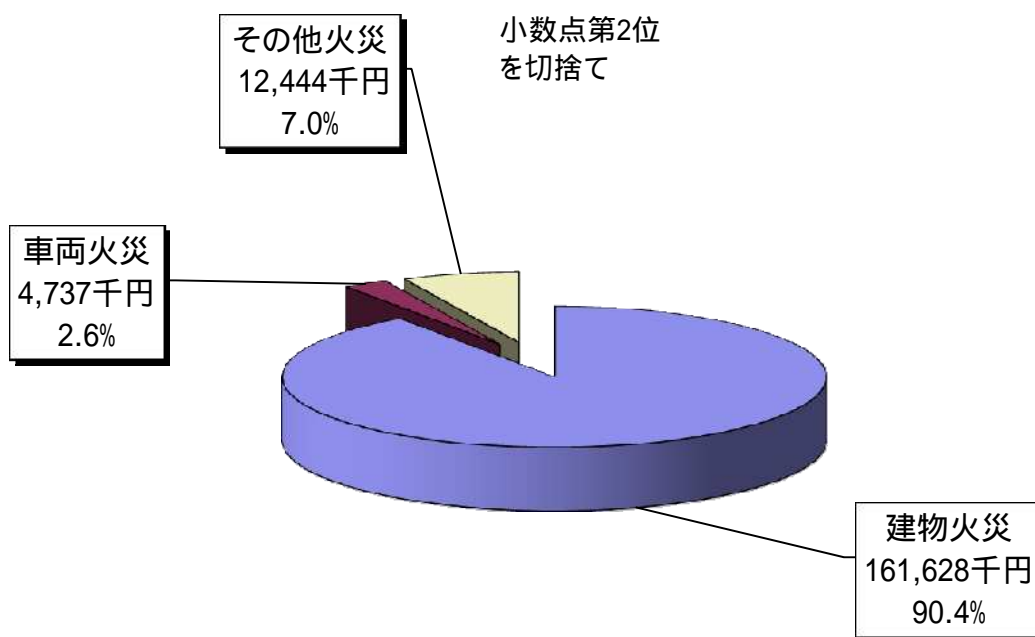


## 火災件数の動向（10年間）



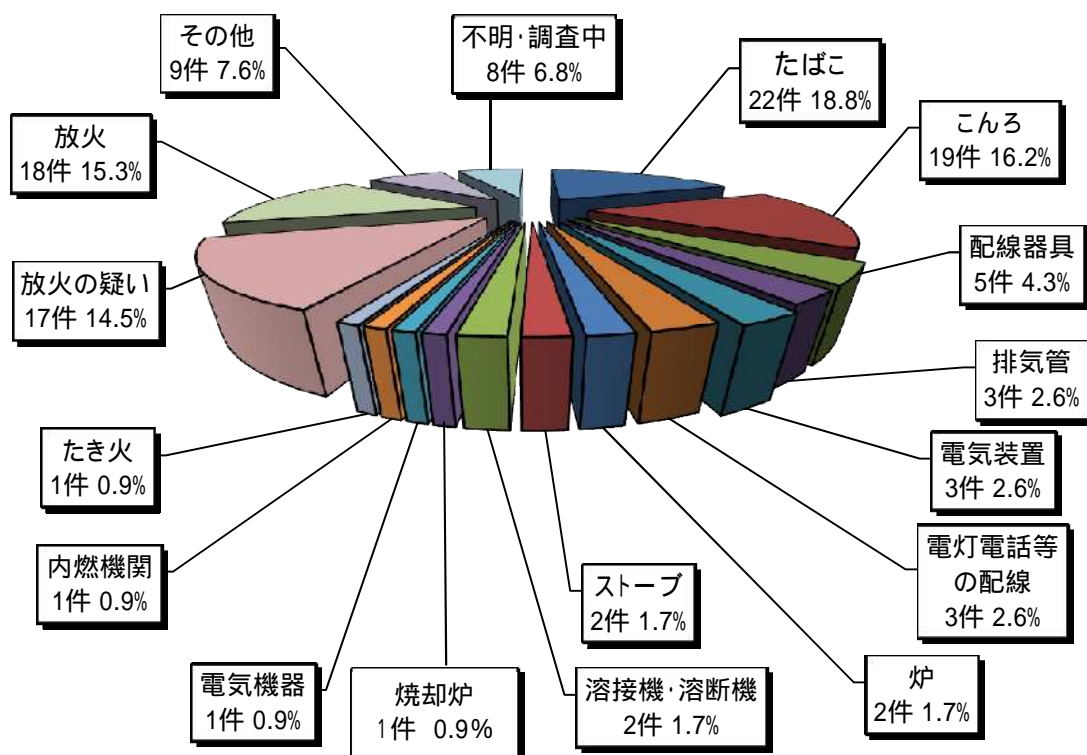
# 火災損害額状況

平成26年中の火災損害額  
178,809千円



# 原因別出火件数

平成26年中の出火件数  
117件



## 月別火災発生状況

区分 月別	出火件数							焼損棟数				り災世帯数			り 災 人 員 (人)	焼損面積		死 者 (人)	負 傷 者 (人)	損 害 額 (千 円)											
	計	建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	船 舶 火 災	航 空 機 火 災	そ の 他 火 災	爆 発	計	全 焼	半 焼	部 焼	ぼ や	計		全 損	半 損			小 損	建 物 (㎡)	林 野 (a)	合 計	建 物			林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他
																								小 計	建築物	内容品					
1 月	13	6		1			6	8			3	5	9	2		7	28	126		5	25,439	25,330	22,358	2,972		100			9		
2 月	13	7		1			5	11	1		2	8	16	10		6	29	409		1	46,505	46,504	39,350	7,154					1		
3 月	8	5					3	5			2	3	4		1	3	11	16		3	1,173	1,173	383	790							
4 月	8	4		1			3	5			2	3	2			2	5				894	384	383	1	199				311		
5 月	11	6		2			3	6			2	4	6			6	11	20			2,923	1,097	157	940	1,774				52		
6 月	16	12		2			2	12		1	3	8	8	1		7	22	123		4	32,279	22,512	20,300	2,212		2			9,765		
7 月	10	4		3			3	4				4	4			4	7				671	139	122	17	378				154		
8 月	8	4		2			2	4			2	2	8	1		7	15	40			7,963	6,659	4,802	1,857	1,304						
9 月	4	3					1	3				3	2			2	7			3	43	42	38	4					1		
10月	7	6					1	6		2	1	3	4		2	2	11	32		1	11,303	11,298	11,062	236					5		
11月	7	6		1				6			2	4	2			2	4	116		1	33,019	29,945	24,858	5,087	930				2,144		
12月	12	11		1				11	1		2	8	8	1		7	16	82		1	16,597	16,545	14,759	1,786	50				2		
合計	117	74	0	14	0	0	29	0	81	2	3	21	55	73	15	3	55	166	964	0	2	178,809	161,628	138,572	23,056	0	4,737	0	0	12,444	

## 5カ年比較火災発生状況

区分 年別	出火件数								焼損棟数								火災状況								焼損面積		焼損 表面積 (㎡) K		
	計 A	建物 火災 B	林野 火災 C	車両 火災 D	船舶 火災 E	航空 機火災 F	その他 火災 G	爆発 H	火元				種類				世帯				人員				建物 (㎡) I	林野 (a) J			
									合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	合 計	全 損	半 損	小 損	合 計	全 損				半 損	小 損
平成26年	117	74	0	14	0	0	29	0	74	2	3	20	49	7	0	0	1	6	73	15	3	55	166	21	7	138	964	0	338
平成25年	112	61	0	9	0	0	42	0	61	2	1	14	44	5	0	0	3	2	47	5	3	39	111	9	4	98	513	0	183
平成24年	113	61	0	15	0	0	37	0	61	1	5	13	42	7	0	1	2	4	68	15	1	52	152	20	3	129	686	0	48
平成23年	144	70	2	20	0	0	52	0	70	4	4	10	52	15	0	0	13	2	67	8	2	57	166	18	8	140	1,069	1	38
平成22年	157	88	2	24	1	0	42	0	86	3	4	17	62	16	1	0	3	12	86	13	0	73	189	31	0	158	1,297	1	247

区分 年別	死 者 (人)	負 傷 者 (人)	損害額 (千円)										火災1件当たり平均													
			合 計 L	建 物			林 野 P	車 両 Q	船 舶 R	航 空 機 S	そ の 他 T	爆 発 U	焼損面積			焼 損 表 面 積 (㎡) K/B	損害額 (千円)									
				小 計 M	建 物 N	収 容 物 O							建 物 野 野 I/B	林 野 J/C	合 計 L/A		小 計 M/B	建 築 物 N/B	内 容 物 O/B	林 野 P/C	車 両 Q/D	船 舶 R/E	航 空 機 S/F	そ の 他 T/G	爆 発 U/H	
																										計
平成26年	2	25	178,809	161,628	138,572	23,056	0	4,737	0	0	12,444	0	13	0	5	1,528	2,184	1,873	312	0	338	0	0	0	429	0
平成25年	3	8	91,106	86,182	55,004	31,178	0	4,220	0	0	704	0	8	0	3	813	1,413	902	511	0	469	0	0	17	0	
平成24年	0	25	77,330	72,162	54,985	17,177	0	4,611	0	0	557	0	11	0	1	684	1,183	901	282	0	307	0	0	15	0	
平成23年	3	20	150,134	143,241	103,827	39,414	0	2,657	0	0	4,236	0	15	1	1	1,043	2,046	1,483	563	0	133	0	0	81	0	
平成22年	3	19	99,921	92,095	65,397	26,698	0	7,669	2	0	155	0	15	0	3	636	1,047	743	304	0	320	2	0	4	0	

### 署別火災発生状況

区分 署別		出火件数							焼損棟数					り災世帯数				焼損面積		死 者 (人)	負 傷 者 (人)	損害額 (千円)		
		合	建	林	車	船	航	そ	爆	合	全	半	部	ぼ	合	全	半	小	建				林	
		計	物	野	両	火	空	の	発	計	焼	焼	分	や	計	損	損	損	物				野	
西宮消防署	小計	53	36		4			13		36		1	11	24	28	2	1	25	60	290			5	62,968
	本署	43	29		4			10		29		1	9	19	21	1	1	19	47	225			5	30,239
	北夙川	10	7					3		7			2	5	7	1		6	13	65				32,729
鳴尾消防署	小計	29	22		3			4		26	1	1	3	21	28	9	1	18	63	399		1	9	68,157
	本署	20	17					3		21	1	1	3	16	25	9	1	15	55	399		1	8	66,498
	浜	9	5		3			1		5				5	3			3	8				1	1,659
瓦木消防署	小計	22	13		1			8		16	1		7	8	13	3	1	9	32	162		1	10	26,123
	本署	11	4		1			6		4			2	2	3		1	2	8	16			3	1,212
	甲東	11	9					2		12	1		5	6	10	3		7	24	146		1	7	24,911
北消防署	小計	13	3		6			4		3		1		2	4	1		3	11	113			1	21,561
	本署	6	2		3			1		2		1		1	4	1		3	11	113			1	20,042
	山口	7	1		3			3		1				1										1,519
合計		117	74	0	14	0	0	29	0	81	2	3	21	55	73	15	3	55	166	964	0	2	25	178,809

### 建物火災用途別火災発生状況

用途	区分	出火件数	焼損棟数					火災世帯数				死傷者(人)	焼損面積(m <sup>2</sup> )	損害額(千円)		
			計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損	小損					
住宅	一般住宅	12	16	2	2	2	10	25	10	2	13	52	2	3	498	73,679
	共同住宅	35	37	0	1	8	28	43	5	1	37	103		15	340	54,007
	居住併用	2	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0				113
	計	49	55	2	3	10	40	68	15	3	50	155	2	18	838	127,799
	飲食店	0	0					0								0
	物品販売店舗	0	0					0								0
	病院	0	0					0								0
	工場	3	3			1	2	0						1	91	3,875
	倉庫	1	1				1	0								6
	事務所	2	2			1	1	0								12
	複合用途(特定)	5	5			3	2	1			1	1		1	25	26,266
	複合用途(非特定)	3	3			1	2	3			3	6				156
	その他	11	12			5	7	1			1	4		4	10	3,862
	合計	74	81	2	3	21	55	73	15	3	55	166	2	24	964	161,976

### 建物火災焼損面積の推移

区 分	年 別										
	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	平 均
建物火災件数	86	80	92	61	71	88	70	61	61	74	74.4
焼損面積 ( m <sup>2</sup> )	2,570	769	464	747	1,252	1,297	1,069	686	513	964	1,033.1
焼損面積指数	100	30	18	29	49	50	42	27	20	38	40
建物1件当り 焼損面積 ( m <sup>2</sup> )	29.9	9.6	5.0	12.2	17.6	14.7	15.3	11.2	8.4	13.0	13.9
建物1件当り 焼損面積指数	100.0	32.1	16.7	40.8	58.9	49.2	51.2	37.5	28.1	43.5	45.8

(平成17年 = 指数100)

### 覚知別出火件数

年 別	覚知別	合 計	1	1 (	事	加	加 (	駆	警	そ
			1	1 携	後	入	入 携	付	察	の
			9	9 帯	聞	電	電 帯	通	電	他
			番	番)	知	話	話)	報	話	
平成 26 年		117	24	41	41	7	1			3
平成 25 年		112	28	35	38	5	1			5



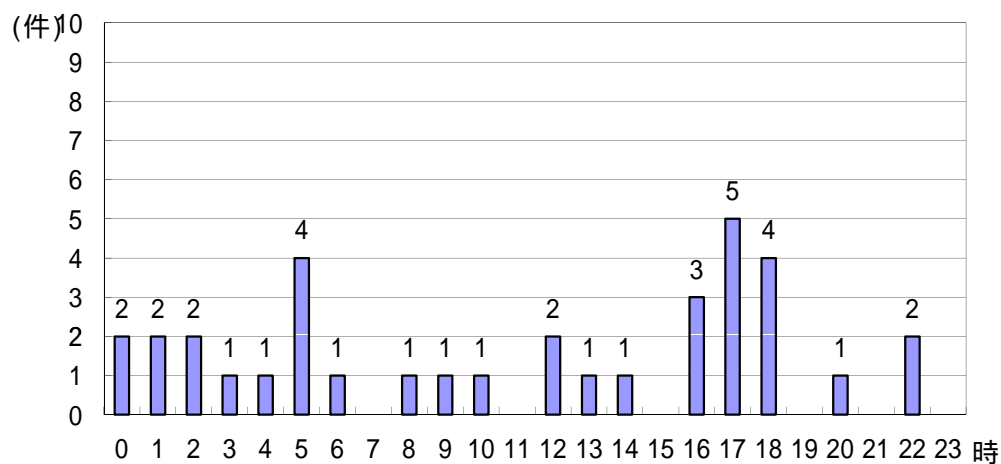
### 10年間の放火の推移

年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	平均
件数	57	35	70	38	43	62	43	25	33	35	44.1

### 放火の曜日別出火件数

曜日	日曜 及び 祝日	月	火	水	木	金	土	合計
件数	8	5	8	4	2	3	5	35

### 放火の時間別出火状況



### 放火による着火物

着火物	件数
繊維製品	6
合成樹脂と成形品	6
ふとん、座ぶとん、寝具	3
座席シート	3
袋及び紙製品	2
落葉	2
枯草	2
その他	11

### 隣接都市火災等応援(被応援)出動状況

都市名 \ 区分	出 動 回 数	出 動 台 数	出 動 人 員
合 計	8	19	66
	6	16	59
尼 崎 市	2	2	8
宝 塚 市	3	13	45
	3	4	15
芦 屋 市			
	2	5	21
神 戸 市	3	4	13
	1	7	23

上段は応援、下段は被応援を示す

### 高速道路における隣接都市火災等応援(被応援)出動状況

都市名 \ 区分	出 動 回 数	出 動 台 数	出 動 人 員
合 計	1	2	7
	2	5	21
尼 崎 市			
宝 塚 市			
	1	1	5
芦 屋 市			
	1	4	16
神 戸 市			
	1	2	7

上段は応援、下段は被応援を示す

## 平成26年中 主な火災発生状況

損害額 1,000万円以上 焼損面積 建物300㎡、林野200a以上 即報、詳報に該当する火災 消防長が必要と認める火災										
	月 日	種 別	出 火 時 時 分	鎮 火 時 時 分	覚 知	発 生 場 所	火 元 用 途	死 者	負 傷 者	焼 損 状 況
1	1月12日	建 物	10:56	13:33	加入電話 (携帯電話)	津門大塚町	共同住宅		3	鉄筋コンクリート造 6階建 共同住宅 1棟47戸延べ面積 3724㎡のうち、3階部分83㎡ を焼損
2	2月17日	建 物	21:55	2:41	専用電話 (携帯電話)	笠屋町	一般住宅	1	1	木造 2階建長屋式住宅 1棟 10戸延べ面積386㎡を焼損
3	6月2日	建 物	12:15	14:43	専用電話 (I P 電話)	東山台 1丁目	共同住宅			鉄筋コンクリート造地上 4 階地下 1階建共同住宅 1棟 3 戸延べ面積351㎡のうち、2 階及び3階部分113㎡を焼損
4	11月25日	建 物	22:00	23:11	専用電話 (携帯電話)	久出ヶ谷町	複合用途			鉄筋コンクリート造地上 2 階地下 1階建複合用途建物延 べ面積1420㎡のうち、地下 1 階部分25㎡を焼損
5	12月20日	建 物	1:50	5:18	専用電話 (固定電話)	仁川五ヶ山町	一般住宅	1	1	木造 2階建店舗付住宅 1棟 延べ面積120㎡のうち、80㎡ を焼損



# 緊急対応事故



安全管理隊



# 緊急対応事故の概要

## 1 概況

平成 26 年中の緊急対応事故発生件数は、前年より 55 件増加し、853 件発生している。

内訳は、「支援活動」234 件(27.4%)が最も多く、「緊急確認」231 件(27.1%)、「緊急措置」198 件(23.2%)、「社会危険排除」20 件(2.4%)、「その他(前記に該当しないもの)」170 件(19.9%)となっている。

消防署別では、西宮消防署が 350 件、鳴尾消防署が 181 件、瓦木消防署が 213 件、北消防署が 109 件発生している。

## 2 出動状況

平成 26 年中の緊急対応事故による出動は、1,222 台の 4,814 人となっている。

消防署別出動状況は、西宮消防署が 493 台の 1,980 人(本署～297 台、1,263 人、北夙川～196 台、717 人)、鳴尾消防署が 254 台の 1,047 人(本署～165 台、685 人、浜～89 台、362 人)、瓦木消防署が 294 台の 1,141 人(本署～198 台、768 人、甲東～96 台、373 人)、北消防署 181 台の 646 人(本署～81 台、268 人、山口～100 台、378 人)となっている。

## 3 事故内容

発生件数 853 件の事故内容の主な内訳は、「道路上における活動隊の安全確保」196 件(23.0%)、「自火報・警報ベル・非常ベルの鳴動」157 件(18.4%)、「危険物漏洩処理、車両等からの油流し」92 件(10.8%)、「火災通報により出動したが、火災ではなかった事案」54 件(6.3%)となっている。

## 緊急対応事故発生状況

区分	所属別	西宮消防署			鳴尾消防署			瓦木消防署			北消防署			合計
		小計	本署	北夙川	小計	本署	浜	小計	本署	甲東	小計	本署	山口	
緊急措置	火災通報により出動したが、火災ではなかった事案	25	17	8	12	7	5	11	5	6	6	3	3	54
	火災調査のため出動したが、火災ではなかった事案	13	11	2	8	6	2	11	6	5				32
	建物等の倒壊、落下に対する対応	1	1											1
	水防指令が発令されていない場合の水防対応							1	1		1		1	2
	危険物漏洩処理、車両等からの油流し	29	17	12	24	13	11	13	7	6	26	13	13	92
	ガス漏れ	1	1		2	1	1	3	2	1	1	1		7
	その他緊急対応措置が必要な事案	1	1					4	1	3	5	2	3	10
緊急確認	火災と紛らわしい煙の確認	6	2	4	4	3	1	4	2	2	8	3	5	22
	異臭・異音	13	5	8	6	5	1	9	4	5	3	2	1	31
	自火報・警報ベル・非常ベルの鳴動	69	52	17	44	29	15	35	26	9	9	3	6	157
	ガス・電気等の消し忘れ													0
	その他緊急確認が必要な事案	3	1	2	7	6	1	7	5	2	4	3	1	21
社会危険排除	犬・猫等の保護、猿・蛇・蜂等の危険排除	6	4	2	5	4	1	5	1	4	3	2	1	19
	その他社会的危険が考えられる事案				1	1								1
支援活動	救急隊の支援に携わった事案	7	2	5	5	4	1	10	6	4	8	6	2	30
	道路上における活動隊の安全確保	83	82	1	36	31	5	47	46	1	30	8	22	196
	上記に該当しない支援活動				8	3	5							8
	誤報 (見誤りなど)													0
	虚報 (いたずらなど)													0
	上記に該当しないもの	93	6	87	19	16	3	53	42	11	5	4	1	170
	合計	350	202	148	181	129	52	213	154	59	109	50	59	853
	出動台数	493	297	196	254	165	89	294	198	96	181	81	100	1,222
	出動人員	1,980	1,263	717	1,047	685	362	1,141	768	373	646	268	378	4,814



# 水 防 統 計



水防工法訓練



## 水防活動の概要

平成26年度 水防・災害活動状況

	月 日	曜日	原因	対策	活動	被害
1	8月6日	水	時間雨量30mm超	巡ら	巡ら：2回、2台、8名	なし
2	8月7日	木	時間雨量30mm超、連続雨量100mm超及び大雨警報	巡ら	巡ら：10回、10台、38名	道路冠水
3	8月9日 ～ 8月10日	土 ～ 日	台風11号	巡ら 巡視 水防作業	巡ら：11回、11台、39名 巡視：40回、40台、133名 作業：21回、29台、99名	有馬川堤防穿孔 道路陥没 大規模な土砂崩れ 住宅への浸水
4	8月16日	土	大雨洪水警報	応急対策指令発令	巡ら：1回、1台、3名 巡視：14回、14台、46名 作業：12回、19台、42名 事故：1回、2台、4名	有馬川堤防陥没 住宅への浸水
5	8月24日	日	大雨洪水警報	巡ら 事故	巡ら：8回、8台、27名 事故：1回、3台、7名	なし
6	9月24日 ～ 9月25日	水 ～ 木	時間雨量30mm超	巡ら	巡ら：6回、6台、22名	なし
7	10月5日 ～ 10月6日	日 ～ 月	台風18号	応急対策指令発令	巡視：16回、16台、61名 事故：1回、2台、7名	負傷者1名（バイク転倒）
8	10月13日	月	台風19号	防災指令第1号発令	巡視：27回、27台、98名 作業：1回、6台、22名	中洲に取り残された男性の救出



# 救 急 統 計



小学校での救急講習会



# 救急の概要

## 1 概況

平成26年中の救急出動件数は22,416件、搬送人員は20,083人で、前年に比べ出動件数で285件、搬送人員で306人増加している。

出動件数のうち主な事故種別の構成比は、「急病」が全体の61.4%を占め、「一般負傷」が16.5%、「交通事故」が8.5%となっている。

また1日の平均出動件数は61.4件で23分に1回救急車が出動し、西宮市民の22人に1件の割合で救急要請したこととなる。

医師搬送件数145件のうち、ドクターカーシステムによる出動件数は144件で、前年に比べ30件減少した。

救急救命士の救命処置は、搬送された心肺停止状態の傷病者353人に対し、ラリングアルチューブなどによる気道確保が60件（うち気管挿管5件・ビデオ硬性挿管用喉頭鏡による気管挿管3件）、乳酸リンゲル液を用いた静脈路確保のための輸液を74件（うち薬剤投与37件）、また除細動を28件実施した。

## 2 救急業務高度化

救急業務の高度化推進に伴い、救急救命士養成のため兵庫県救急救命士養成所に4名を派遣するとともに、気管挿管認定救急救命士6名、ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管挿管認定救急救命士7名並びに薬剤投与認定救急救命士5名を養成した。

また、日本臨床救急医学会、全国救急隊員シンポジウム等の各種研修会へ派遣するとともに、阪神地区消防長会救急隊員研修会や、阪神・丹波地域メディカルコントロール協議会研修会で、救急救命士を含む救急隊員の再教育等を行い質の向上を図った。

## 3 応急手当普及啓発

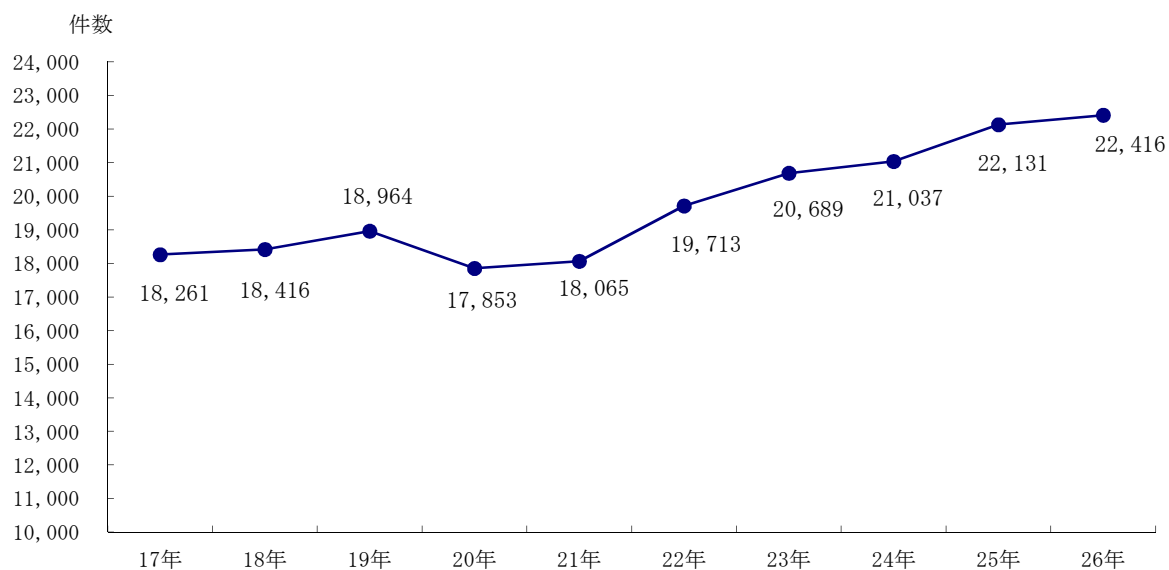
応急手当の普及促進については、短時間で受講できる「救命入門コース」を開催するなど、各種救急講習会を積極的に開催するとともに、救命指導員（応急手当普及員）の育成を推進し、市民による病院前救護体制の強化を図り救命効果の向上に努めた。

また、AEDを含めた「応急手当の必要性」や「救急車の適正利用」など、救急業務への理解と協力を求めるために市ホームページに加え、市公式フェイスブックやツイッターなどのソーシャルネットワークサービスを活用し、市民への普及啓発に努めた。

## 救 急 活 動 概 要

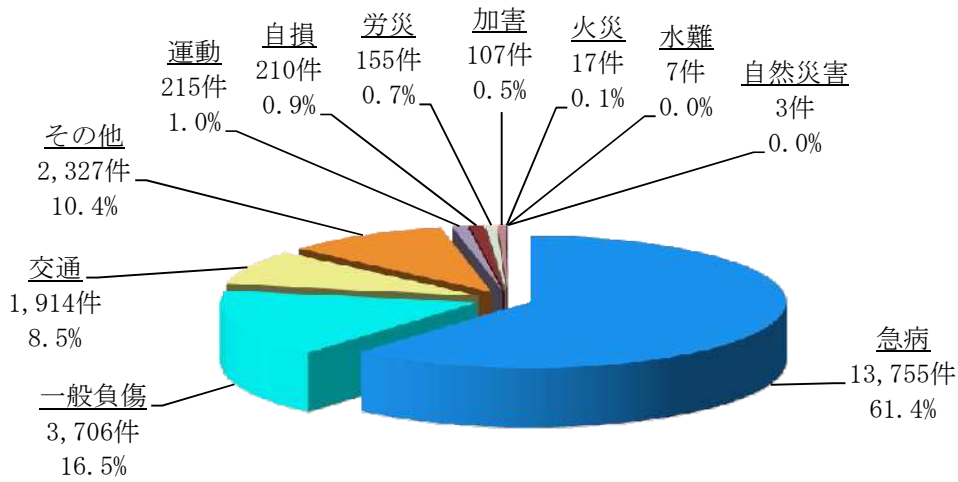
年 別 区 分		平成26年	平成25年	前 年 比 較	
		A	B	増 減 数 A-B=C	増 減 率 C÷B
出 動 件 数		22,416件	22,131件	285件	1.3%
傷 病 者 搬 送 件 数		19,930件	19,594件	336件	1.7%
傷 病 者 不 搬 送 件 数		2,486件	2,362件	124件	5.2%
ドクターカーシステム出動件数		144件	174件	-30件	-17.2%
資 器 材 等 輸 送 件 数		0件	0件	0件	0.0%
傷 病 者 搬 送 人 員		20,083人	19,777人	306人	1.5%
内 訳	男 性	9,844人	9,599人	245人	2.6%
	女 性	10,239人	10,178人	61人	0.6%
1 日 平 均 出 動 件 数		61.4件	60.6件	西宮市推計人口 平成26年1月1日現在 486,350人  平成27年1月1日現在 487,299人  前年比 +949人	
時 間 に 対 す る 出 動 件 数		23分に1件	24分に1件		
人 口 に 対 す る 出 動 件 数		22人に1件	22人に1件		
人 口 に 対 す る 搬 送 人 員		24人に1人	25人に1人		
人 口 1 万 人 当 た り の 出 動 件 数		460件	455件		

### 10 カ 年 の 救 急 の 動 向 (出動件数)

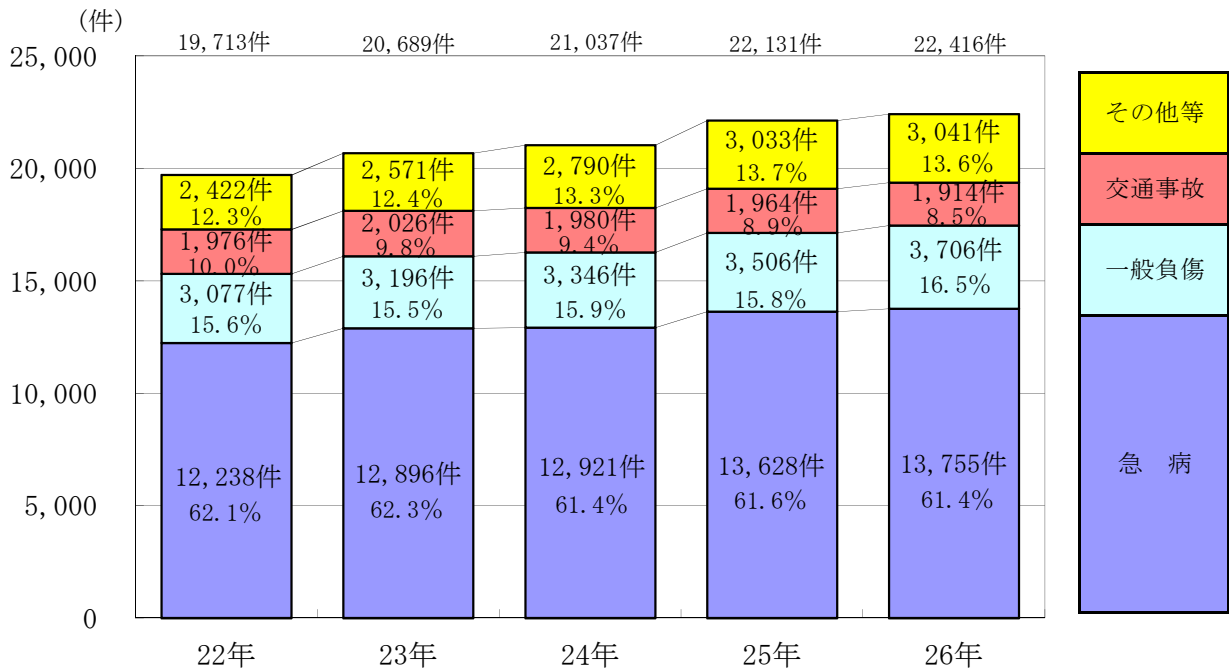




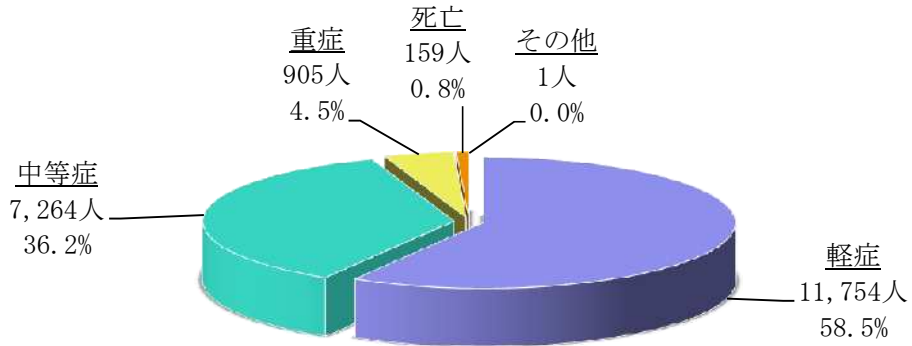
## 救急出動事故種別



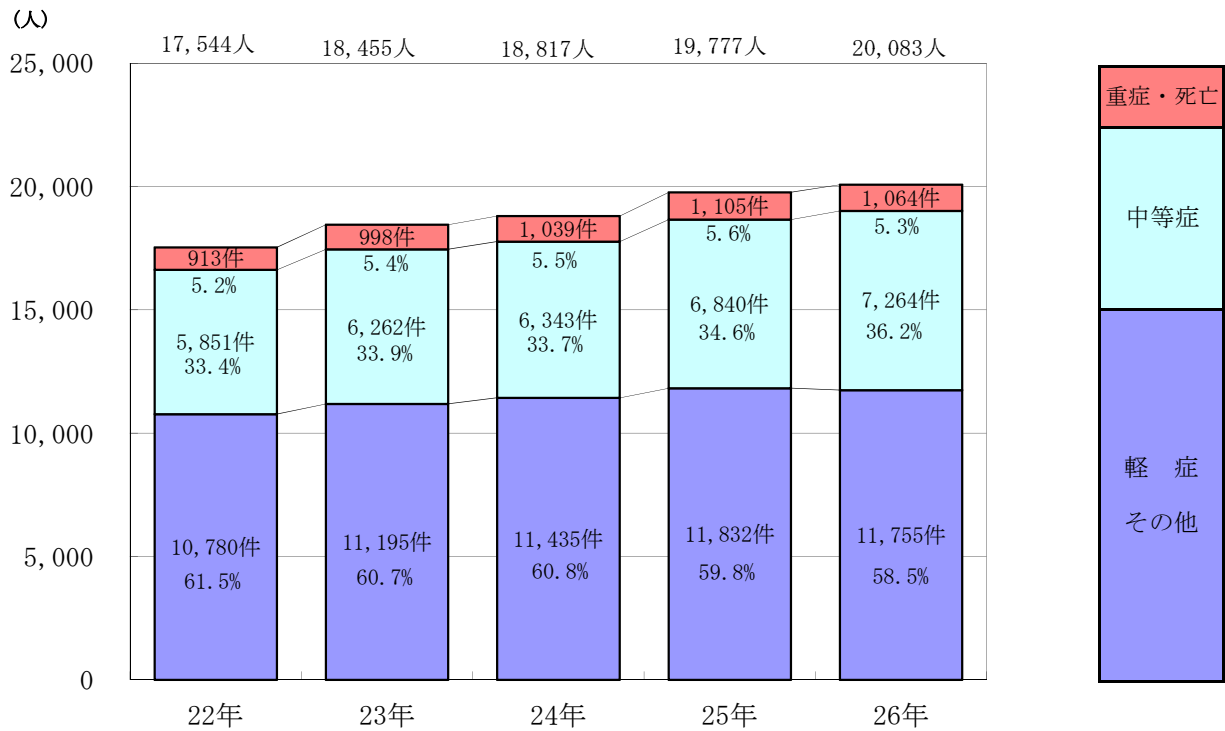
## 過去5年間の事故種別増減表



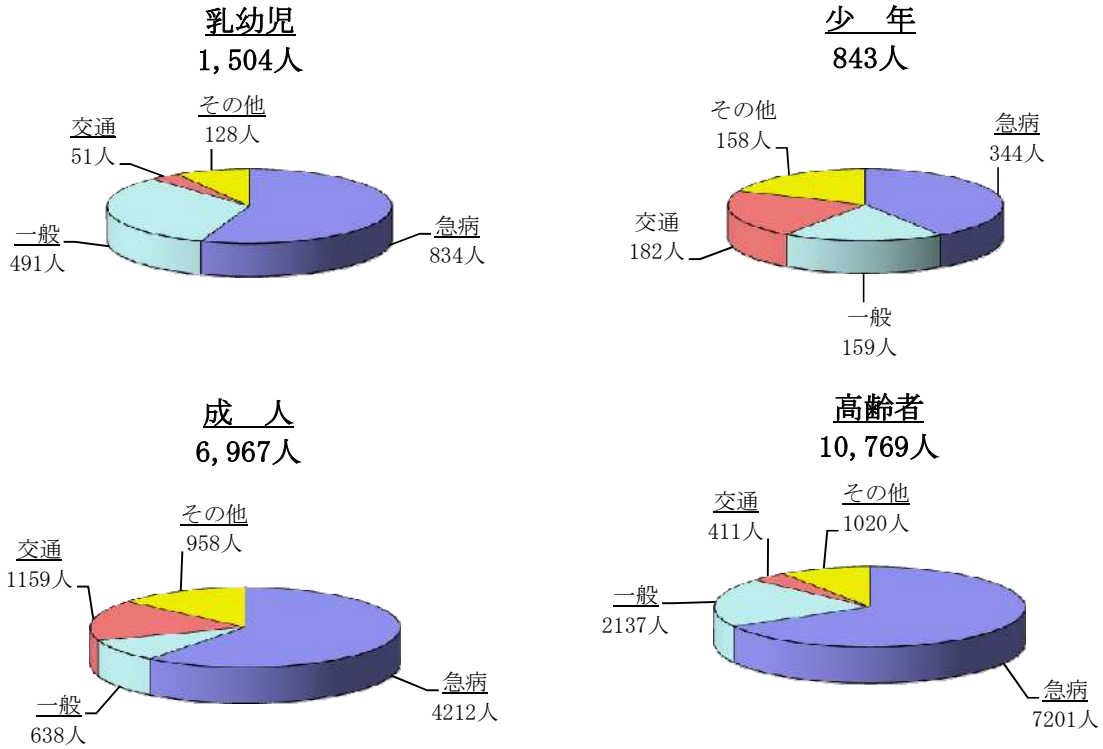
## 搬送者傷病程度別



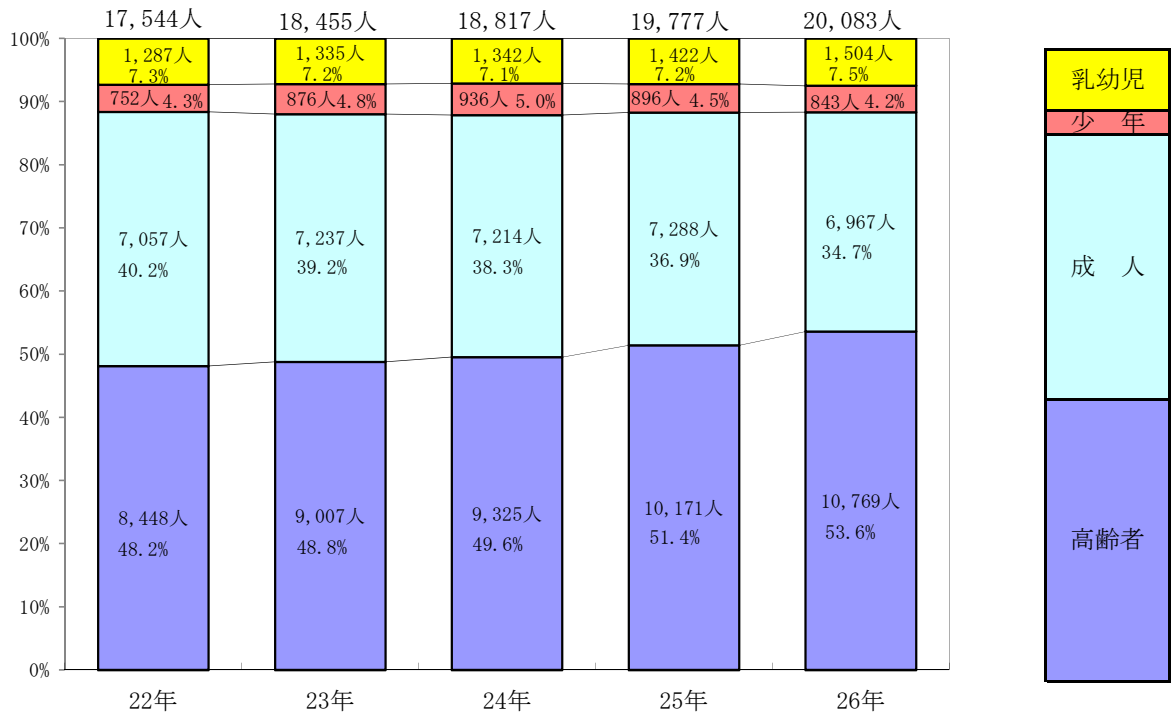
## 過去5年間の傷病程度別増減表



## 年齢別事故種別搬送状況

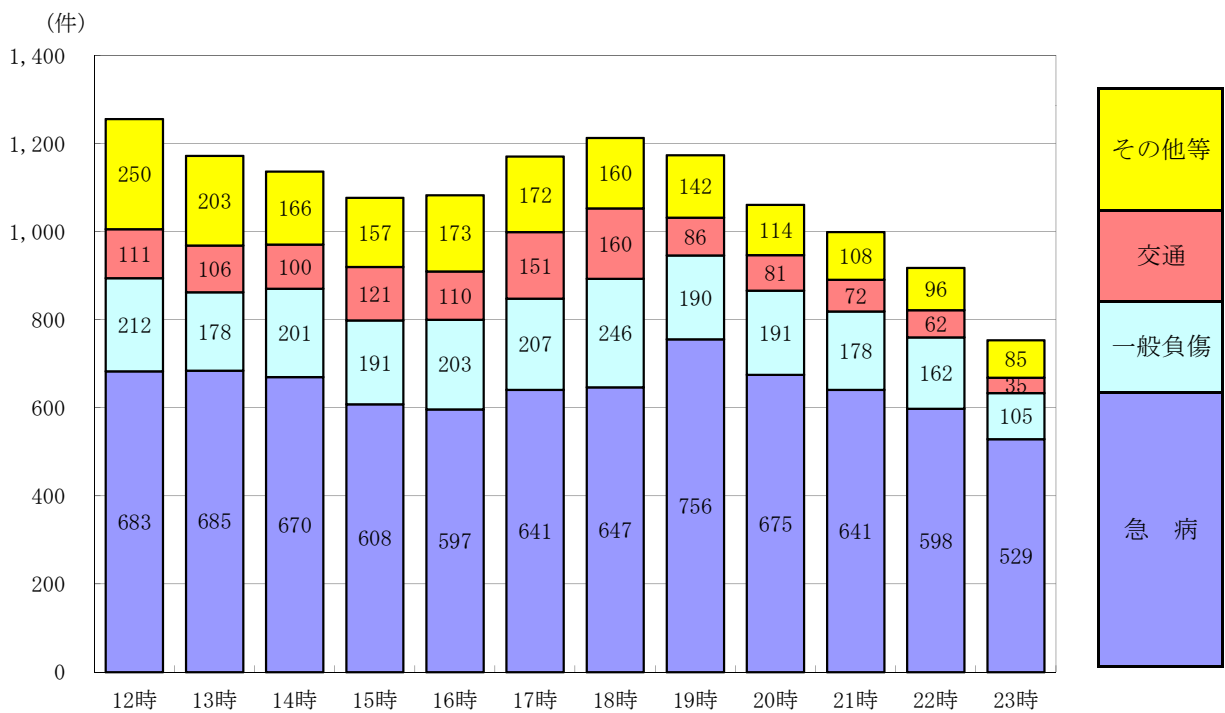
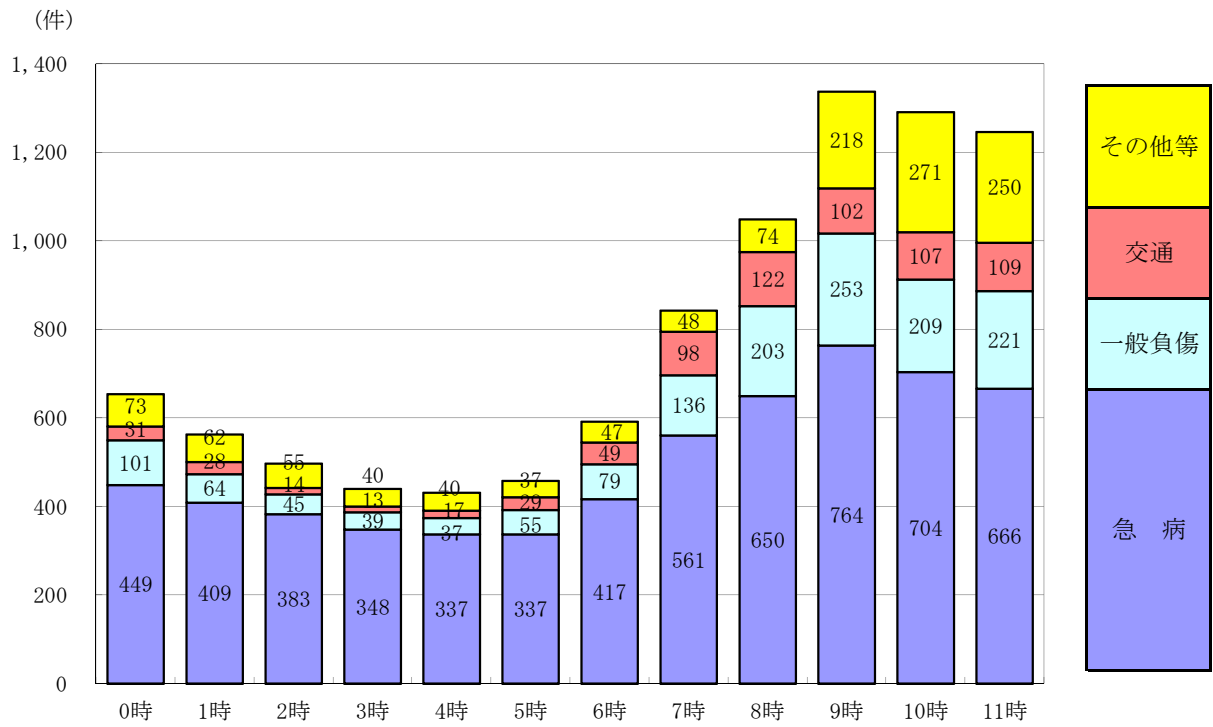


## 過去5年間の年齢別搬送構成比



乳幼児・・・満7歳未満  
 成人・・・満18歳以上  
 少年・・・満7歳以上満18歳未満  
 高齢者・・・満65歳以上

## 時間別出動状況



### 医療機関別搬送状況

(人)

医療機関別 区分	救急告示医療機関				その他の医療機関				合 計				その 他の 場所	合 計	
	国 ・ 公 立	公 的	私 的		国 ・ 公 立	公 的	私 的		国 ・ 公 立	公 的	私 的				計
			病 院	診 療 所			病 院	診 療 所			病 院	診 療 所			
	合 計														
合計	4,761	33	8,119	6	1,110	19	5,626	408	5,871	52	13,745	414	20,082	1	20,083
比率	64.3%				35.7%				29.5%		70.5%		100%	0	100%
市内	3,941	0	7,169	0	45	0	5,274	358	3,986	0	12,443	358	16,787	1	16,788
市外	820	33	950	6	1,065	19	352	50	1,885	52	1,302	56	3,295	0	3,295

### 隣接市との応援・被応援状況

医療機関別		出 動 件 数	出 動 人 員	出 動 台 数
合 計	応 援	24	79	24
	非応援	38	139	46
尼 崎 市	応 援	5	21	5
	非応援	11	45	15
宝 塚 市	応 援	4	13	4
	非応援	15	51	17
芦 屋 市	応 援	12	36	12
	非応援	8	27	9
神 戸 市	応 援	3	9	3
	非応援	3	13	4
そ の 他	応 援			
	非応援	1	3	1

## 救 急 車 の 走 行

区 分 隊 別		所 要 時 間			
		延所要時間	覚知～現場	現場滞在	現場～病院
		1件平均	1件平均	1件平均	1件平均
西宮市消防局					
西宮	本 署	55分38秒	8分10秒	16分47秒	6分25秒
	北夙川分署	60分12秒	8分00秒	15分44秒	9分17秒
鳴尾	本 署	51分33秒	7分06秒	16分48秒	6分42秒
	浜 分 署	59分39秒	8分20秒	18分22秒	7分50秒
瓦木	本 署	53分47秒	7分41秒	16分53秒	7分17秒
	甲東分署	63分59秒	8分31秒	17分07秒	9分13秒
北	本 署	78分44秒	10分02秒	17分24秒	15分24秒
	山 口 分 署	70分19秒	8分17秒	16分42秒	13分33秒
全体の平均		57分12秒	7分57秒	16分51秒	7分49秒

## 発 生 場 所 別 搬 送 人 員

場所 種別	住 宅	公衆出入場所	仕事場	道 路	その他	合 計
急 病	9,987	1,739	261	500	104	12,591
交通事故	29	26		1,726	22	1,803
一般負傷	2,020	677	29	575	124	3,425
上記以外	242	1,798	128	63	33	2,264
合 計	12,278	4,240	418	2,864	283	20,083

- ※ 1 発生場所とは、事故等の発生した場所又は傷病者のいた場所をいう。  
 2 「住宅」とは、一般住宅及び高層住宅等で住居としている場所をいう。  
 3 「公衆出入場所」とは、百貨店、映画館、旅館、学校、駅構内等の人の集まる場所をいう。  
 4 「道路」とは、一般道路、高速道路、交差点、歩道及び歩道橋をいう。  
 5 「その他」とは、上記以外で、公園、広場、空地、農地等をいう。なお、発生場所が不明のものを含むものとする。

## 観 察 ・ 処 置 実 施 状 況

### 1 救急隊による主な観察実施状況

事故種別 観察項目	急 病	一 般	交 通	その他等	合 計
血圧測定	11,637	2,958	1,726	2,050	18,371
心呼吸音聴診	5,719	868	687	715	7,989
血中酸素飽和度測定	12,241	3,256	1,773	2,173	19,443
心電図モニター	5,614	488	204	616	6,922

### 2 救急隊による主な処置実施状況

事故種別 処置内容	急 病	一 般	交 通	その他等	合 計
止血	87	221	71	45	424
固定	13	159	416	91	679
酸素投与	2,227	158	114	627	3,126
保温	676	143	101	151	1,071
創傷被覆	51	864	467	135	1,517
C P R	249	44	10	39	342

### 3 市民による救急車到着前の応急手当実施状況

合 計	本 人 ・ 家 族 等	知 人 ・ 同 僚 等	事 案 関 係 者	医 療 従 事 者	そ の 他
1,549	994	184	27	95	249

### 4 救急救命士が実施した主な救命処置状況（搬送された心肺停止者353人）

実施処置	気道確保	静脈路確保	除細動
実施件数	60 (5) (3)	74 (37)	28

※上段( )は気管挿管 ※( )は薬剤投与  
 ※下段( )はビデオ硬性挿管  
 用喉頭鏡を用いた気管挿管

## 救急隊員有資格者状況

(平成27年4月1日現在)

資格取得別	昨年度取得者数	現有資格者数
救急救命士 (就業前研修修了者)	5名	97名
気管挿管認定	6名	37名
薬剤投与認定	5名	71名
ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管挿管認定	7名	27名
救急隊員資格(250時間)	16名	333名
救急隊員資格(135時間)	0名	28名

※出向・再任用含む

## 各種研修実施状況

(平成26年度中)

研修種別	場所	回数	日(当務)数	派遣者数
第17回 日本臨床救急医学会	栃木県	1回	2日間	1人
第23回 全国救急隊員シンポジウム	神奈川県	1回	2日間	2人
第62回 兵庫JPTECプロバイダーコース	兵庫医科大学病院	1回	1日間	2人
近畿救急医学研究会 救急隊員部会	大阪市他	4回	4日間	延べ 18人
阪神地区消防長会 救急隊員研修会	西宮市	20回	20日間	延べ 557人
救急救命士再教育病院実習研修	兵庫医科大学病院 県立西宮病院 市立中央病院 西宮渡辺・心臓血管センター 明和病院 西宮協立病院 笹生病院	363回	延べ 95日間	53人
薬剤投与実習	兵庫医科大学病院 県立西宮病院 関西労災病院	2回	10当務	5人
気管挿管実習	県立西宮病院 明和病院	6回	/	6人
ビデオ硬性挿管用喉頭鏡 追加講習及び病院実習	兵庫県消防学校 県立西宮病院 明和病院	6回	延べ 24日	6人
救急現場実習研修	救急現場	138回	/	延べ 422人
救急救命士就業前研修	県立西宮病院 兵庫医科大学病院 関西労災病院	1回	延べ 50当務	5人
阪神・丹波地域 メディカルコントロール協議会 救急隊員研修会	兵庫医科大学病院	4回	4日間	延べ 85人
新規救急小隊長研修	西宮市	2回	2日間	6人
第20回 日本集団災害医学総会	東京都	1回	2日間	2人



# 市民に対する救急講習実施状況

## 1 救急講習会実施状況

年	区分	実施回数	受講対象数	受講者数	実施時間数	講師派遣数	出動台数
平成20年		387	383	9,328	933	989	215
平成21年		368	356	8,223	914	911	197
平成22年		347	333	6,740	942	900	196
平成23年		299	299	5,850	764	696	104
平成24年		334	334	6,153	801.5	773	116
平成25年		295	295	5,014	681.5	664	119
平成26年		316	316	7,022	707	659	120

## 2 所属別救急講習会実施状況

(平成26年中)

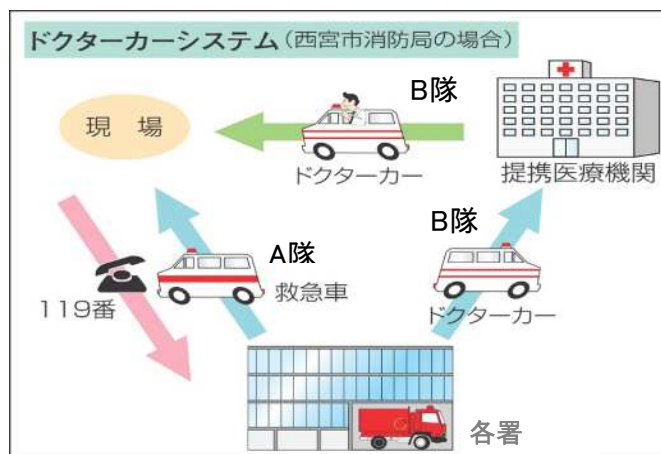
所属別	区分	実施回数	受講対象数	受講者数	修了証等数	実施時間数	講師派遣数	出動台数
合計		316	316	7,022	3,600	707	659	120
	指導	1	1	28	28	0	1	0
	普及	24	24	132	132	114	47	1
	普通	111	111	1,531	1,531	328.5	212	11
	入門	85	85	2,061	1,909	133	203	50
	救急	95	95	3,258	0	131.5	196	58
救急課	(小計)	47	47	882	593	158.5	77	5
	指導	1	1	28	28	0	1	0
	普及	24	24	132	132	114	47	1
	普通	8	8	196	196	24	13	1
	入門	9	9	237	237	13.5	11	0
	救急	5	5	289	0	7	5	3
西宮消防署	(小計)	77	77	1,422	748	158	137	15
	普通	29	29	392	382	87	49	4
	入門	23	23	368	366	36	36	3
	救急	25	25	662	0	35	52	8
本署	(小計)	39	39	908	465	83.5	47	6
	普通	17	17	232	223	51	21	0
	入門	12	12	244	242	19	15	2
	救急	10	10	432	0	13.5	11	4
北夙川分署	(小計)	38	38	514	283	74.5	90	9
	普通	12	12	160	159	36	28	4
	入門	11	11	124	124	17	21	1
	救急	15	15	230	0	21.5	41	4
鳴尾消防署	(小計)	40	40	672	302	84.5	61	11
	普通	18	18	241	240	53.5	27	2
	入門	6	6	113	62	9	14	3
	救急	16	16	318	0	22	20	6
本署	(小計)	28	28	451	165	59	35	6
	普通	12	12	140	140	35.5	14	1
	入門	4	4	76	25	6	7	1
	救急	12	12	235	0	17.5	14	4
浜分署	(小計)	12	12	221	137	25.5	26	5
	普通	6	6	101	100	18.0	13	1
	入門	2	2	37	37	3	7	2
	救急	4	4	83	0	4.5	6	2
瓦木消防署	(小計)	100	100	2,582	828	191	192	50
	普通	32	32	417	416	92	57	3
	入門	26	26	497	412	39.5	44	17
	救急	42	42	1,668	0	59.5	91	30
本署	(小計)	70	70	2,008	542	129.5	117	33
	普通	21	21	298	298	59	33	3
	入門	19	19	307	244	29	24	8
	救急	30	30	1,403	0	41.5	60	22
甲東分署	(小計)	30	30	574	286	61.5	75	17
	普通	11	11	119	118	33	24	0
	入門	7	7	190	168	10.5	20	9
	救急	12	12	265	0	18	31	8
北消防署	(小計)	52	52	1,464	1,129	115	192	39
	普通	24	24	297	297	72	66	1
	入門	21	21	846	832	35	98	27
	救急	7	7	321	0	8	28	11
本署	(小計)	28	28	923	627	60	115	25
	普通	13	13	156	156	39	43	0
	入門	9	9	471	471	14.5	51	16
	救急	6	6	296	0	6.5	21	9
山口分署	(小計)	24	24	541	502	55	77	14
	普通	11	11	141	141	33	23	1
	入門	12	12	375	361	20.5	47	11
	救急	1	1	25	0	1.5	7	2

普及：普及員講習(24時間 認定証交付)  
 普通：普通救命講習(3時間 修了証交付)  
 入門：救命入門コース(1.5時間 参加証発行)  
 救急：(上記以外の救急講習 修了証等対象外)

## 医師同乗制度（ドクターカーシステム）

医師同乗制度による出動状況

種別	分類	出 動 件 数	対 象		医 療 機 関 収 容 者	心 肺 停 止 者			現 場 死 亡 等	
			男	者		女	一 週 間 後 生 存 者	一 か 月 後 生 存 者		
合	計	144	89	144	55	132	86	5	1	12
脳	疾 患	4	3	4	1	4	0	0	0	0
心	疾 患	40	21	40	19	39	39	1	0	1
気	道 閉 塞	14	9	14	5	14	11	2	0	0
急	性 中 毒	0	0	0	0	0	0	0	0	0
溺	水	3	1	3	2	3	3	0	0	0
外	傷	34	26	34	8	34	8	1	1	0
呼	吸 器 系	4	2	4	2	4	1	0	0	0
精	神 神 経 系	0	0	0	0	0	0	0	0	0
悪	性 新 生 物	3	1	3	2	3	3	0	0	0
そ	の 他	42	26	42	16	31	21	1	0	11



### 搬送された全ての心肺停止者の救命効果

救急搬送された全ての心肺停止者数	
353	
内 1 週間後生存数	内 1 か月後生存数
29	18

## 救 急 出 動 状 況

区分 事故種別	出 動 件 数	傷 病 者 搬 送 件 数	傷 病 者 不 搬 送 件 数	搬 送 人 員			傷 病 程 度					出 動 人 員
				合 計	男	女	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	
合 計	22,416	19,930	2,486	20,083	9,844	10,239	159	905	7,264	11,754	1	68,631
火 災	17	15	2	22	10	12		2	11	9		54
自然災害	3	2	1	2	2					2		9
水 難	7	2	5	2	2					2		22
交 通	1,914	1,694	220	1,803	1,067	736	4	77	223	1,499		5,857
労働災害	155	151	4	151	129	22		13	39	99		476
運動競技	215	207	8	211	149	62		2	33	176		652
一般負傷	3,706	3,415	291	3,425	1,492	1,933	10	362	729	2,324		11,347
加 害	107	91	16	93	49	44	1	1	12	79		327
自損行為	210	148	62	148	44	104	9	10	74	55		641
急 病	13,755	12,577	1,178	12,591	6,081	6,510	129	275	4,823	7,364		42,106
そ の 他	2,327	1,628	699	1,635	819	816	6	163	1,320	145	1	7,140

### 救 急 隊 別 出 動 状 況

区 分 隊 別	出 動 件 数	傷 病 者 搬 送 件 数	傷 病 者 不 搬 送 件 数	搬 送 人 員			傷 病 程 度					出 動 人 員	
				合 計	男	女	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他		
合計	22,416	19,930	2,486	20,083	9,844	10,239	159	905	7,264	11,754	1	68,631	
西宮市消防局													
西宮消防署	小 計	9,218	8,133	1,085	8,199	3,961	4,238	53	411	2,870	4,865		28,463
	本 署	6,805	5,971	834	6,026	2,965	3,061	37	301	2,028	3,660		21,202
	北夙川分署	2,413	2,162	251	2,173	996	1,177	16	110	842	1,205		7,261
鳴尾消防署	小 計	7,024	6,238	786	6,278	3,063	3,215	60	272	2,256	3,689	1	21,319
	本 署	5,291	4,654	637	4,681	2,282	2,399	42	209	1,634	2,796		16,020
	浜 分 署	1,733	1,584	149	1,597	781	816	18	63	622	893	1	5,299
瓦木消防署	小 計	4,652	4,166	486	4,193	2,072	2,121	35	153	1,528	2,477		14,219
	本 署	2,838	2,509	329	2,524	1,263	1,261	22	82	895	1,525		8,730
	甲 東 分 署	1,814	1,657	157	1,669	809	860	13	71	633	952		5,489
北消防署	小 計	1,522	1,393	129	1,413	748	665	11	69	610	723		4,630
	本 署	773	708	65	719	393	326	5	30	257	427		2,346
	山 口 分 署	749	685	64	694	355	339	6	39	353	296		2,284

月別・休日・曜日別救急出動状況

区分 事故種別	合 計	月 別												合 計	休 日 ・ 曜 日 別						
		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月		日 曜 日	月 曜 日	火 曜 日	水 曜 日	木 曜 日	金 曜 日	土 曜 日
合計	22,416	2,006	1,712	1,889	1,743	1,800	1,753	1,955	2,004	1,802	1,762	1,891	2,099	22,416	3,251	3,269	3,209	3,212	3,131	3,097	3,247
火 災	17	4	3	2			2			2	1	1	2	17	4	4	2	1	3	1	2
自然災害	3										2		1	3		2		1			
水 難	7	1			1		1		1	1		1	1	7	2	2	1	1		1	
交 通	1,914	152	117	166	166	170	149	188	167	143	153	176	167	1,914	235	264	293	265	254	294	309
労働災害	155	13	11	13	7	3	17	16	29	11	11	12	12	155	10	32	22	25	24	27	15
運動競技	215	7	5	22	21	23	17	30	29	15	18	16	12	215	67	20	23	24	14	20	47
一般負傷	3,706	308	280	310	294	274	275	293	307	336	293	346	390	3,706	604	537	494	485	506	507	573
加 害	107	10	6	5	10	9	11	9	9	18	8	6	6	107	21	14	16	19	11	12	14
自損行為	210	21	25	22	12	18	15	17	21	15	13	21	10	210	33	26	33	37	25	27	29
急 病	13,755	1,290	1,100	1,155	1,068	1,104	1,092	1,202	1,224	1,067	1,060	1,124	1,269	13,755	2,050	1,998	1,953	2,010	1,954	1,852	1,938
そ の 他	2,327	200	165	194	164	199	174	200	217	194	203	188	229	2,327	225	370	372	344	340	356	320



# 救 助 統 計



消防救助技術近畿地区指導会





## 救 助 の 概 要

平成 26 年中の救助出動件数は 326 件、救助活動件数は 205 件、救助人員は 164 人となっている。前年と比較すると、出動件数、活動件数ともに 22 件減少している。また、救助人員は 42 人減少している。

### 1 出動件数

出動件数を事故種別で見ると、建物事故 134 件(42%)、交通事故 44 件(13%)、火災 10 件(3%)、水難事故 8 件(2%)、ガス・酸欠事故 4 件(1%)、機械事故 3 件(1%)、自然災害 1 件(1%)、その他の事故 122 件(37%)、となっている。

前年と比較すると、火災で 5 件、交通事故で 2 件、建物事故で 2 件増加し、水難事故で 3 件、自然災害で 1 件、ガス・酸欠事故で 4 件、その他の事故で 23 件減少している。

### 2 活動件数

活動件数を事故種別で見ると、建物事故 114 件(56%)、交通事故 17 件(8%)、火災 10 件(5%)、水難事故 5 件(2%)、ガス・酸欠事故 3 件(1%)、機械事故 2 件(1%)、自然災害 1 件(1%)、その他の事故 53 件(26%)、となっている。

前年と比較すると、火災で 5 件、建物事故で 2 件増加し、交通事故で 4 件、機械事故で 1 件、ガス・酸欠事故で 4 件、その他の事故で 20 件減少している。

### 3 救助人員

救助人員を事故種別で見ると、建物事故 108 人(66%)、交通事故 17 人(10%)、火災 7 人(4%)、水難事故 4 人(2%)、機械事故 3 人(2%)、自然災害 1 人(1%)、その他の事故 24 人(15%)となっている。

前年と比較すると、自然災害で 1 人増加し、火災で 1 人、交通事故で 9 人、水難事故で 1 人、機械事故で 3 人、建物事故で 13 人、ガス・酸欠事故で 4 人、その他の事故で 12 人減少している。

## 救 助 出 動 状 況

事故種別 救助隊別		合	火	交	水	自	機	建	ガ	破	そ
		計	災	通	難	然	械	物	ス	裂	の
				事	事	災	事	事	・	事	事
				故	故	害	故	故	酸	故	故
									欠		
									事		
									故		
合 計	出動件数	326	10	44	8	1	3	134	4		122
	活動件数	205	10	17	5	1	2	114	3		53
	救助人員	164	7	17	4	1	3	108			24
	出動台数	886	131	132	45	3	6	268	9		292
	出動人員	3,277	539	471	169	10	20	959	38		1,071
西 宮	出動件数	124	2	17	2			49	3		51
	活動件数	73	2	6	2			42	2		19
	救助人員	65		8	1			44			12
	出動台数	307	27	46	12			93	6		123
	出動人員	1,199	94	174	46			373	25		487
鳴 尾	出動件数	93	3	6	2		3	52			27
	活動件数	64	3	2	1		2	45			11
	救助人員	57	5	2	1		3	41			5
	出動台数	239	44	12	12		6	101			64
	出動人員	833	156	52	44		20	340			221
瓦 木	出動件数	73	5	4	4			25	1		34
	活動件数	48	5	2	2			20	1		18
	救助人員	27	2	2	2			16			5
	出動台数	226	60	13	21			49	3		80
	出動人員	878	289	45	79			167	13		285
北	出動件数	36		17		1		8			10
	活動件数	20		7		1		7			5
	救助人員	15		5		1		7			2
	出動台数	114		61		3		25			25
	出動人員	367		200		10		79			78

## 発 生 場 所 別 出 動 状 況

発生場所別		事故種別	合 計	火 災		交 通	水 難	自 然	機 械	建 物	ガ ス ・ 酸 欠	破 裂	そ の 他	
				建 物	建 物 以 外									
合 計			326	10		44	8	1	3	134	4		122	
屋 内	住 居		212	8					1	125	1		77	
	その他の屋内		20	2					1	8	2		7	
屋 外	道 路	名 神 高 速	1			1								
		中国自動車道	4			4								
		山陽自動車道												
		阪 神 高 速												
		一 般 道 路	39			31								8
	内 水 面	河 川	7					4						3
		湖 ・ 沼												
		池	1					1						
		プ ー ル												
		そ の 他												
	外 水 面	海	2					1						1
		そ の 他												
		山 岳	7											7
		その他	33			8	2	1	1	1	1	1		19
	地 下													
	そ の 他													

## 月別救助出動状況

区分 月別	出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員	事 故 種 別									覚 知 別			
				火 災	交 通	水 難	自 然	機 械	建 物	ガ ス ・ 酸 欠	破 裂	そ の 他	一 九	加 入	駆 付	そ の 他
合計	326	205	164	10	44	8	1	3	134	4		122	229	54	4	39
1月	25	18	14	2	4	1			14			4	14	4	2	5
2月	36	25	20	2	4			1	18			11	24	8		4
3月	35	18	15	2	9				10			14	25	7		3
4月	21	15	13					1	12			8	14	3		4
5月	25	16	15		4				8			13	16	6		3
6月	18	11	11	1	2	1		1	7			6	15	1		2
7月	23	15	12		4				12	1		6	17	5		1
8月	30	17	14		2	3	1		12			12	24	4		2
9月	27	16	13	1	4	1			9	1		11	17	6		4
10月	33	19	9	1	5	1			13	1		12	22	3		8
11月	23	14	13		2	1			8			12	19	2	1	1
12月	30	21	15	1	4				11	1		13	22	5	1	2

### 3 年 比 較 救 助 出 動 状 況

年 別		平成 2 6 年		平成 2 5 年		平成 2 4 年	
区 分	年 別						
出 動 件 数		3 2 6 件		3 4 8 件		3 2 8 件	
事 故 種 別	火 災	1 0 件	3.0%	5 件	1.0%	8 件	2.0%
	交 通	4 4 件	13.0%	4 2 件	12.0%	4 8 件	15.0%
	水 難	8 件	2.0%	1 1 件	3.0%	1 2 件	4.0%
	自 然	1 件	1.0%	2 件	1.0%		
	機 械	3 件	1.0%	3 件	1.0%	2 件	1.0%
	建 物	1 3 4 件	42.0%	1 3 2 件	38.0%	1 5 1 件	46.0%
	ガ ス ・ 酸 欠	4 件	1.0%	8 件	2.0%	3 件	1.0%
	破 裂						
	そ の 他	1 2 2 件	37.0%	1 4 5 件	42.0%	1 0 4 件	31.0%
活 動 件 数		2 0 5 件		2 2 7 件		2 1 2 件	
事 故 種 別	火 災	1 0 件	5.0%	5 件	2.0%	8 件	4.0%
	交 通	1 7 件	8.0%	2 1 件	9.0%	1 9 件	9.0%
	水 難	5 件	2.0%	5 件	2.0%	7 件	3.0%
	自 然	1 件	1.0%	1 件	1.0%		
	機 械	2 件	1.0%	3 件	1.0%		
	建 物	1 1 4 件	56.0%	1 1 2 件	49.0%	1 2 7 件	60.0%
	ガ ス ・ 酸 欠	3 件	1.0%	7 件	3.0%	3 件	2.0%
	破 裂						
	そ の 他	5 3 件	26.0%	7 3 件	32.0%	4 8 件	22.0%
救 助 人 員		1 6 4 人		2 0 6 人		1 8 4 人	
事 故 種 別	火 災	7 人	4.0%	8 人	4.0%	2 人	1.0%
	交 通	1 7 人	10.0%	2 6 人	13.0%	2 2 人	12.0%
	水 難	4 人	2.0%	5 人	2.0%	5 人	3.0%
	自 然	1 人	1.0%				
	機 械	3 人	2.0%	6 人	3.0%		
	建 物	1 0 8 人	66.0%	1 2 1 人	59.0%	1 2 6 人	68.0%
	ガ ス ・ 酸 欠			4 人	2.0%	1 人	1.0%
	破 裂						
	そ の 他	2 4 人	15.0%	3 6 人	17.0%	2 8 人	15.0%
内 訳	男 性	1 0 0 人		1 0 5 人		9 4 人	
	女 性	6 4 人		1 0 1 人		9 0 人	
出 動 台 数		8 8 6 台		8 8 9 台		8 9 0 台	
出 動 人 員		3 , 2 7 7 人		3 , 2 2 4 人		3 , 1 8 8 人	

### 隣接都市救助応援(被応援)出動状況

都市名	区分	出動件数	出動台数	出動人員	救助人員
	合計		3 17	12 81	44 278
尼崎市		2	11	41	1
		10	58	199	10
宝塚市		1	1	3	0
		5	17	56	0
芦屋市		0	0	0	0
		2	6	23	0
神戸市		0	0	0	0
		0	0	0	0

上段は応援、下段は被応援を示す

### 緊急消防援助隊等出動状況

出動場所	区分	月日	出動車両	出動人員
(この表は空欄です)				

### 所属別消防用空気・酸素等容器保有状況

(平成27年4月1日現在)

所属別		空気容器						酸素容器			アセチレン
		合計	4.7ℓ	6.8ℓ	8.4ℓ	10ℓ	15ℓ	合計	4ℓ	6ℓ	3ℓ
合計		451	10	374	23	24	20	7	1	6	0
局		2	2								
西宮	本署	10 98				5	5	2		2	
	北夙川	29	2	27							
鳴尾	本署	10 60				5	5	2		2	
	浜	19		19							
瓦木	本署	16 64				12	4	1	1		
	甲東	25		25							
北	本署	8 77				2	6	2		2	
	山口	33	2	27	4						

下段は軽量容器を示す

## 主な救助器具配置状況

(平成27年4月1日現在)

救助器具	合計	局	西宮	鳴尾	瓦木	北
かぎ付はしご	16		4	4	4	4
三連はしご	19		5	4	5	5
金属製折りたたみはしご等	4		1	1	1	1
空気式救助マット	4		1	1	1	1
救命索発射銃	4		1	1	1	1
救助用縛帯	25		6	9	5	5
油圧ジャッキ	15		5	4	4	2
油圧スプレッダー	19	1	6	5	5	2
可搬式ウインチ	8		2	2	2	2
マンホール救助器具	4		1	1	1	1
エンジンカッター	26		8	6	7	5
ガス溶断機	4		1	1	1	1
チェーンソー	24		5	5	8	6
各種ガス酸素濃度測定器	12		3	3	3	3
危険物同定装置一式	1		1			
空気呼吸器	133		35	31	41	26
投光器一式	30		9	3	8	10
隊員用自動携帯警報器	133		35	31	41	26
画像探索機型	1		1			
画像探索機型	4		1	1	1	1
地中音響探索機	1		1			
熱画像直視装置	12		3	3	3	3
夜間用暗視装置	2	1	1			
地震警報器	1		1			
放射線防護服	5		2	3		
潜水器具一式	20		5	5	5	5
救命ボート	9		3	1	3	2
船外機	3		1	1	1	
バスケット担架	5		1	2	1	1
マット型空気ジャッキ	4		1	1	1	1
大型油圧スプレッダー	4		1	1	1	1
大型油圧切断機	4		1	1	1	1
削岩機	18	1	5	4	4	4
ハンマードリル	13		4	3	4	2
携帯コンクリート破壊器具	6		1	2	1	2
*放射線測定器	52	34	9			9
*化学防護服	20		5	5	5	5
送排風機	6		3	1	1	1
緩降機	11		3	3	2	3
超音波水中無線機	2		2			
*除染シャワー	2		1			1
チェーンブロック	2		2			
簡易画像探索機	1		1			
*有毒ガス検知管	2		1			1

\*については、消防庁から借受しているものも含む





# 消 防 通 信



通信指令室



## 指令業務の概要

### 1 通信施設保守整備の推進

#### (1) 無線設備

ア 署活動無線機を42台購入（更新21台、新規21台）したことにより、総数251台となった。

イ 携帯型無線機等のバッテリーの老朽化に伴い、リチウム電池（114個）を購入した。

#### (2) 有線設備

情報送受信等における通信網確保のため、老朽化した整備センター、瓦木消防署、浜分署のファクシミリを更新を行った。

#### (3) 防災サイレンの保守点検

各署に設置した防災サイレンの点検を行い、バッテリーの交換等により保守管理に努め有事に備えた。

### 2 通信業務対応能力の向上

#### (1) 各種システムの取扱い

救急医療情報システム及び位置情報通知システム等により、迅速かつ正確な情報収集及び伝達を図った。

#### (2) 研修

ア 口頭指導技術の向上を図るため、救急救命士による研修とともに阪神地区消防長会救急隊員研修会の受講並びに実技研修を行った。

イ 発生した災害をもとに検討会を実施し、災害対応力の強化を図った。

ウ 各種災害を想定したシミュレーション訓練を実施した。

エ 所属職員に、消防緊急情報システムの円滑な取扱技術の習得を図るため取扱研修を実施した。

オ 人事異動に伴い、局内職員を対象とした非常順次通報装置による非常招集伝達訓練を実施し、機器の取扱い及び応答要領等の習熟に努めた。

カ 各署の月別警防訓練に併せて、出動指令及び無線交信訓練等を実施し、災害対応能力の向上に努めた。

キ 異動転入者を対象に各機器の操作研修を実施し、技術の早期習熟を図った。

ク 119番分散受信訓練を実施し、指令課の119番回線遮断時の対応能力の習得を図った。

#### (3) 広報

消防情報（災害情報、119番のかけ方等）、病院情報等をテレホンサービスや市政ニュース、さくらFM等の媒体を利用した広報を行い、適正な119番通報の認識の普及に努めた。

### 3 消防緊急情報システムの運用管理等

#### (1) 消防緊急情報システムの運用管理

指令業務の障害レベル決定基準及びその対応を策定するとともに、システム障害を想定したマニュアル指令訓練を実施し、指令課員のシステム復旧までの対応技術並びに危機管理体制のより一層の向上を図った。

#### (2) 各種支援情報の更新及び維持

システムの機能を最大限に発揮、活用するために水利、道路情報等の各種支援情報を随時更新するとともに、地図検索装置の地図情報を定期的に更新した。

#### (3) 消防緊急情報システムの維持

年間計画により、システム機器類の定期点検を行い、障害発生の予防及び障害発生時の早期復旧対応の確立を図った。

### 4 消防救急無線のデジタル化

消防救急無線デジタル化移行工事を完了した。また消防救急無線デジタル化に併せて、陸上移動局等の識別信号を整理した。

## 消防通報用電話（119番）受信状況

種別	緊急通報							照会						その他				総 受 信 件 数	1 日 平 均	テ ス ト	テ ス ト を 含 む 総 計	1 日 平 均		
	小 計	火 災	救 急	救 助	水 防	事 故	そ の 他	小 計	火 災	救 急	救 助	水 防	事 故	そ の 他	病 院 照 会	小 計	間 違 い						いた ず ら	そ の 他
1月	1,965	21	1,901	11		24	8	764	1	18			1	3	741	491	155	45	291	3,220	104	151	3,371	109
	616	6	603	1		6		265		4			1		260	85	25	3	57	966		4	970	
	659	10	631	7		8	3	334	1	8				1	324	222	82	26	114	1,215		24	1,239	
2月	1,686	16	1,638	13		18	1	523		16	1		1	1	504	339	120	33	186	2,548	91	82	2,630	94
	587	6	572	7		2		201		6				195	51	16	3	32	839	13		852		
	560	10	535	5		10		221		5	1		1		214	173	75	18	80	954		5	959	
3月	1,896	28	1,832	14		15	7	641	1	21	1		1	10	607	420	164	53	203	2,957	95	170	3,127	101
	614	6	599	2		4	3	231		4			1	3	223	82	31	4	47	927		10	937	
	647	16	612	10		5	4	296	1	10	1			6	278	234	105	38	91	1,177		20	1,197	
4月	1,742	26	1,671	15		19	11	496		15				2	479	415	112	57	246	2,653	88	183	2,836	95
	532	3	518	5		5	1	167		6				1	160	80	21	1	58	779		9	788	
	656	18	612	8		10	8	224		7					217	215	64	37	114	1,095		34	1,129	
5月	1,760	22	1,710	10		14	4	555		9				2	544	455	116	61	278	2,770	89	154	2,924	94
	551	5	541	1		4		203		4				2	197	74	14	4	56	828		19	847	
	627	16	598	5		7	1	239		4					235	239	73	36	130	1,105		19	1,124	
6月	1,740	35	1,670	13		20	2	435		6				1	428	554	147	60	347	2,729	91	137	2,866	96
	550	10	534	4		2		154		1				153	96	19	2	75	800	18		818		
	653	14	620	7		10	2	198		3				1	194	263	94	35	134	1,114		15	1,129	
7月	1,899	17	1,849	12		19	2	481		7				4	470	518	165	55	298	2,898	93	112	3,010	97
	574	5	561	2		6		141		3				138	90	17	2	71	805	6		811		
	715	9	688	8		10		239		2				3	234	286	104	38	144	1,240		16	1,256	
8月	2,160	35	1,940	14	110	43	18	527	1	1				9	516	696	174	83	439	3,383	109	43	3,426	111
	673	11	631	1	13	14	3	218						3	215	136	31	6	99	1,027		7	1,034	
	793	18	724	10	8	21	12	236	1					4	231	360	114	68	178	1,389		4	1,393	
9月	1,603	4	1,566	10		21	2	523		2				2	519	529	144	37	348	2,655	89	111	2,766	92
	532	1	522	1		7	1	200		2				1	197	87	22	6	59	819		17	836	
	473	3	450	8		12		219							219	259	87	17	155	951		6	957	
10月	1,703	9	1,655	13	1	22	3	463	1	5					457	511	172	47	292	2,677	86	141	2,818	91
	551	3	537	3		8		164		1					163	87	26	3	58	802		26	828	
	646	4	620	9	1	11	1	224							224	263	115	26	122	1,133		12	1,145	
11月	1,877	15	1,836	12		10	4	555	1	9				3	542	406	143	32	231	2,838	95	163	3,001	100
	553	3	542	3		3	2	164		2				162	70	21	5	44	787	29		816		
	695	7	678	5		4	1	265	1	7				2	255	209	88	13	108	1,169		16	1,185	
12月	2,079	19	2,009	11		31	9	745	5	10	1			5	724	457	172	29	256	3,281	106	179	3,460	112
	647	8	628	1		8	2	272		3	1			2	266	106	36	2	68	1,025		12	1,037	
	752	4	720	9		18	1	333	1	5				2	325	221	101	12	108	1,306		46	1,352	
合計	22,110	247	21,277	148	111	256	71	6,708	10	119	3		3	42	6,531	5,791	1,784	592	3,415	34,609	95	1,626	36,235	99
	6,980	67	6,788	31	13	69	12	2,380		36	1		2	12	2,329	1,044	279	41	724	10,404		170	10,574	
	7,876	129	7,488	91	9	126	33	3,028	5	51	2		1	19	2,950	2,944	1,102	364	1,478	13,848		217	14,065	
1日 平均	60.6	0.7	58.3	0.4	0.3	0.7	0.2	18.3		0.3				0.1	17.9	15.9	4.9	1.6	9.4	94.8		5	99	
割合 %	63.9	0.7	61.5	0.4	0.3	0.7	0.2	19.3		0.3				0.1	18.9	16.6	5.2	1.7	9.8	99.8		4		

(注) 上段は119番総受信件数、中段はIP電話の119番受信件数内数、下段は携帯電話の119番受信件数内数  
種別～その他のその他は、通報訓練・緊急通報のテスト及び誤作動等  
「水防」は、防災指令第1号以上を言う。  
最下段の1日平均及び割合については、小数点第2位以下は切捨て。

# 消防通信施設の状況

平成27年4月1日現在

区分 所属	119 報知専用 電話線本	加入電話										消防電話					指令					無線 情報伝送 システム （統合型） 式	無線設備																	
		一般		医療情報		消防テレホン		非常順次通報		衛星		自衛		業務		指令		直通		消防団			位置情報		高所監視		現場映像		気象情報		衛星通信		陸上移動局						携帯局	
		本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本		本	本	式	式	式	式	式	式	局	局	台	台	台	台	台	台		
合計	18	4	75	33	14	5	29	64	3	1	273	38	6	9	9	5	38	6	1	1	2	1	3	9	2	114	7	2	86	22	251	26								
消防局	18	4	36	5	5	5	29	12	2	1	82		6	1	1		1		1	1	1	1	3	1	1	10	3	1	24	6	29	1								
整備センター			3		1		6				6	2													8			8												
西宮			5		1		8				34	2		1	1									1	10	1		12	2	46	1									
北夙川			4		1		4				15	2		1	1									1	5			6	2	22	1									
鳴尾			5		1		8				26	2		1	1									1	9	1		2	39	12										
浜			4		1		3				15	4		1	1									1	5			2	17	7										
瓦木			5		1		6				22	2		1	1									1	9	1		11	2	33	1									
甲東			4		1		4				14	2		1	1									1	5			6	2	17	1									
北			5		1		8	1			25	2		1	1							1	1	1	9	1		13	2	31	1									
山口			4		1		4				15	2		1	1									1	5	1		6	2	17	1									
市役所											2											2																		
水道局																				1																				
消防団																	37								39															
医療機関			28				1				17	16																												
警察署																				2																				
大阪ガス																				1																				
高速道路																																								
西宮北有料道路																																								
西宮市医師会																																								
その他											2											1																		

一般加入には、発信及び着信専用も含む  
 一般加入の下段は、分散受信システム回線数（内書）  
 119転送回線は、受信専用回線

## 署活動用無線機交信状況

署活系 (400MHz帯)	チャンネル							
	所属	1CH	2CH	3CH	4CH	5CH	6CH	合計
	消防局	92	92	16	16	16	16	248
	西宮消防署	4,334	24,294	1,505	1,505	1,499	1,496	34,633
	北夙川分署	1,593	8,284	841	865	523	523	12,629
	鳴尾消防署	8,978	22,254	6,705	6,736	5,990	5,973	56,636
	浜分署	4,298	6,319	2,533	2,570	2,540	2,540	20,800
	瓦木消防署	9,992	13,354	5,448	5,454	3,731	3,372	41,351
	甲東分署	4,049	8,485	1,448	807	235	293	15,317
	北消防署	7,132	6,897	2,090	2,336	1,511	1,055	21,021
	山口分署	3,787	5,011	1,253	1,543	675	540	12,809
	合計	44,255	94,990	21,839	21,832	16,720	15,808	215,444

### 気象情報等月別発令状況

種別	月別												合計	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
警報	大雨							11		2			13	
	洪水							5		2			7	
	暴風							1		6			7	
	波浪							1		6			7	
	高潮									1			1	
	大雪												0	
	津波													0
小計	0	0	0	0	0	0	0	18	0	17	0	0	35	
注意報	大雨			3	1	2	5	2	14	8	6		41	
	洪水			3		2	4	1	5	6	6		27	
	強風	4	5	11	9	14	2	1	14	1	10	5	13	89
	波浪	4	5	11	7	14	2	1	14	2	10	5	13	88
	高潮								3	1	3		7	
	津波													0
	大雪		2											2
	風雪		2											2
	着雪		2											2
	なだれ													0
	濃霧		2			3						1		6
	低温	1	1											2
	雷	4			7	11	21	27	39	17	15	4	5	150
	霜				2									2
乾燥	5	2		6	13				4	3	4	7	44	
着氷													0	
小計	18	21	28	32	59	34	32	89	39	53	19	38	462	
情報	雨		2	13	4		7		31	12			69	
	雪	14	25		4							24	67	
	雷			6	9	7	3	13	24	10			72	
	高波	9	13	5			1		1	2		4	35	
	低温												0	
	台風							11		21			32	
	梅雨												0	
	強風		2	5	4	6	10	24	27	13		4	11	106
	寒気													0
	春一番													0
	気圧配置													0
	津波													0
	地震			1	2	1			2			4	3	13
	日照不足													0
	その他	3	2	12				8	21	2	5	1		54
火災気象通報	6	6	7	2	4				3	1	4	12	45	
光化学スモッグ													0	
小計	32	50	49	25	18	21	45	117	42	27	17	50	493	
合計	50	71	77	57	77	55	77	224	81	97	36	88	990	

### 発令された防災指令

緊急出動指令														0
応急対策指令										1				1
水防指令第1号								2		1				3
国土大臣が発する水防警報														0
合計	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0		4

## テレホンサービス利用状況

月別	利用件数	1日平均 利用件数	利 用 状 況		
			災害情報利用数	病院情報利用数	消防情報利用数
1月	580	19	136	368	76
2月	506	18	160	270	76
3月	604	19	251	243	110
4月	467	16	158	220	89
5月	650	21	261	279	110
6月	684	23	340	225	119
7月	681	23	244	299	138
8月	722	23	324	258	140
9月	484	16	154	276	54
10月	409	13	162	193	54
11月	472	15	186	234	52
12月	711	23	275	350	86
合 計	6,970	19	2,651	3,215	1,104

- 1 病 院 情 報 宿直病院案内(毎 日)17:00～翌朝8:00  
日直病院案内(土 曜)11:00～17:00「平成10年8月1日開始」  
日直病院案内(休・祝日)8:00～17:00
- 2 消 防 情 報 24時間
- 3 災 害 情 報 災害(建物・林野・車両火災)発生時随時



# 車 両 整 備



水槽付消防ポンプ自動車



## 車 両 整 備 の 概 要

平成26年度においては、車両の購入に伴う車両の設計及び配置と車両継続検査及び定期点検等の自家整備を実施し整備業務の充実を図った。

### 車 両 の 購 入

車両更新計画に基づき、連絡車1台、水槽付消防ポンプ自動車1台、活動支援車3台、活動支援車（無線支援車）1台、高規格救急自動車2台、指揮広報車2台を更新購入し、消防及び救急救助体制の充実強化を図った。

- (1) 水槽付消防ポンプ自動車  
瓦木消防署水槽付消防ポンプ自動車を購入した。
- (2) 救急車  
鳴尾消防署、山口分署救急車を購入した。
- (3) 活動支援車  
消防局総務課、西宮消防署、甲東分署活動支援車を購入した。
- (4) 活動支援車（無線支援車）  
消防局指令課活動支援車（無線支援車）を購入した。
- (5) 指揮広報車  
西宮消防署、瓦木消防署指揮広報車を購入した。
- (6) 連絡車  
整備センター連絡車を購入した。

車 種 別	車 名	配 置 年 月 日	配 置 場 所	購 入 別
連 絡 車	局10	平成26年 8月6日	整備センター	更 新
活 動 支 援 車	甲東7	平成26年 9月22日	甲東分署	更 新
活 動 支 援 車	西宮7	平成26年10月 6日	西宮消防署	更 新
活動支援車（無線支援車）	局4	平成26年10月20日	指令課	更 新
活 動 支 援 車	局6	平成26年10月20日	総務課	更 新
救 急 車	山口9	平成26年10月28日	山口分署	更 新
指 揮 広 報 車	西宮8	平成26年11月25日	西宮消防署	更 新
指 揮 広 報 車	瓦木8	平成26年11月25日	瓦木消防署	更 新
水槽付消防ポンプ自動車	瓦木2	平成27年 1月21日	瓦木消防署	更 新
救 急 車	鳴尾19	平成27年 3月20日	鳴尾消防署	更 新

## 点 検 整 備 等

【単位：台】

整備別 所属別		車検整備	定 期 点 検 整 備			毎月点検整備
			大 型	普通・軽	計	
合 計		33	56	75	131	1,178
消 防 局		10	9	22	31	223
西 宮	小 計	8	8	15	23	245
	本 署	5	8	8	16	147
	北夙川	3	0	7	7	98
鳴 尾	小 計	5	17	11	28	219
	本 署	2	11	7	18	136
	浜	3	6	4	10	83
瓦 木	小 計	3	13	13	26	235
	本 署	2	9	8	17	137
	甲 東	1	4	5	9	98
北	小 計	7	9	14	23	256
	本 署	4	6	10	16	148
	山 口	3	3	4	7	110

# 消 防 団



消防操法大会



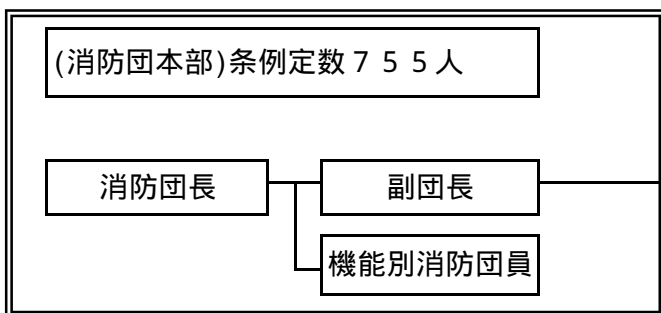
## 西宮市消防団の沿革

明治初期	西宮港沖仲仕が消防組的作業に従事
明治10年4月	沖仲仕と大工組合合同で西宮町火防組設置
明治20年	西宮町公認により、西宮警察署長の指揮下に属す。 役員、組織等を完備し、用具、服装の整備を町費で維持
明治27年2月	勅令(第15号)消防組規則施行に基づき西宮町消防組創設
大正14年4月	市制施行に基づき西宮市消防組と改称
昭和14年7月	勅令(第20号)警防団令施行に基づき西宮市警防団に改組。本部は西宮警察署に設置、9分団で発足。
昭和16年2月	武庫郡甲東村と合併、西宮市警防団11分団となる。
昭和17年5月	武庫郡瓦木村と合併、西宮市警防団14分団となる。
昭和22年9月	警防団を廃止、西宮市消防団結成
昭和26年4月	武庫郡鳴尾村、有馬郡山口村、塩瀬村が西宮市と合併、西宮市消防団26分団となる。
昭和40年4月	西宮市消防団甲東分団を3分団に改編、28分団となる。
昭和53年4月	西宮市消防団水上分団を廃止し、1本部27分団となる。
昭和56年4月	西宮市消防団夙川・甲東第1・甲東第2・甲東第3・瓦木・東北分団を改編し、1本部33分団となる。
平成2年4月	消防団組織強化のため、分団所管地区を7地区に改編
平成5年3月	被服等貸与規程を改正し、法被を廃止
平成8年4月	消防団事務を市民局から消防局に移管
平成8年11月	瓦木分団車庫竣工
平成9年4月	消防団車両に車載無線機(消防第2市波)を装備 消防緊急情報システムに連動した消防団緊急伝達装置を導入
平成10年9月	防災資機材(8品目)を33分団に配置完了(4年計画)
平成11年2月	建石分団車庫竣工
平成11年3月	高木分団車庫竣工
平成12年2月	甲子園口分団車庫竣工
平成15年3月	名塩分団木之元班車庫竣工
平成16年3月	浜脇分団車庫竣工
平成17年4月	消防署の管轄区域に準じ、分団所管地区を改編
平成18年12月	生瀬分団西車庫竣工
平成20年6月	機能別消防団員制度発足

平成 2 2 年 3 月	越木岩分団車庫竣工
平成 2 3 年 1 2 月	下山口分団車庫竣工
平成 2 5 年 6 月	西宮市消防団に初の女性消防団員が入団
平成 2 5 年 1 2 月	津門分団車庫竣工
平成 2 6 年 1 2 月	鳴尾北分団車庫竣工



# 消防団の組織



消防分団配置状況



- |        |       |
|--------|-------|
| 浜脇分団   | 本庁南地区 |
| 用海分団   |       |
| 建石分団   |       |
| 今津分団   |       |
| 津門分団   | 本庁北地区 |
| 安井分団   |       |
| 大社分団   |       |
| 芦原分団   |       |
| 夙川分団   | 甲東地区  |
| 越木岩分団  |       |
| 段上分団   |       |
| 門戸分団   |       |
| 上ヶ原分団  | 瓦木地区  |
| 下大市分団  |       |
| 神呪分団   |       |
| 上大市分団  |       |
| 高木分団   | 鳴尾地区  |
| 瓦木分団   |       |
| 甲子園口分団 |       |
| 上甲子園分団 |       |
| 鳴尾中分団  | 山口地区  |
| 鳴尾西分団  |       |
| 鳴尾北分団  |       |
| 小松分団   |       |
| 小曽根分団  | 塩瀬地区  |
| 鳴尾東分団  |       |
| 名来分団   |       |
| 下山口分団  |       |
| 上山口分団  |       |
| 中野分団   |       |
| 船坂分団   |       |
| 生瀬分団   |       |
| 名塩分団   |       |

# 消 防 団 自 動 車 現 況

(平成27年4月1日現在)

区分 分団	車名年式	購入年月日	車 齢 (年)	車両総重量 (kg)	ポンプ性能	小型動力ポンプ
団 本 部	トヨタ 平成16	16. 5. 24	11	1,480	司令車	
浜 脇 分 団	いすゞ 平成23	24. 1. 27	4	4,800	A - 2 級	
用 海 分 団	いすゞ 平成23	24. 1. 27	4	4,800	"	
建 石 分 団	日 野 平成24	24. 11. 1	3	4,640	"	
今 津 分 団	いすゞ 平成13	13. 10. 10	14	4,530	"	
津 門 分 団	いすゞ 平成14	14. 11. 12	13	4,530	"	
安 井 分 団	いすゞ 平成23	24. 1. 27	4	4,800	"	
大 社 分 団	三 菱 平成12	12. 10. 2	15	3,850	"	
芦 原 分 団	いすゞ 平成25	25. 10. 18	2	4,770	"	
夙 川 分 団	日 野 平成24	24. 11. 1	3	4,640	"	
越 木 岩 分 団	いすゞ 平成25	25. 10. 18	2	4,770	"	
段 上 分 団	いすゞ 平成12	12. 10. 2	15	3,920	"	
門 戸 分 団	いすゞ 平成15	15. 9. 30	12	4,540	"	
上 ヶ 原 分 団	いすゞ 平成15	15. 9. 30	12	4,540	"	
下 大 市 分 団	いすゞ 平成14	14. 11. 12	13	4,530	"	
神 呪 分 団	いすゞ 平成13	13. 10. 10	14	4,530	"	
上 大 市 分 団	いすゞ 平成26	26. 10. 30	1	4,690	"	
高 木 分 団	日 野 平成24	24. 11. 1	3	4,640	"	
瓦 木 分 団	いすゞ 平成15	15. 9. 30	12	4,540	"	
甲 子 園 口 分 団	いすゞ 平成26	26. 10. 30	1	4,720	"	
上 甲 子 園 分 団	いすゞ 平成25	25. 10. 18	2	4,770	"	
鳴 尾 中 分 団	いすゞ 平成21	21. 9. 9	6	4,710	"	
鳴 尾 西 分 団	いすゞ 平成26	26. 10. 30	1	4,720	"	
鳴 尾 北 分 団	いすゞ 平成22	22. 10. 27	5	4,710	"	
小 松 分 団	三 菱 平成13	13. 10. 10	14	4,460	"	
小 曾 根 分 団	いすゞ 平成22	22. 10. 27	5	4,710	"	
鳴 尾 東 分 団	いすゞ 平成12	12. 10. 2	15	3,920	"	
名 来 分 団	いすゞ 平成20	20. 9. 24	7	4,680	"	シバウラ T F 516SH
下 山 口 分 団	いすゞ 平成16	16. 10. 22	11	4,530	"	シバウラ T F 516SH
上 山 口 分 団	いすゞ 平成16	16. 10. 22	11	4,530	"	シバウラ T F 516SH
金 仙 寺 班	いすゞ 平成21	21. 9. 9	6	4,710	"	シバウラ T F 520SH
中 野 分 団	いすゞ 平成20	20. 9. 24	7	4,680	"	シバウラ T F 516SH
船 坂 分 団	いすゞ 平成19	19. 9. 19	8	4,610	"	トーハツ V 2 0 B
生 瀬 分 団	いすゞ 平成14	14. 11. 12	13	4,530	"	シバウラ T F 516SH
〃	三 菱 平成11	11. 12. 3	16	4,430	"	シバウラ T F 516SH
名 塩 分 団	いすゞ 平成22	22. 10. 27	5	4,940	"	シバウラ T F 520SH
〃	いすゞ 平成16	16. 10. 22	11	4,530	"	シバウラ T F 516SH
〃 木 之 元 班	いすゞ 平成19	19. 9. 19	8	4,610	"	トーハツ V 2 0 B
〃 東 久 保 班	いすゞ 平成20	20. 9. 24	7	4,680	"	シバウラ T F 516SH

## 消 防 団 員 在 職 年 数 状 況

(平成27年4月1日現在)

階級 区分	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
	計	1	7	33	36	38	111	503
5年未満				1		1	174	176
5～9年					2	8	122	132
10～14年			1	1	2	16	97	117
15～19年			1	2	6	33	57	99
20～24年		1	5	11	11	32	29	89
25～29年		1	11	13	7	12	13	57
30年以上	1	5	15	8	10	9	11	59

団員平均 13年7ヶ月

## 消 防 団 員 年 齢 状 況

(平成27年4月1日現在)

階級 区分	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
	計	1	7	33	36	38	111	503
20歳未満							2	2
20～24歳							28	28
25～29歳							26	26
30～34歳						1	57	58
35～39歳					1	6	78	85
40～44歳				1	3	21	106	131
45～49歳				1	4	32	80	117
50～54歳			7	9	12	24	56	108
55～59歳		2	5	7	7	11	29	61
60歳以上	1	5	21	18	11	16	41	113

団員平均 46歳4ヶ月

## 消防団費と市民負担

(平成27年4月1日現在)

消 防 団 費	予 算 額	一世帯当り	人口一人当り
	189,602千円	913円	389円

## 消 防 団 出 動 状 況

(平成26年度中)

種別 区分	合 計	火 災	水 災	警 戒	捜 索	訓 練
出動回数	886	92	3	13		778
出動分団数	1,933	362	27	219		1,325
出動車両数	1,947	290	50	259		1,348
出動団員数	12,719	2,511	370	1,657		8,181

## 消 防 団 訓 練 実 施 内 容

(平成26年度中)

訓練内容	出動回数	出動分団数	出動車両数	出動団員数
自主防災組織合同訓練	41	30	39	338
西宮市消防出初式	1	33	37	394
「文化財防火デー」に伴う消防訓練	1	1	2	15
西宮市消防団消防操法大会	1	33	33	208
春の全国火災予防運動・訓練	7	183	203	709
西宮市総合防災訓練	1	20	0	20
秋の全国火災予防運動・訓練	7	194	189	702

県消防操法大会除く

## 派 遣 研 修 及 び 教 育 訓 練 実 施 状 況

(平成26年度中)

種別 区分	合 計	県 消 防 学 校	新 入 団 員 等 研 修	機 関 員 研 修	ポ ン プ 操 法 訓 練	訓 練 礼 式	資 器 材 等 取 扱 訓 練	ポ ン プ 取 扱 訓 練	電 撃 操 法 想 定 訓 練	安 全 管 理 講 習	救 急 講 習	結 索 訓 練
回 数	95	4	2	0	0	15	5	0	65	0	4	0
人 員	1,515	89	56	0	0	404	142	0	783	0	41	0

分団定例訓練は除く

## 団員の職業別

(平成27年4月1日現在)

合 計	農 業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	電 力 水 道	運 通 輸 信	卸 小 飲 食 売 店	金 保 融 険	不 動 産	サ ー ビ ス	公 務 員	そ の 他 職 等
729	23	0	97	88	26	56	121	26	19	191	26	56

## 表 彰

(平成26年度中)

種 別	消 防 庁 長 官	日 本 消 防 協 会 長	兵 庫 県 知 事	兵 庫 県 消 防 協 会 長	西 宮 市 長	西 宮 市 消 防 団 長
階級別						
合 計	2	5	9	37	45	17
西 宮 市 消 防 団						
分 団						
消 防 団 長						
副 団 長			1		1	
分 団 長	2	3	4	11	5	
副 分 団 長			4	8	7	
部 長				7	3	
班 長				5	7	1
団 員		2		6	22	16